
令和 2 年度岩手県職業能力開発基礎調査

アンケート結果について

<高校生用>

令和 3 年 1 月

目次

I. 調査概要			
1. 調査の目的	2	Q6	
2. 調査手法	2	分野別×地区別	28
2-1. 調査対象	2	Q7	
2-2. 対象高等学校及び生徒	2	重視する点×地区別	31
2-3. 調査票	2	重視する点×希望進路別	33
2-4. 調査方法	2	重視する点×進路先県内外別	35
2-5. 集計方法	3	重視する点×分野別	36
2-6. 調査期間	3	Q8	
2-7. アンケート項目	3	県内就職×男女別	40
3. 調査回答件数	4	県内就職×地区別	41
5. 調査実施機関	4	県内就職×学科別	42
6. 注意事項	4	県内就職×志望進路別	43
		(県北)県内就職×進路先県内外別	44
II. 回答企業の概要	5	Q9	
		県内就職したくない理由×男女別	45
III. 設問別の結果		県内就職したくない理由×地区別	46
III-1. 回答結果(単純集計)		県内就職したくない理由×進路先県内外別	47
Q1	6	Q10	
Q2	6	施設の認知度×男女別	48
Q3	7	施設の認知度×地区別	49
Q4	7	施設の認知度×学科別	50
Q5	8	施設の認知度(産技短×高技専の比較)	52
Q6	8	Q11	
Q7	9	施設への興味×男女別	53
Q8	9	施設への興味×地区別	54
Q9	10	施設への興味×学科別	55
Q10	10	施設への興味(産技短×高技専の比較)	57
Q11	11	Q12	
Q12	11	どの学科で学びたいか×男女別	58
Q13	12	どの学科で学びたいか×地区別	59
Q14	12	Q13	
Q15	13	魅力的な施設とするために必要なこと×地区別	61
Q16	13	Q14	
		二戸校認知度×地区別	63
III-2. 回答結果(クロス集計)		二戸校認知度×学科別	64
Q1	15	Q15	
Q2	16	魅力的にするために必要なもの×地区別	65
Q3		Q16	
学科×男女別	17	二戸校新設コース×男女別	68
学科×地区別	18	二戸校新設コース×地区別	70
Q4		二戸校新設コース×学科別	72
希望進路×男女別	20	二戸校新設コース×興味別	76
希望進路×地区別	21	二戸校新設コース×県内就職希望別	78
希望進路×学科別	23	二戸校新設コース×進路先県内外別	81
Q5		二戸校新設コース×分野別	82
進路先県内外×地区別	25	Q17	89
進路先県内外×希望進路別	26	IV. 調査票	90

I 調査概要

1. 調査の目的

現在、岩手県内の高等学校に通学している生徒及びその保護者を対象として将来の進路や就職等の職業意識を調査することにより、第11次岩手県職業能力開発計画（計画期間：令和3年度～令和7年度）の策定及び「いわて県民計画（2019～2028）」に掲げる、県北地区の産業の未来を担う人材の育成に向けた施策の政策立案に寄与する基礎データを収集すること

2. 調査手法

県内高等学校2年生及びその保護者を対象として、職業能力開発に関するアンケート調査を実施して調査結果のデータを集計し、アンケート調査結果及びデータ集計を実施する

1. 調査対象

岩手県内に所在する全日制高等学校の2年生及び2年生の保護者

2. 対象高等学校及び生徒

- (ア) 高校2年生が在学する県内全日制高等学校77校（県立高校63校、盛岡市立高等学校1校、私立高等学校13校）
- (イ) 各高等学校2年生の1学科1クラスを調査対象とし、高校生本人と、その保護者を対象とした調査とする
- (ウ) 調査するクラスの選定については、調査対象の高等学校長の判断とする

3. 調査票

- (ア) 調査設問数は原則として選択方式とし、意見・要望等の自由記述を含めて17～18問とする
- (イ) 調査票はA3モノクロ版、両面刷りとし、一人当たり1枚の調査票とする
- (ウ) 1つの高等学校に対して、想定される1クラス分に加え、予備部数も配布する

4. 調査方法

- (ア) 設問の内容及びアンケート用紙の様式については県と協議の上で決定する
- (イ) 調査は、郵送配布・郵送回収を基本とする
- (ウ) 調査票には別途県が準備する高等学校長あて調査依頼文書を同封する

5. 集計方法

- (ア) 高校2年生及び保護者、それぞれについて設問ごとに単純及びクロス集計を行う
(イ) 回収した調査結果については、契約完了後も分析を行いやすい形式で電子データ化する

6. 調査期間

令和2年10月～令和3年1月

7. アンケート項目

県と協議の上決定した質問項目は下記の通り

※高校生と保護者は設問内容共通、そのため表現方法が変わる場合がある

※アンケート調査票は本報告書の巻末に添付

Q 1. あなた・お子様の性別を教えてください ※保護者向けは設問 Q 2 として、記入される保護者の方の性別をヒアリング そのため以降、設問数は1つずつ
Q 2. あなたが住んでいる地域（岩手県内の方は市町村、岩手県外の方は都道府県）をお答えください
Q 3. あなた・お子様の所属している学科をお答えください
Q 4. あなた・お子様が現在希望している進路をお答えください
Q 5. あなた・お子様が希望している進路先は、県内ですか。県外ですか。
Q 6. あなた・お子様は、進学や就職にあたって、どのような分野を学びたいと考えていますか
Q 7. 職業や就職先を決める際に、重視する点は何ですか
Q 8. 将来、岩手県内の事業所に就職したいですか
Q 9. Q 9 で④または⑤とお答えした方、その理由は何ですか
Q 10. 産業技術短期大学校や高等技術専門校について知っていますか
Q 11. あなたの進路先として県立職業能力開発施設に興味はありますか
Q 12. 産業技術短期大学校や高等技術専門校に入学するとしたら、どのような分野を学びたいですか
Q 13. より魅力的な施設にするには、何が必要だと思いますか
Q 14. 二戸高等技術専門校についてお伺いします。二戸高等専門校では現在「自動車システム科」と「建築科」の2学科を設置していますが、知っていますか
Q 15. 二戸高等技術専門校をより魅力的な施設にするためには、何が必要だと思いますか
Q 16. 二戸高等技術専門校において、県北地域の特色ある産業の技術や知識を習得するために、以下のコースを追加する場合、進路先としての魅力を感じますか。I～V、それぞれについてお答えください
Q 17. その他、意見・要望等（自由記載）

3. 有効回答件数

高校生・保護者向けに各 5, 960 件を発送（予備含む）。アンケート調査の結果、回答を得られたアンケート用紙は、高校生向けアンケート 3, 875 件、保護者向け 3, 399 件であった。

4. 調査実施機関

株式会社東京商工リサーチ盛岡支店

5. 注意事項

- 図表中の構成比率は、小数点以下を四捨五入している。
- 複数回答の設問は、回答が 2 つ以上ありうるため、設問ごとに総数が異なることがある。また比率の合計は 100%を超えることがある。
- 図表中の「n」とは回答件数の総数のことで、100%が何件の回答に相当するかを示す比率算出の基数である
- 設問により無回答もあるので、設問ごとに総数が異なることがある。
- 分析結果については、「その他」や少数意見については傾向分析としては適さないため分析は控えている。但し貴重な意見として、各設問毎に記載する。

II. 回答対象の概要

1. 高校別件数

市町村・振興圏別件数については、本設問Q1～Q3を参照

	no.	高校名	高校生	保護者	合計
県立	1	盛岡第一高等学校	67	67	134
	2	盛岡第二高等学校	41	38	79
	3	盛岡第三高等学校	38	36	74
	4	盛岡第四高等学校	42	42	84
	5	盛岡北高等学校	41	40	81
	6	盛岡南高等学校	68	66	134
	7	不来方高等学校	39	39	78
	9	盛岡農業高等学校	165	113	278
	10	盛岡工業高等学校	240	192	432
	11	盛岡商業高等学校	120	119	239
	12	沼宮内高等学校	22	20	42
	13	葛巻高等学校	19	13	32
	14	平館高等学校	40	38	78
	15	雫石高等学校	25	25	50
	16	紫波総合高等学校	24	21	45
	17	花巻北高等学校	31	30	61
	18	花巻南高等学校	40	28	68
	19	花巻農業高等学校	121	118	239
	20	花北青雲高等学校	116	110	226
	21	大迫高等学校	29	29	58
	22	遠野高等学校	26	26	52
	23	遠野緑峰高等学校	48	38	86
	24	黒沢尻北高等学校	32	32	64
	25	北上翔南高等学校	33	33	66
	26	黒沢尻工業高等学校	189	139	328
	27	西和賀高等学校	19	19	38
	28	水沢高等学校	56	52	108
	29	水沢農業高等学校	49	39	88
	30	水沢工業高等学校	151	145	296
	31	水沢商業高等学校	97	83	180
	32	前沢高等学校	23	23	46
	33	金ヶ崎高等学校	17	17	34
	34	岩谷堂高等学校	40	40	80
	35	一関第一高等学校	62	60	122
	36	一関第二高等学校	33	20	53
	37	一関工業高等学校	122	121	243
	38	花泉高等学校	33	33	66
	39	大東高等学校	47	42	89
	40	千厩高等学校	87	75	162

	no.	高校名	高校生	保護者	合計	
県立	41	高田高等学校	33	33	66	
	42	大船渡高等学校	39	38	77	
	43	大船渡東高等学校	87	78	165	
	44	住田高等学校	32	30	62	
	45	釜石高等学校	64	47	111	
	46	釜石商工高等学校	92	75	167	
	47	大槌高等学校	20	17	37	
	48	山田高等学校	30	28	58	
	49	宮古高等学校	35	34	69	
	50	宮古北高等学校	24	19	43	
	51	宮古商工高等学校	66	63	129	
	52	宮古水産高等学校	43	33	76	
	53	岩泉高等学校	26	26	52	
	54	久慈高等学校	47	36	83	
	55	久慈東高等学校	0	0	0	
	56	久慈工業高等学校	31	19	50	
	57	種市高等学校	44	36	80	
	58	大野高等学校	27	26	53	
	59	軽米高等学校	21	20	41	
	60	伊保内高等学校	20	15	35	
	61	福岡高等学校	43	42	85	
	62	福岡工業高等学校	45	31	76	
	63	一戸高等学校	31	31	62	
	64	盛岡市立高等学校	0	0	0	
	市立	65	岩手高等学校	28	23	51
	私立	66	岩手女子高等学校	72	70	142
		67	盛岡白百合学園高等学校	36	28	64
		68	江南義塾盛岡高等学校	38	37	75
		69	盛岡誠桜高等学校	40	27	67
		70	盛岡大学付属高等学校	31	23	54
		71	盛岡スコーレ高等学校	14	16	30
		72	盛岡中央高等学校	33	32	65
		73	花巻東高等学校	34	32	66
		74	専修大学北上高等学校	82	55	137
		75	協和学院水沢第一高等学校	0	0	0
		76	一関学院高等学校	29	21	50
		77	一関修紅高等学校	46	37	83
				総計	3875	3399

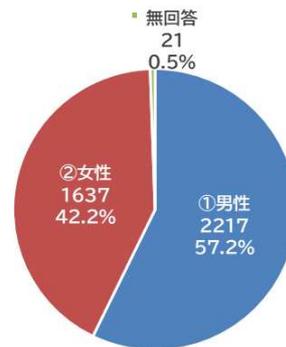
Ⅲ－１．回答結果（単純集計）

※分析結果についてはクロス集計にて行う

Q 1. あなたの性別をお答えください。

(単位:人)

	n=	①男性	②女性	無回答
回答数	3875	2217	1637	21
構成比	100.0%	57.2%	42.2%	0.5%



Q 2. あなたが住んでいる地域（岩手県内の方は市町村、岩手県外の方は都道府県）をお答えください。

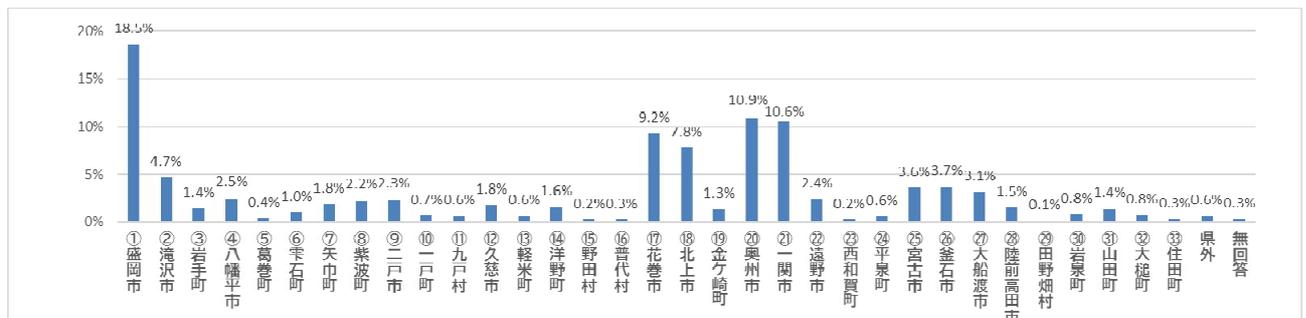
(単位:人)

	n=	①盛岡市	②滝沢市	③岩手町	④八幡平市	⑤葛巻町	⑥雫石町	⑦矢巾町	⑧紫波町	⑨二戸市	⑩一戸町
回答数	3875	718	182	56	97	15	39	71	87	90	27
構成比	100.0%	18.5%	4.7%	1.4%	2.5%	0.4%	1.0%	1.8%	2.2%	2.3%	0.7%

⑪九戸村	⑫久慈市	⑬軽米町	⑭洋野町	⑮野田村	⑯普代村	⑰花巻市	⑱北上市	⑲金ヶ崎町	⑳奥州市
24	68	24	63	8	10	358	301	52	421
0.6%	1.8%	0.6%	1.6%	0.2%	0.3%	9.2%	7.8%	1.3%	10.9%

㉑一関市	㉒遠野市	㉓西和賀町	㉔平泉町	㉕宮古市	㉖釜石市	㉗大船渡市	㉘陸前高田市	㉙田野畑村	㉚岩泉町
409	93	9	23	139	143	121	58	4	32
10.6%	2.4%	0.2%	0.6%	3.6%	3.7%	3.1%	1.5%	0.1%	0.8%

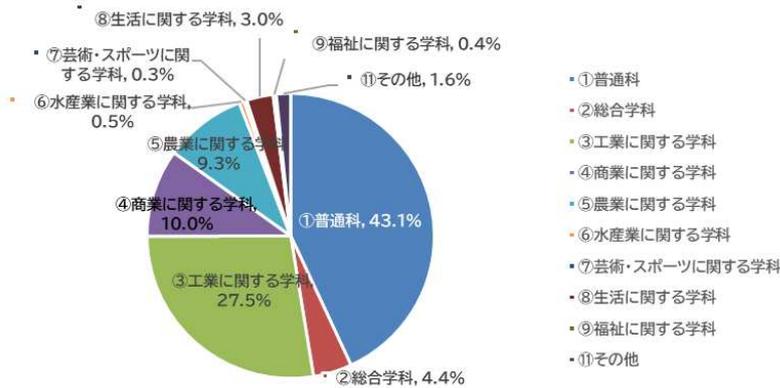
㉛山田町	㉜大槌町	㉝住田町	県外	無回答
54	30	12	24	13
1.4%	0.8%	0.3%	0.6%	0.3%



Q 3. あなたの所属している学科をお答えください。

(単位:人)

	n=	①普通科	②総合学科	③工業に関する学科	④商業に関する学科	⑤農業に関する学科	⑥水産業に関する学科	⑦芸術・スポーツに関する学科	⑧生活に関する学科	⑨福祉に関する学科	⑩国際に関する学科	⑪その他
回答数	3859	1663	168	1061	385	357	21	13	115	14	0	62
構成比	100.0%	43.1%	4.4%	27.5%	10.0%	9.3%	0.5%	0.3%	3.0%	0.4%	0.0%	1.6%

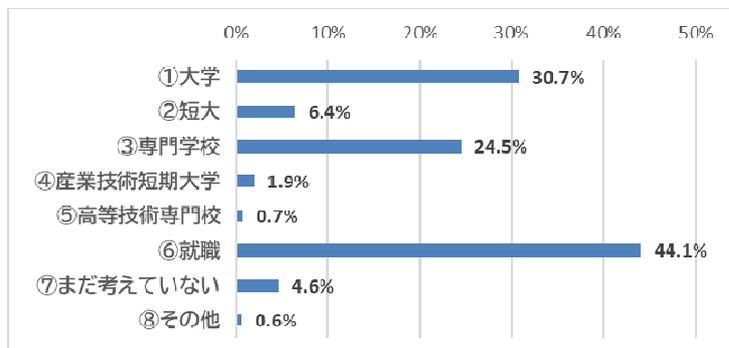


Q 4. あなたが希望している進路をお答えください。(複数回答可)

(単位:人)

	n=	①大学	②短大	③専門学校	④産業技術短期大学	⑤高等技術専門学校	⑥就職	⑦まだ考えていない	⑧その他
回答数	3864	1187	246	947	72	27	1704	179	22
構成比		30.7%	6.4%	24.5%	1.9%	0.7%	44.1%	4.6%	0.6%

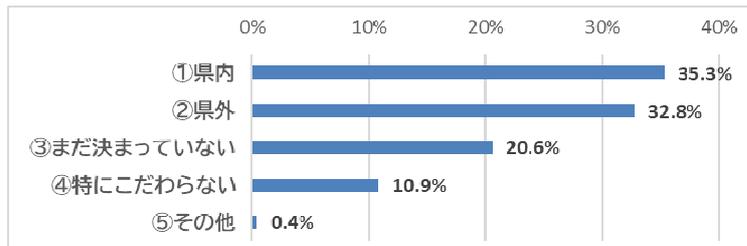
※複数回答。構成比は回答者数を100%(n=)とした割合である。



Q5. あなたが希望している進路先は、県内ですか。県外ですか。

(単位:人)

	n=	①県内	②県外	③まだ決まっていない	④特にこだわらない	⑤その他
回答数	3818	1348	1251	787	416	16
構成比	100.0%	35.3%	32.8%	20.6%	10.9%	0.4%



Q6. あなたは、進学や就職にあたって、どのような分野に進みたいと考えていますか。(2つ以内)

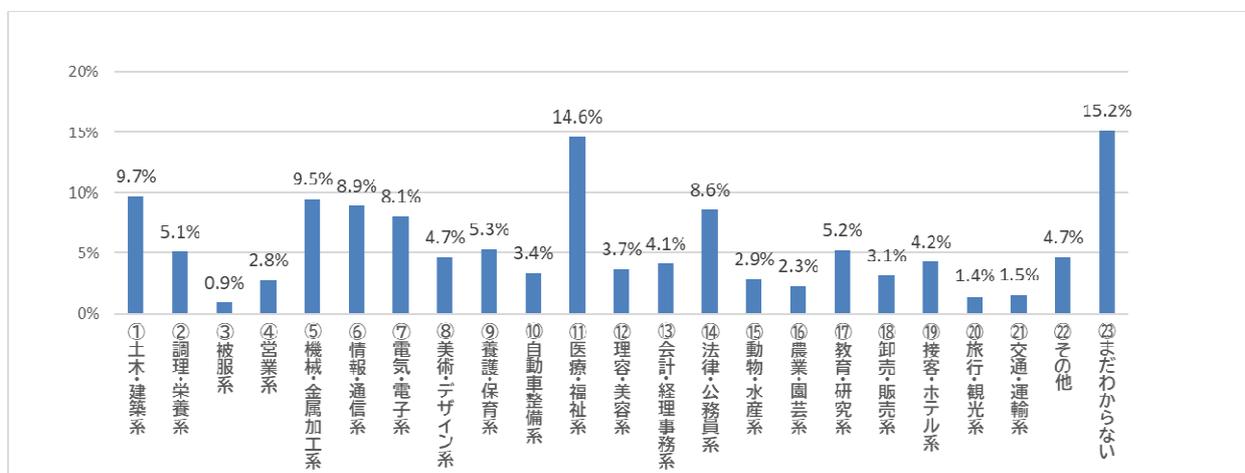
(単位:人)

	n=	①土木・建築系	②調理・栄養系	③被服系	④営業系	⑤機械・金属加工系	⑥情報・通信系	⑦電気・電子系	⑧美術・デザイン系	⑨養護・保育系	⑩自動車整備系
回答数	3863	375	198	35	107	367	343	312	180	206	130
構成比		9.7%	5.1%	0.9%	2.8%	9.5%	8.9%	8.1%	4.7%	5.3%	3.4%

⑪医療・福祉系	⑫理容・美容系	⑬会計・経理事務系	⑭法律・公務員系	⑮動物・水産系	⑯農業・園芸系	⑰教育・研究系	⑱卸売・販売系	⑲接客・ホテル系	⑳旅行・観光系
565	143	159	332	111	88	202	121	164	56
14.6%	3.7%	4.1%	8.6%	2.9%	2.3%	5.2%	3.1%	4.2%	1.4%

㉑交通・運輸系	㉒その他	㉓まだわからない
59	180	586
1.5%	4.7%	15.2%

※複数回答。構成比は回答者数を100%(n=)とした割合である。



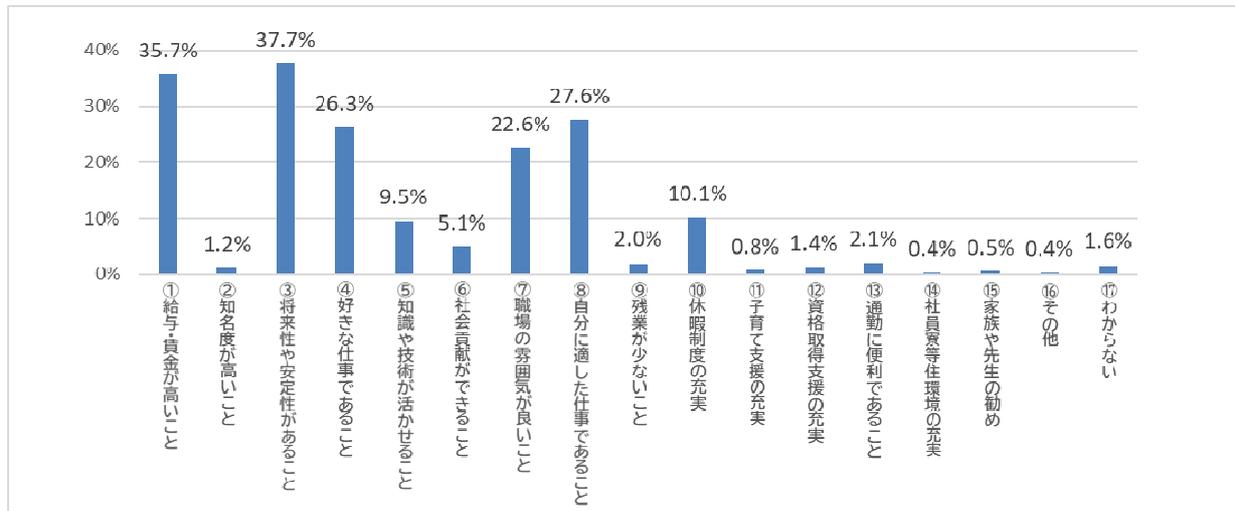
Q7. 職業や就職先を決める際に、重視する点は何ですか。(2つ以内)

(単位:人)

	n=	①給与・賃金が高いこと	②知名度が高いこと	③将来性や安定性があること	④好きな仕事であること	⑤知識や技術が活かせること	⑥社会貢献ができること	⑦職場の雰囲気が良いこと	⑧自分に適した仕事であること	⑨残業が少ないこと	⑩休暇制度の充実
回答数	3835	1370	45	1445	1009	366	194	866	1058	77	389
構成比		35.7%	1.2%	37.7%	26.3%	9.5%	5.1%	22.6%	27.6%	2.0%	10.1%

	⑪子育て支援の充実	⑫資格取得支援の充実	⑬通勤に便利であること	⑭社員寮等住環境の充実	⑮家族や先生の勧め	⑯その他	⑰わからない
回答数	30	53	81	17	19	15	62
構成比	0.8%	1.4%	2.1%	0.4%	0.5%	0.4%	1.6%

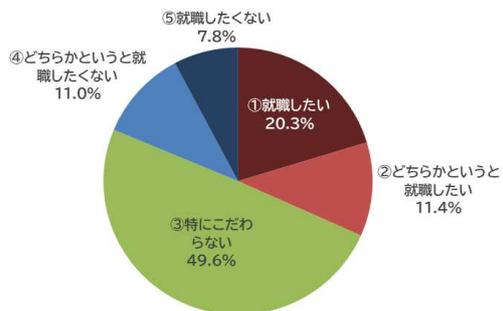
※複数回答。構成比は回答者数を100%(n=)とした割合である。



Q8. 将来、岩手県内の事業所に就職したいですか。

(単位:人)

	n=	①就職したい	②どちらかという就職したい	③特にこだわらない	④どちらかという就職したくない	⑤就職したくない
回答数	3835	779	436	1902	420	298
構成比	100.0%	20.3%	11.4%	49.6%	11.0%	7.8%

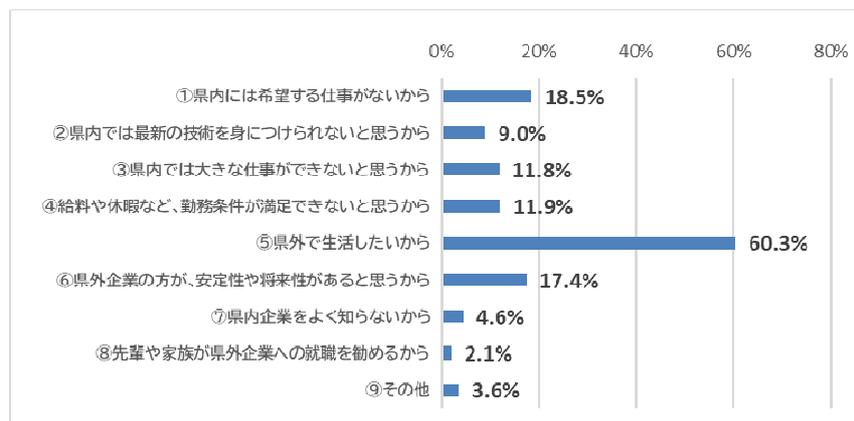


Q9. Q8で④又は⑤とお答えした方、その理由は何ですか。(2つ以内)

(単位:人)

	n=	①県内には希望する仕事がないから	②県内では最新の技術を身につけられないと思うから	③県内では大きな仕事ができないと思うから	④給料や休暇など、勤務条件が満足できないと思うから	⑤県外で生活したいから	⑥県外企業の方が、安定性や将来性があると思うから	⑦県内企業をよく知らないから	⑧先輩や家族が県外企業への就職を勧めるから	⑨その他
回答数	703	130	63	83	84	424	122	32	15	25
構成比		18.5%	9.0%	11.8%	11.9%	60.3%	17.4%	4.6%	2.1%	3.6%

※複数回答。構成比は回答者数を100%(n=)とした割合である。



Q10. 県立産業技術短期大学校や高等技術専門校について知っていますか。

産業技術短期大学校

(単位:人)

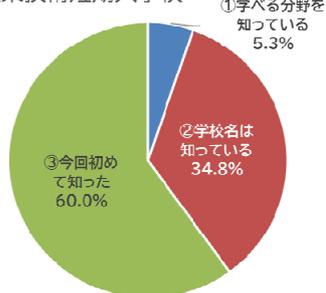
	n=	①学べる分野を知っている	②学校名を知っている	③今回初めて知った
回答数	3790	199	1318	2273
構成比	100.0%	5.3%	34.8%	60.0%

高等技術専門校

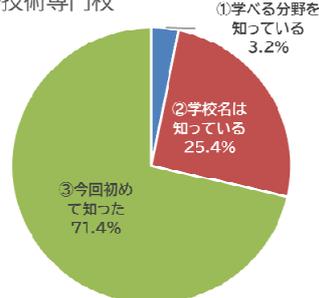
(単位:人)

	n=	①学べる分野を知っている	②学校名を知っている	③今回初めて知った
回答数	3744	118	952	2674
構成比	100.0%	3.2%	25.4%	71.4%

産業技術短期大学校



高等技術専門校



Q 1 1. あなたの進路先として県立職業能力開発施設に興味はありますか。

産業技術短期大学校

(単位:人)

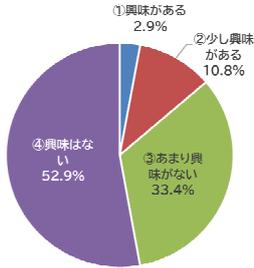
	n=	①興味がある	②少し興味がある	③あまり興味がない	④興味はない
回答数	3787	110	410	1265	2002
構成比	100.0%	2.9%	10.8%	33.4%	52.9%

高等技術専門校

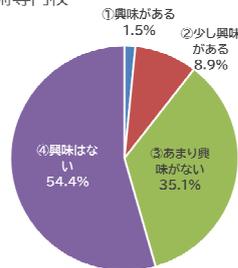
(単位:人)

	n=	①興味がある	②少し興味がある	③あまり興味がない	④興味はない
回答数	3766	58	336	1323	2049
構成比	100.0%	1.5%	8.9%	35.1%	54.4%

産業技術短期大学校



高等技術専門校



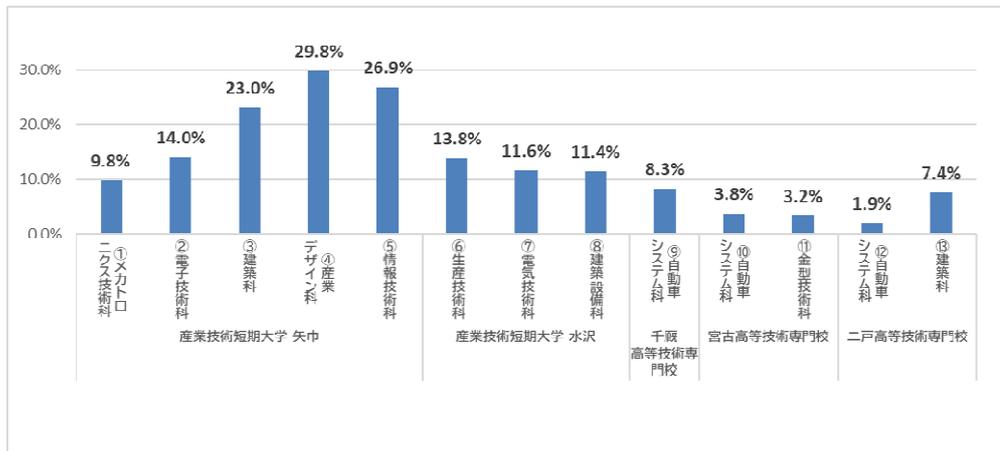
Q 1 2. 産業技術短期大学校や高等技術専門校に入学するとしたら、どの学科で学びたいですか。(2つ以内)

(単位:人)

	n=	産業技術短期大学 矢巾					産業技術短期大学 水沢		
		①メカトロニクス技術科	②電子技術科	③建築科	④産業デザイン科	⑤情報技術科	⑥生産技術科	⑦電気技術科	⑧建築設備科
回答数	3656	360	512	842	1089	982	505	424	417
構成比		9.8%	14.0%	23.0%	29.8%	26.9%	13.8%	11.6%	11.4%

千歳高等技術専門校	宮古高等技術専門校	二戸高等技術専門校
⑨自動車システム科	⑩自動車システム科	⑪金型技術科
⑫自動車システム科		⑬建築科
302	140	118
8.3%	3.8%	3.2%
		70
		1.9%
		272
		7.4%

※複数回答。構成比は回答者数を100%(n=)とした割合である。

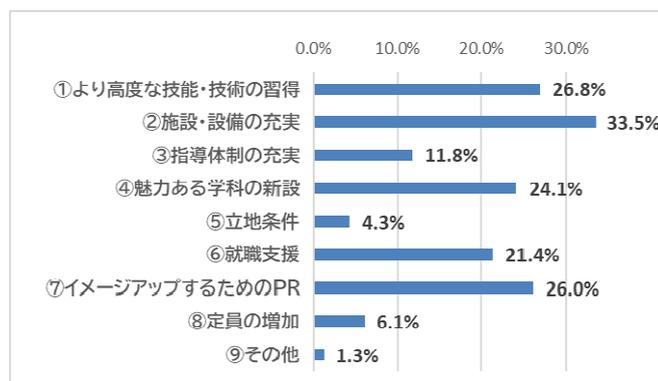


Q 1 3 . 県立産業技術短期大学校や高等技術専門校をより魅力的な施設にするためには、何が必要だと思いますか。（2つ以内）

(単位:人)

	n=	①より高度な技能・技術の習得	②施設・設備の充実	③指導体制の充実	④魅力ある学科の新設	⑤立地条件	⑥就職支援	⑦イメージアップするためのPR	⑧定員の増加	⑨その他
回答数	3732	1002	1251	441	898	162	797	972	229	47
構成比		26.8%	33.5%	11.8%	24.1%	4.3%	21.4%	26.0%	6.1%	1.3%

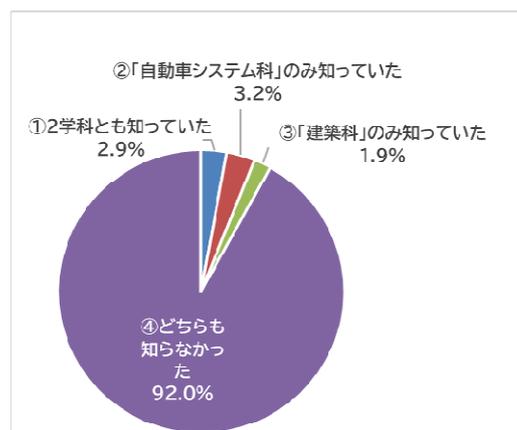
※複数回答。構成比は回答者数を100%(n=)とした割合である。



Q 1 4 . 二戸高等技術専門校についてお伺いします。二戸高等技術専門校では現在「自動車システム科」と「建築科」の2学科を設置していますが、知っていますか。

(単位:人)

	n=	①2学科とも知っていた	②「自動車システム科」のみ知っていた	③「建築科」のみ知っていた	④どちらも知らなかった
回答数	3765	109	121	73	3462
構成比	100.0%	2.9%	3.2%	1.9%	92.0%

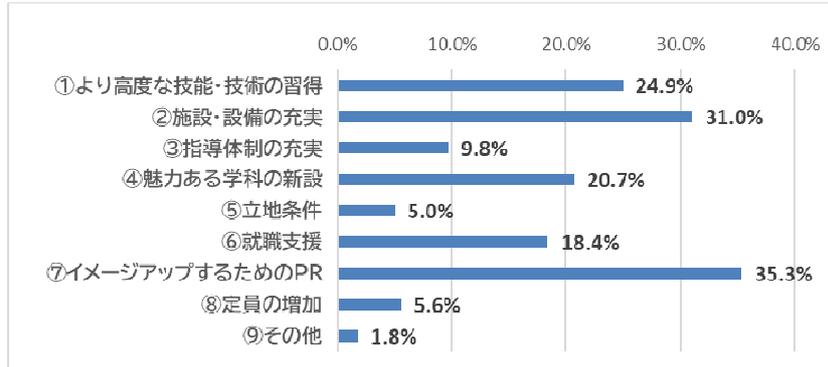


Q 1 5 . 二戸高等技術専門校をより魅力的な施設にするためには、何が必要だと思いますか。（2つ以内）

(単位:人)

	n=	①より高度な技能・技術の習得	②施設・設備の充実	③指導体制の充実	④魅力ある学科の新設	⑤立地条件	⑥就職支援	⑦イメージアップするためのPR	⑧定員の増加	⑨その他
回答数	3710	925	1150	362	767	187	683	1311	207	66
構成比		24.9%	31.0%	9.8%	20.7%	5.0%	18.4%	35.3%	5.6%	1.8%

※複数回答。構成比は回答者数を100%(n=)とした割合である。



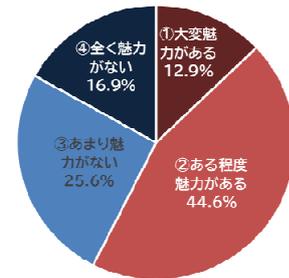
Q 1 6 . 二戸高等技術専門校において、県北地域の特色ある産業の技術や知識を習得するために、以下のコースを追加する場合、進路先としての魅力を感じますか。I～V、それぞれにお答えください。

I.食品の加工技術など

(単位:人)

	n=	①大変魅力がある	②ある程度魅力がある	③あまり魅力がない	④全く魅力がない
回答数	3733	480	1666	956	631
構成比	100.0%	12.9%	44.6%	25.6%	16.9%

I.食品の加工技術など

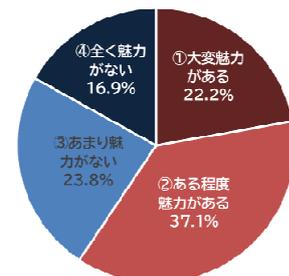


II.アパレル・ファッション

(単位:人)

	n=	①大変魅力がある	②ある程度魅力がある	③あまり魅力がない	④全く魅力がない
回答数	3718	825	1380	886	627
構成比	100.0%	22.2%	37.1%	23.8%	16.9%

II.アパレル・ファッション

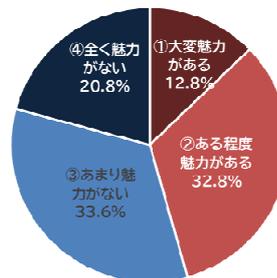


Ⅲ.浄法寺塗など伝統工芸技術

(単位:人)

	n=	①大変魅力がある	②ある程度魅力がある	③あまり魅力がない	④全く魅力がない
回答数	3720	475	1222	1250	773
構成比	100.0%	12.8%	32.8%	33.6%	20.8%

Ⅲ.浄法寺塗など伝統工芸技術

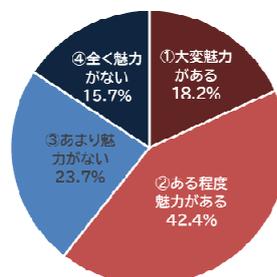


Ⅳ.WEB・グラフィックデザイン

(単位:人)

	n=	①大変魅力がある	②ある程度魅力がある	③あまり魅力がない	④全く魅力がない
回答数	3729	678	1581	884	586
構成比	100.0%	18.2%	42.4%	23.7%	15.7%

Ⅳ.WEB・グラフィックデザイン

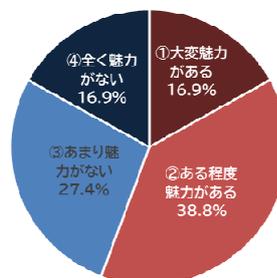


Ⅴ.接客や語学のスキル

(単位:人)

	n=	①大変魅力がある	②ある程度魅力がある	③あまり魅力がない	④全く魅力がない
回答数	3713	627	1439	1019	628
構成比	100.0%	16.9%	38.8%	27.4%	16.9%

Ⅴ.接客や語学のスキル

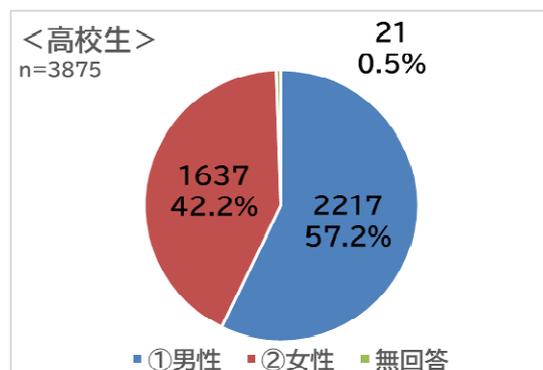


Ⅲ－２．回答結果（クロス集計）

Q 1. あなたの性別をお答えください。

(単位:人)

<性別>	n=	構成比
回答数	3875	100.0%
①男性	2217	57.2%
②女性	1637	42.2%
無回答	21	0.5%



【地区×男女別】

(単位:人)

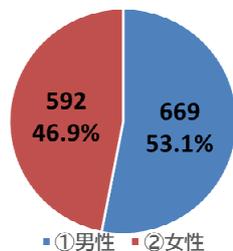
<地域別>	n=	①男性	②女性
回答数	3854	2217	1637
	100.0%	57.5%	42.5%
(県央)	1261	669	592
	100.0%	53.1%	46.9%
(県北)	312	191	121
	100.0%	61.2%	38.8%
(県南)	1658	997	661
	100.0%	60.1%	39.9%
(沿岸)	589	334	255
	100.0%	56.7%	43.3%
(県外)	24	18	6
	100.0%	75.0%	25.0%
無回答	10	8	2
	100.0%	80.0%	20.0%

県内全日制高等学校 77 校に実施
各高等学校 2 年生の 1 学科 1 クラスを調査対象とし
県内高校生 3, 875 名からの回答を得た。
男女比は左表の通り。

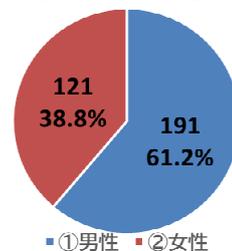
- 県央 1,261 名 (32.7%)
- 県北 312 名 (8.1%)
- 県南 1,658 名 (43.0%)
- 沿岸 589 名 (15.3%)
- 県外 24 名 (0.6%)
- 無回答 10 名 (0.3%)

尚、1 学校 1 クラスが調査対象となるため、学科数や
1 クラス人数などにより県南の回答数が多くなっている。

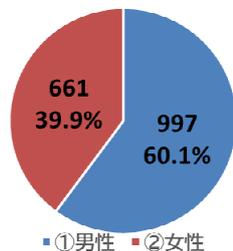
<高校生～地域別～> (県央)
n=1261



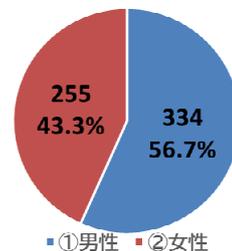
<高校生～地域別～> (県北)
n=312



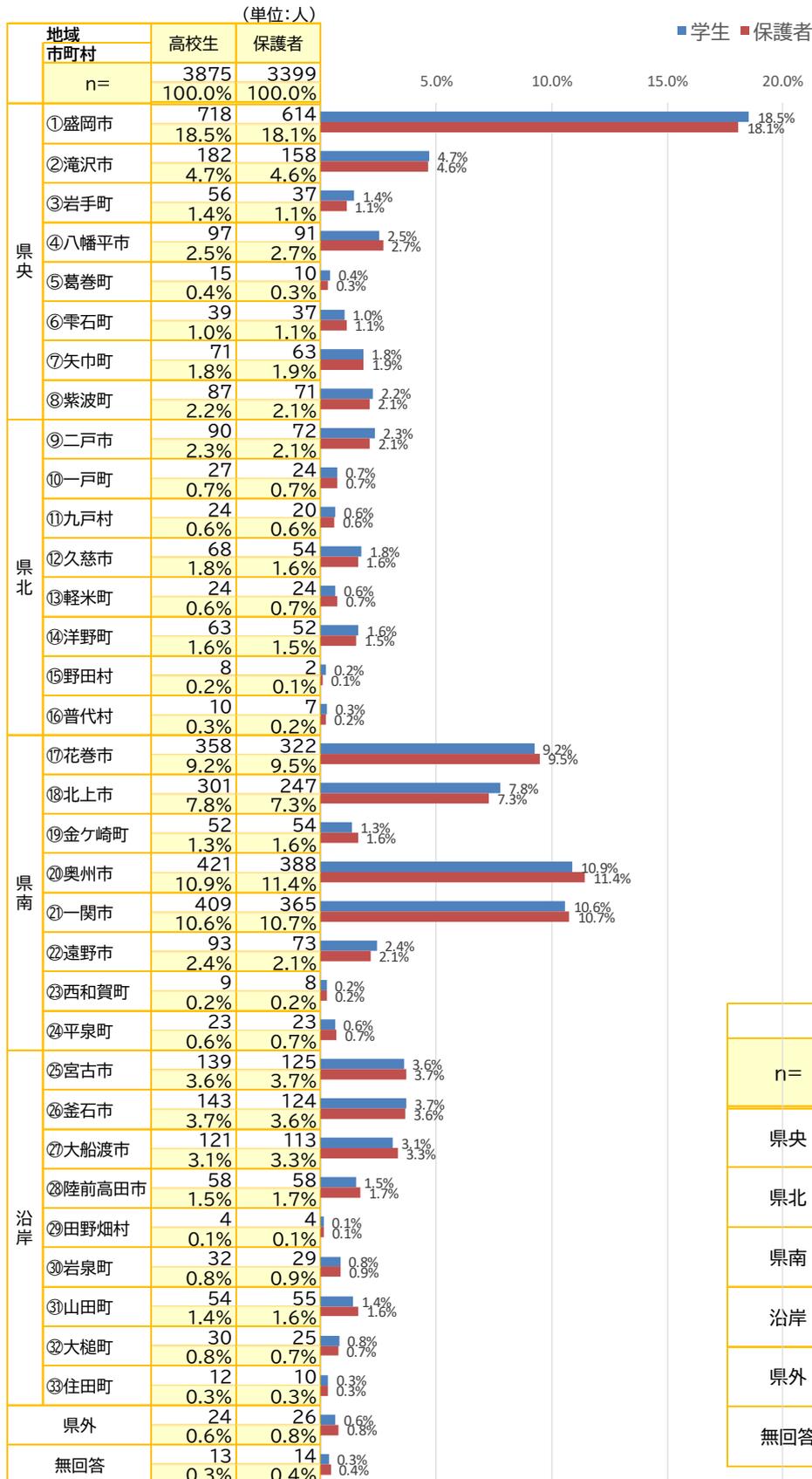
<高校生～地域別～> (県南)
n=1658



<高校生～地域別～> (沿岸)
n=589



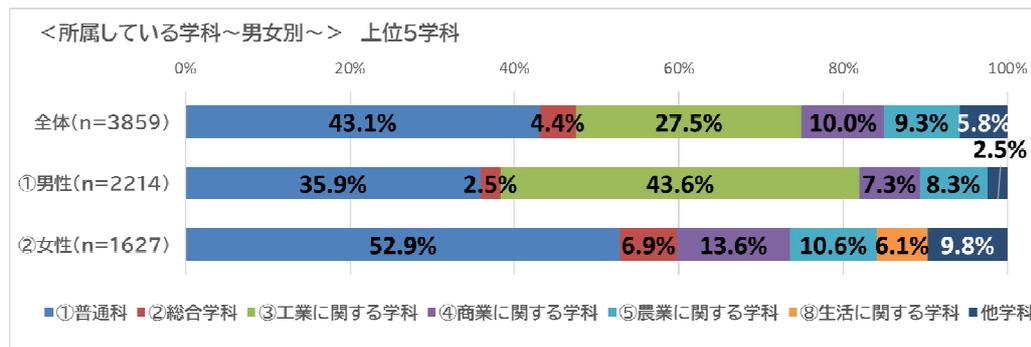
Q2. あなたが住んでいる地域（岩手県内の方は市町村、岩手県外の方は都道府県）をお答えください。



Q3. あなたの所属している学科をお答えください。

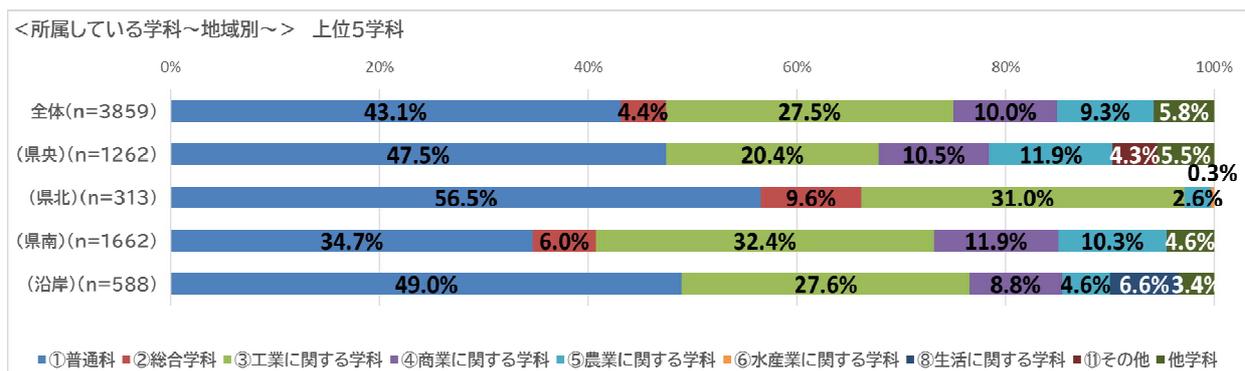
【学科×男女別】

													(単位:人)
<男女別>	n=	①普通科	②総合学科	③工業に関する学科	④商業に関する学科	⑤農業に関する学科	⑥水産業に関する学科	⑦芸術・スポーツに関する学科	⑧生活に関する学科	⑨福祉に関する学科	⑩国際に関する学科	⑪その他	
回答人数	3859	1663	168	1061	385	357	21	13	115	14	0	62	
	100.0%	43.1%	4.4%	27.5%	10.0%	9.3%	0.5%	0.3%	3.0%	0.4%	0.0%	1.6%	
①男性	2214	794	55	965	162	183	15	9	15	1	0	15	
	100.0%	35.9%	2.5%	43.6%	7.3%	8.3%	0.7%	0.4%	0.7%	0.0%	0.0%	0.7%	
②女性	1627	860	113	89	222	173	6	4	100	13	0	47	
	100.0%	52.9%	6.9%	5.5%	13.6%	10.6%	0.4%	0.2%	6.1%	0.8%	0.0%	2.9%	
無回答	18	9	0	7	1	1	0	0	0	0	0	0	
	100.0%	50.0%	0.0%	38.9%	5.6%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	



【学科×地区別】

(単位:人)												
<地域別>	n=	①普通科	②総合学科	③工業に関する学科	④商業に関する学科	⑤農業に関する学科	⑥水産業に関する学科	⑦芸術・スポーツに関する学科	⑧生活に関する学科	⑨福祉に関する学科	⑩国際に関する学科	⑪その他
回答人数	3859	1663	168	1061	385	357	21	13	115	14	0	62
	100.0%	43.1%	4.4%	27.5%	10.0%	9.3%	0.5%	0.3%	3.0%	0.4%	0.0%	1.6%
(県央)	1262	599	36	257	133	150	0	7	12	14	0	54
	100.0%	47.5%	2.9%	20.4%	10.5%	11.9%	0.0%	0.6%	1.0%	1.1%	0.0%	4.3%
(県北)	313	177	30	97	0	8	1	0	0	0	0	0
	100.0%	56.5%	9.6%	31.0%	0.0%	2.6%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(県南)	1662	577	100	538	198	172	1	6	63	0	0	7
	100.0%	34.7%	6.0%	32.4%	11.9%	10.3%	0.1%	0.4%	3.8%	0.0%	0.0%	0.4%
(沿岸)	588	288	1	162	52	27	18	0	39	0	0	1
	100.0%	49.0%	0.2%	27.6%	8.8%	4.6%	3.1%	0.0%	6.6%	0.0%	0.0%	0.2%
(県外)	24	17	0	4	1	0	1	0	1	0	0	0
	100.0%	70.8%	0.0%	16.7%	4.2%	0.0%	4.2%	0.0%	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	10	5	1	3	1	0	0	0	0	0	0	0
	100.0%	50.0%	10.0%	30.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%



【その他記載】

②総合学科（分野）

<総合学科の分野>	
家庭	1
家庭コース	2
家庭科	1
家庭系列	1
介護福祉士系列	3
産業工学	3
自然科学	5
自然科学系列	2
情報	5
情報・経済	24
情報ビジネス	6
情報系列	16
人文	4
人文科学	6
人文科学系列	3
人文系列	1
人文自然学科	1
生活・福祉	1
生活福祉	1
生活文化	2
生活文化:家庭	3
生活文化:家庭系列	1
生活文化:芸術音楽	1
生活文化:農業	1
生活文化の農業	1
生活文化系列	1
生活文化系列:音楽	1
生活文化系列:芸術	1
生活文化系列:農業科	1
総合情報	1
農業	2
農業コース	2
農業系列	2
流通系列	1
流通情報	1
理数系	1
自然系列	11
理系	7
自然	6
体育科	12

⑩その他

<その他>	
家政科学科	1
家庭に関する学科	1
看護	42
食に関する学科	1
食品	1
食品科学科	1
土木・造園	1
情報科	1
電子機械科	1
体育科	1

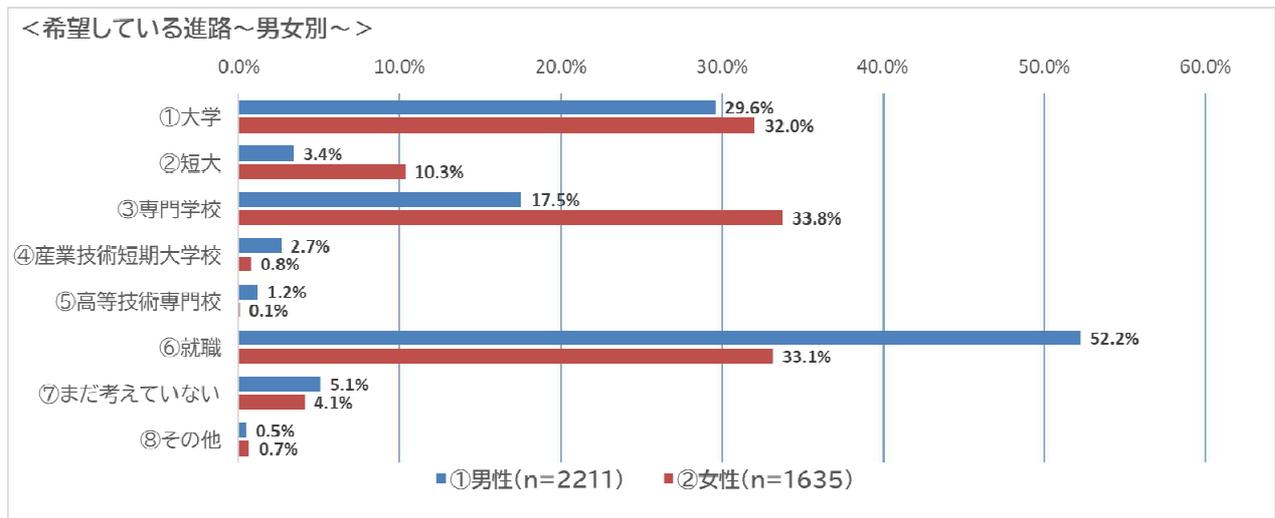
Q4. あなたが希望している進路をお答えください。(複数回答可)

【希望進路×男女別】

(単位:人)

<男女別>	n=	①大学	②短大	③専門学校	④産業技術短期大学校	⑤高等技術専門校	⑥就職	⑦まだ考えていない	⑧その他
回答数	3864	1187	246	947	72	27	1704	179	22
		30.7%	6.4%	24.5%	1.9%	0.7%	44.1%	4.6%	0.6%
①男性	2211	654	76	388	59	26	1155	112	11
		29.6%	3.4%	17.5%	2.7%	1.2%	52.2%	5.1%	0.5%
②女性	1635	524	169	552	13	1	542	67	11
		32.0%	10.3%	33.8%	0.8%	0.1%	33.1%	4.1%	0.7%
無回答	18	9	1	7	0	0	7	0	0
		50.0%	5.6%	38.9%	0.0%	0.0%	38.9%	0.0%	0.0%

※複数回答。構成比は回答者数を100%(n=)とした割合である。



希望進路として、「就職」が44.1%と最も高い。次いで「大学」の30.7%、「専門学校」の24.5%と続く。

男女別でみると、「男性」は「就職」が最も高く52.2%、次いで「大学」の29.6%、「専門学校」の17.5%であるのに対して、「女性」は「専門学校」が33.8%、次いで「就職」の33.1%、「大学」の32.0%と概ね3分される。

また「大学」、「短大」、「専門学校」ともに「女性」のほうが進路先として希望している割合が「男性」より高く、一方で「産業技術短期大学校」や「高等技術専門校」、「就職」は「男性」のほうが高い。

「産業技術短期大学校」や「高等技術専門校」の希望者は他進路先と比べて少ないものの、現在の高校2年生のうち、「産業技術短期大学校」には72名、「高等技術専門校」には27名が希望進路先としてあげている。

尚、保護者アンケートにおいては、「産業技術短期大学校」、「高等技術専門校」が進路先として希望する割合が高校生より高くなっている。

【希望進路×地区別】

(単位:人)

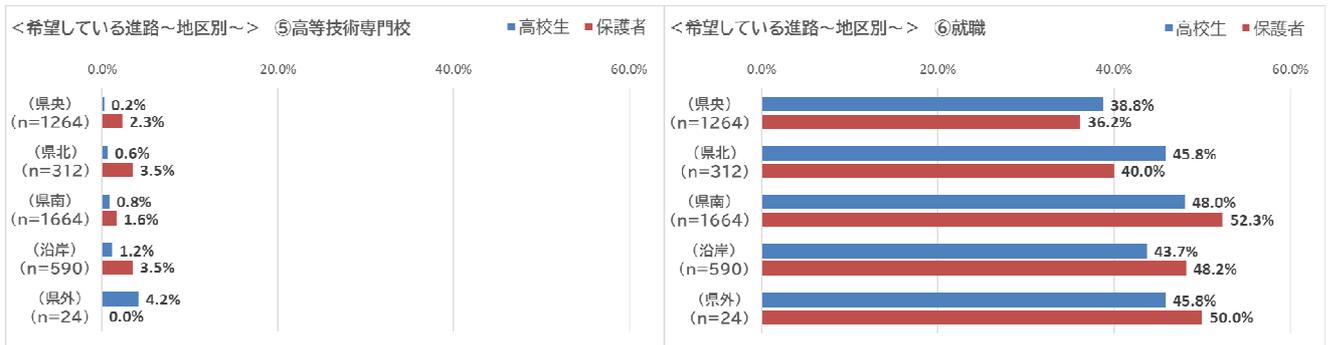
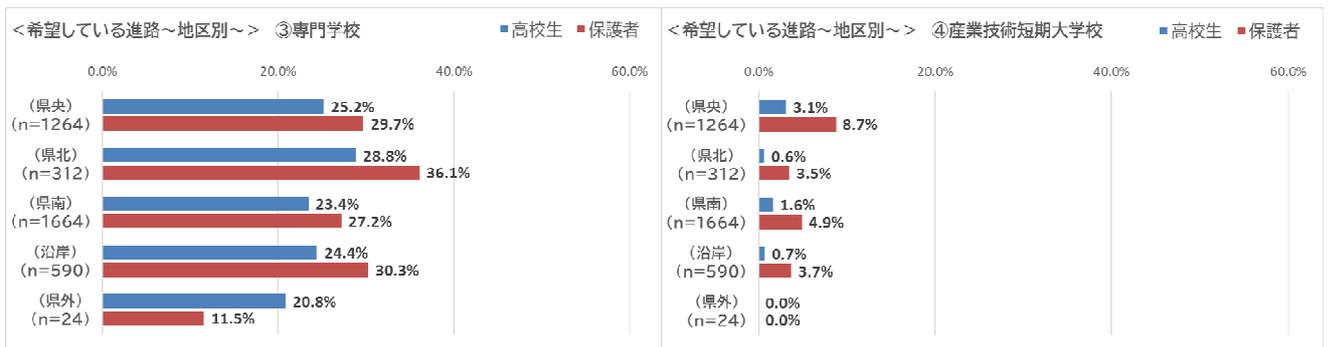
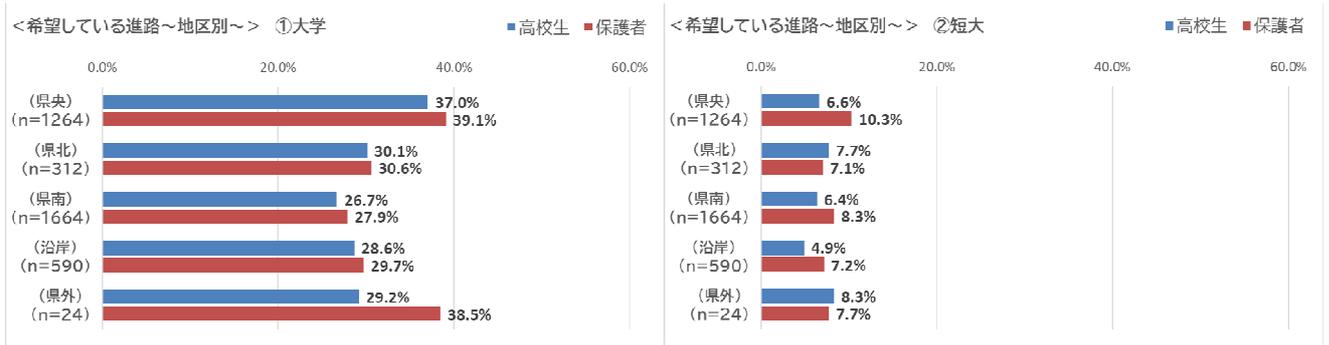
<地区別>	n=	①大学	②短大	③専門学校	④産業技術 短期大学校	⑤高等技術 専門学校	⑥就職	⑦まだ考えて いない	⑧その他
回答数	3864	1187	246	947	72	27	1704	179	22
		30.7%	6.4%	24.5%	1.9%	0.7%	44.1%	4.6%	0.6%
(県央)	1264	468	84	318	39	3	490	53	6
		37.0%	6.6%	25.2%	3.1%	0.2%	38.8%	4.2%	0.5%
(県北)	312	94	24	90	2	2	143	11	1
		30.1%	7.7%	28.8%	0.6%	0.6%	45.8%	3.5%	0.3%
(県南)	1664	444	106	390	27	14	799	85	10
		26.7%	6.4%	23.4%	1.6%	0.8%	48.0%	5.1%	0.6%
(沿岸)	590	169	29	144	4	7	258	29	5
		28.6%	4.9%	24.4%	0.7%	1.2%	43.7%	4.9%	0.8%
(県外)	24	7	2	5	0	1	11	0	0
		29.2%	8.3%	20.8%	0.0%	4.2%	45.8%	0.0%	0.0%
無回答	10	5	1	0	0	0	3	1	0
		50.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	30.0%	10.0%	0.0%

※複数回答。構成比は回答者数を100%(n=)とした割合である。

地区別にみると、いずれの地区も「就職」が最も高く、次いで、「大学」、「専門学校」を続く。

希望進路別にみると、「大学」は「県央」が最も高く、次いで「県北」、「沿岸」、「県南」と続く。「短大」や「専門学校」は「県北」が最も高く、「県南」や「沿岸」は低め。尚、「産業短期大学校」は、「県央」が最も高く、次いで「県南」となり、「県北」は最も低い。一方「高等技術専門学校」は、「沿岸」が最も高く、「県央」は低い。立地の影響もありそうだ。「県南」は「就職」を希望する割合が48.0%と約半数となる一方で、「県央」は38.8%と4割弱にとどまる。

尚、保護者アンケートでは、「県央」において「就職」より「大学」のほうが高くなっている。また「高等技術専門学校」について「県北」の割合が高校生に比べて高くなっている。

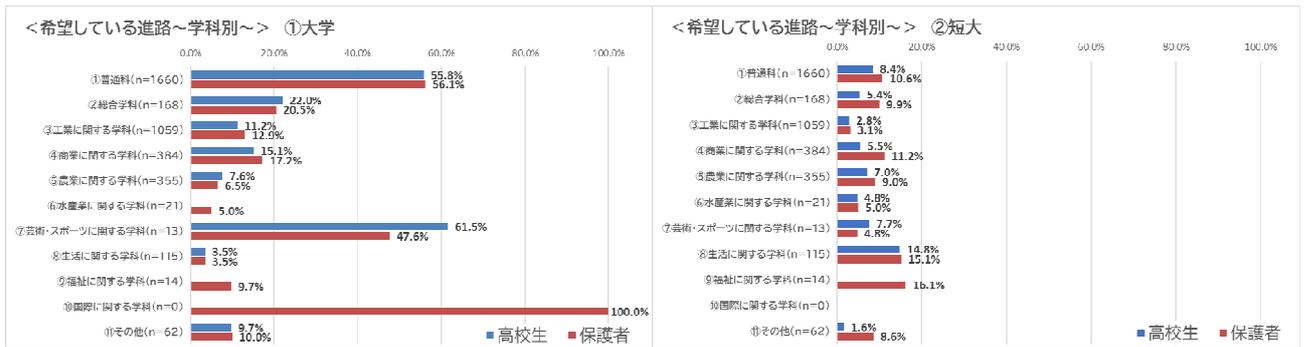


【希望進路×学科別】

(単位:人)

<学科別>	n=	①大学	②短大	③専門学校	④産業技術 短期大学校	⑤高等技術 専門学校	⑥就職	⑦まだ考えて いない	⑧その他
回答数	3864	1187	246	947	72	27	1704	179	22
		30.7%	6.4%	24.5%	1.9%	0.7%	44.1%	4.6%	0.6%
①普通科	1660	926	140	435	10	5	297	79	5
		55.8%	8.4%	26.2%	0.6%	0.3%	17.9%	4.8%	0.3%
②総合学科	168	37	9	64	4	1	68	9	0
		22.0%	5.4%	38.1%	2.4%	0.6%	40.5%	5.4%	0.0%
③工業に関する学科	1059	119	30	131	45	16	789	43	9
		11.2%	2.8%	12.4%	4.2%	1.5%	74.5%	4.1%	0.8%
④商業に関する学科	384	58	21	132	9	3	210	17	2
		15.1%	5.5%	34.4%	2.3%	0.8%	54.7%	4.4%	0.5%
⑤農業に関する学科	355	27	25	114	4	2	212	16	5
		7.6%	7.0%	32.1%	1.1%	0.6%	59.7%	4.5%	1.4%
⑥水産業に関する学科	21	0	1	4	0	0	13	3	0
		0.0%	4.8%	19.0%	0.0%	0.0%	61.9%	14.3%	0.0%
⑦芸術・スポーツに関する学科	13	8	1	3	0	0	2	2	0
		61.5%	7.7%	23.1%	0.0%	0.0%	15.4%	15.4%	0.0%
⑧生活に関する学科	115	4	17	37	0	0	66	2	0
		3.5%	14.8%	32.2%	0.0%	0.0%	57.4%	1.7%	0.0%
⑨福祉に関する学科	14	0	0	1	0	0	13	0	0
		0.0%	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%	92.9%	0.0%	0.0%
⑩国際に関する学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
⑪その他	62	6	1	22	0	0	28	8	1
		9.7%	1.6%	35.5%	0.0%	0.0%	45.2%	12.9%	1.6%
無回答	13	2	1	4	0	0	6	0	0
		15.4%	7.7%	30.8%	0.0%	0.0%	46.2%	0.0%	0.0%

※複数回答。構成比は回答者数を100%(n=)とした割合である。



学科別に見ると、「普通科」と「芸術・スポーツに関する学科」は「大学」への進学希望が高いが、その他学科では「就職」希望の割合が高い。特に「福祉に関する学科」の就職希望者は92.9%、「工業に関する学科」は74.5%と、「普通科」と比べると大きな差があった。

【その他記載】⑧

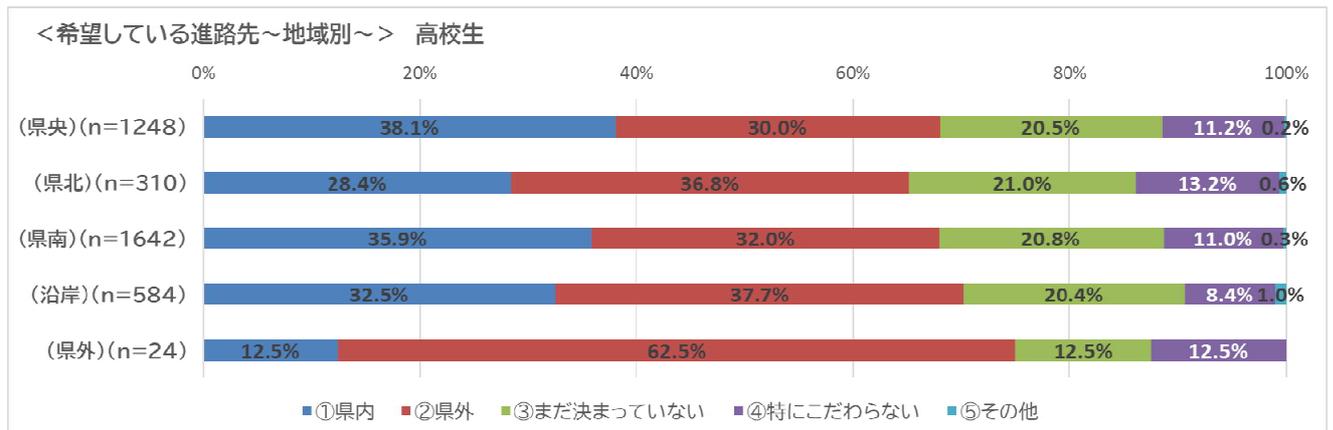
＜その他-高校生＞	
プロ野球選手	1
韓国語学堂	1
起業	1
研修	1
語学堂	1
公務員	3
工業高校専攻科	1
高看	1
自衛官	1
就農	1
専攻科	1
悩んでいる	1
悩んでいる。	1
能開大	1
防衛大学校	1
迷っている	1
留学	1

Q5. あなたが希望している進路先は、県内ですか。県外ですか。

【進路先県内外×地区別】

(単位:人)

<地区別>	n=	①県内	②県外	③まだ決ま ていない	④特にこだわ らない	⑤その他
回答数	3818	1348	1251	787	416	16
	100.0%	35.3%	32.8%	20.6%	10.9%	0.4%
(県央)	1248	475	374	256	140	3
	100.0%	38.1%	30.0%	20.5%	11.2%	0.2%
(県北)	310	88	114	65	41	2
	100.0%	28.4%	36.8%	21.0%	13.2%	0.6%
(県南)	1642	589	526	341	181	5
	100.0%	35.9%	32.0%	20.8%	11.0%	0.3%
(沿岸)	584	190	220	119	49	6
	100.0%	32.5%	37.7%	20.4%	8.4%	1.0%
(県外)	24	3	15	3	3	0
	100.0%	12.5%	62.5%	12.5%	12.5%	0.0%
無回答	10	3	2	3	2	0
	100.0%	30.0%	20.0%	30.0%	20.0%	0.0%



希望進路先の県内・外を聞いたところ、「県内」が 35.3%と最も高く、次いで「県外」の 32.8%、「まだ決ま
ていない」が 20.6%、「特にこだわらない」が 10.9%と続く。3 割超が「県内」を志望しているものの、同様の 3 割超が進
路先として「県外」を選択している。

地区別で見ると、「県央」と「県南」は「県内」を希望する割合が最も高く、一方で「県北」と「沿岸」は、「県内」より
「県外」とする割合が高い。人口や産業の集積に連動する傾向にある。また全地区ともに概ね 2 割の高校生が、「ま
だ決まていない」となっている。

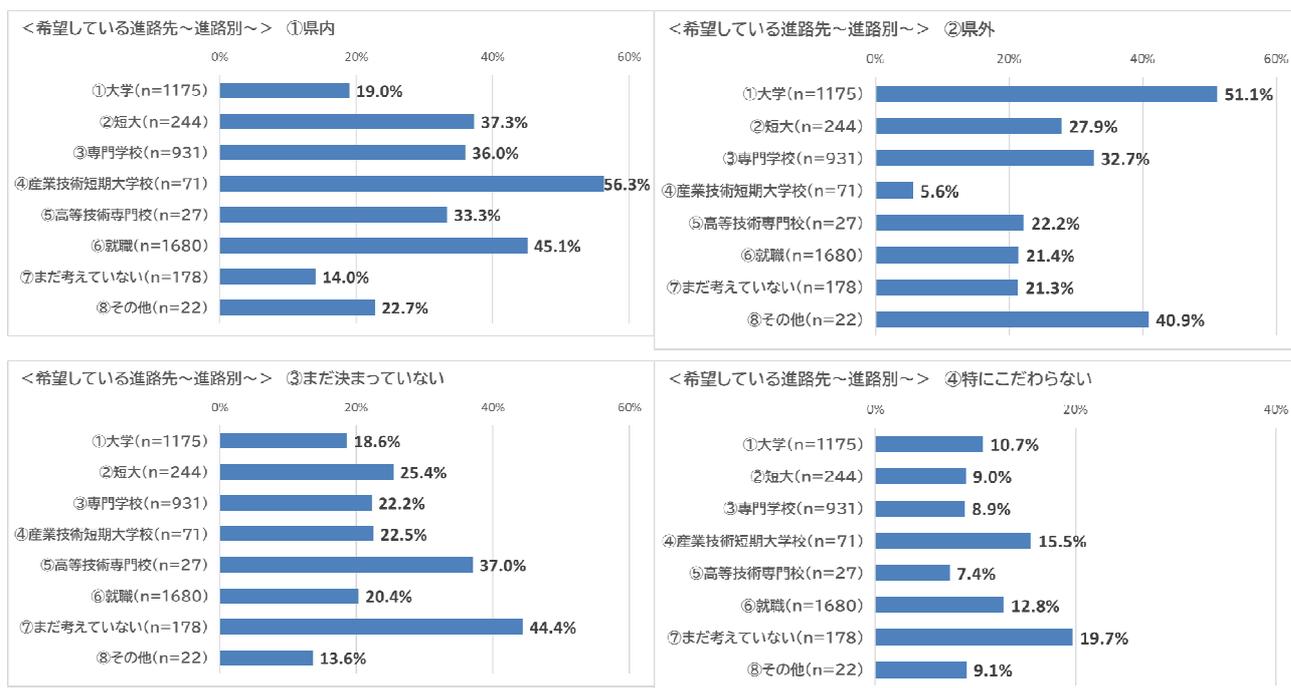
「県内」とする割合が最も高いのは、「県央」で 38.1%、次いで「県南」の 35.9%と続き、一方、最も低い「県北」
は 28.4%にとどまる。「県外」を希望する割合が最も高いのは、「沿岸」で 37.7%、次いで「県北」の 36.8%と続く。
最も低いのは「県央」の 30.0%。

尚、保護者アンケートでは、「県内」希望が 45.5%、「県外」が 11.3%と保護者のほうが「県内」を希望する割合
が高くなっている。

【進路先県内外×希望進路先】

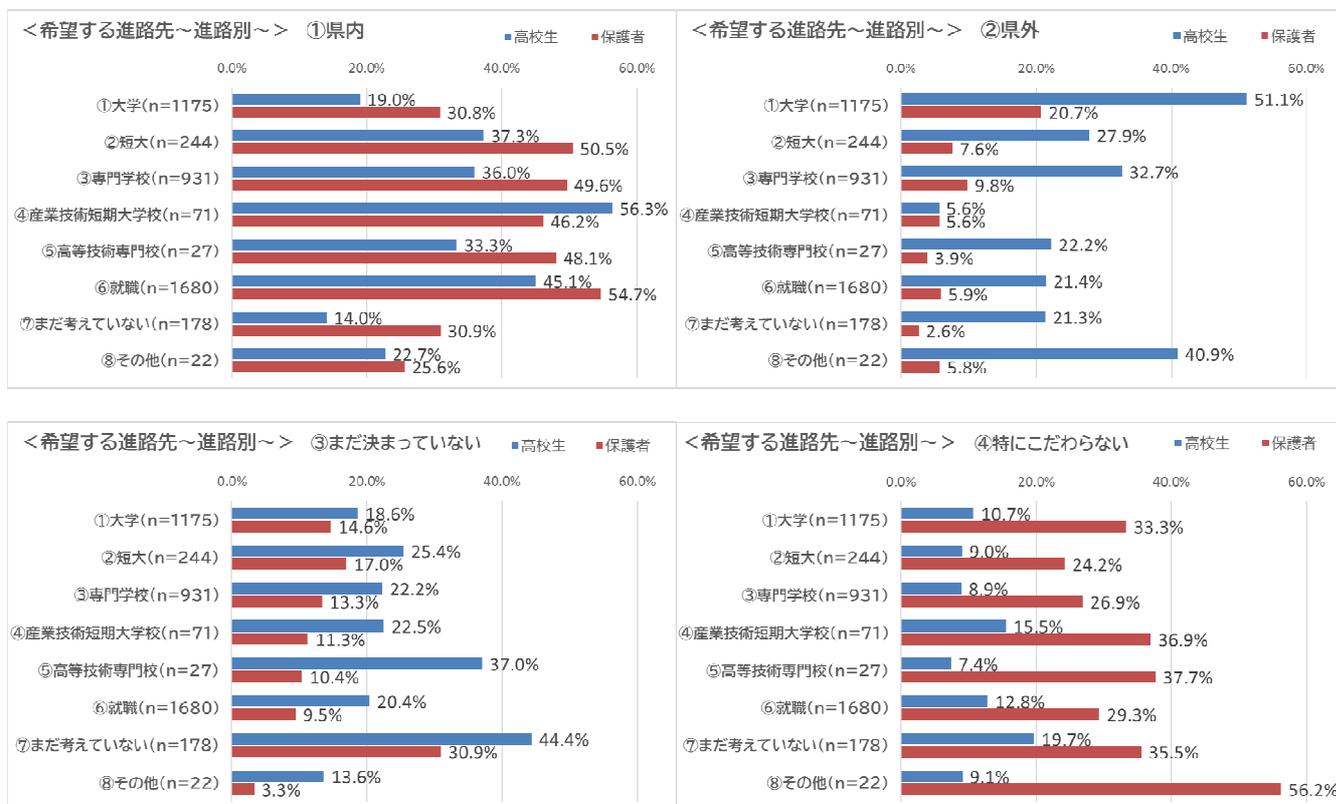
(単位:人)

<進路別>	n=	①県内	②県外	③まだ決ま っていない	④特にこだわ らない	⑤その他
回答数	3818	1348	1251	787	416	16
	100.0%	35.3%	32.8%	20.6%	10.9%	0.4%
①大学	1175	223	601	219	126	6
	100.0%	19.0%	51.1%	18.6%	10.7%	0.5%
②短大	244	91	68	62	22	1
	100.0%	37.3%	27.9%	25.4%	9.0%	0.4%
③専門学校	931	335	304	207	83	2
	100.0%	36.0%	32.7%	22.2%	8.9%	0.2%
④産業技術短期大学校	71	40	4	16	11	0
	100.0%	56.3%	5.6%	22.5%	15.5%	0.0%
⑤高等技術専門学校	27	9	6	10	2	0
	100.0%	33.3%	22.2%	37.0%	7.4%	0.0%
⑥就職	1680	757	360	342	215	6
	100.0%	45.1%	21.4%	20.4%	12.8%	0.4%
⑦まだ考えていない	178	25	38	79	35	1
	100.0%	14.0%	21.3%	44.4%	19.7%	0.6%
⑧その他	22	5	9	3	2	3
	100.0%	22.7%	40.9%	13.6%	9.1%	13.6%



希望進路先別でみると、「県内」とする割合が最も高いのは、「産業技術短期大学校」の 56.3%、次いで「就職」の 45.1%、「短大」の 37.3%、「専門学校」の 36.0%と続く。一方、「県外」とする割合が最も高いのは、「大学」の 51.1%、次いで「専門学校」の 32.7%、「短大」の 27.9%と続く。「短大」と「専門学校」は、「県内」・「県外」ともに割合が高い。尚、「産業技術短期大学校」は「県内」希望が 56.3%。「県外」希望が 5.6%と低く、「高等技術専門学校」は「まだ決ま
っていない」が 37.0%、次いで「県内」の 33.3%。「就職」は「県内」が 45.1%と高いものの、「県外」も 21.4%存在する。

【参考：保護者との比較 進路先県内外×希望進路先】



参考までに、高校生とその保護者の「県内」・「県外」の意向を比較してみると、保護者の方が全体的に「県内」志向が強い。ただ、「産業短期大学校」のみ、高校生の方が「県内」を選択した割合が高い。また保護者は「特にこだわらない」の割合も高い。

⑤その他（記載）

＜その他＞	
コロナの状態による	1
海外	1
管内	2
韓国	1
神奈川	1
東北	5
迷っている	1

Q6. あなたは、進学や就職にあたって、どのような分野に進みたいと考えていますか。(2つ以内)

【分野別×地区別】【希望進路先が県外選択者】

(単位:人)

	Q2.地区別							Q5.②県外 選択者		
	回答数	(県央)	(県北)	(県南)	(沿岸)	(県外)	無回答	大学	短大	専門学校
n=	3863	1264	313	1660	592	24	10	601	68	303
①土木・建築系	375 9.7%	105 8.3%	49 15.7%	167 10.1%	51 8.6%	3 12.5%	0 0.0%	51 8.5%	1 1.5%	15 5.0%
②調理・栄養系	198 5.1%	67 5.3%	17 5.4%	71 4.3%	43 7.3%	0 0.0%	0 0.0%	25 4.2%	9 13.2%	24 7.9%
③被服系	35 0.9%	11 0.9%	6 1.9%	15 0.9%	2 0.3%	1 4.2%	0 0.0%	5 0.8%	2 2.9%	6 2.0%
④営業系	107 2.8%	41 3.2%	7 2.2%	39 2.3%	19 3.2%	1 4.2%	0 0.0%	26 4.3%	4 5.9%	3 1.0%
⑤機械・金属加工系	367 9.5%	61 4.8%	29 9.3%	206 12.4%	68 11.5%	1 4.2%	2 20.0%	26 4.3%	3 4.4%	7 2.3%
⑥情報・通信系	343 8.9%	101 8.0%	15 4.8%	185 11.1%	39 6.6%	1 4.2%	2 20.0%	61 10.1%	4 5.9%	25 8.3%
⑦電気・電子系	312 8.1%	88 7.0%	13 4.2%	159 9.6%	50 8.4%	1 4.2%	1 10.0%	27 4.5%	4 5.9%	7 2.3%
⑧美術・デザイン系	180 4.7%	53 4.2%	14 4.5%	85 5.1%	27 4.6%	1 4.2%	0 0.0%	36 6.0%	6 8.8%	47 15.5%
⑨養護・保育系	206 5.3%	60 4.7%	24 7.7%	84 5.1%	36 6.1%	2 8.3%	0 0.0%	19 3.2%	18 26.5%	23 7.6%
⑩自動車整備系	130 3.4%	29 2.3%	13 4.2%	65 3.9%	23 3.9%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.2%	0 0.0%	15 5.0%
⑪医療・福祉系	565 14.6%	211 16.7%	30 9.6%	227 13.7%	95 16.0%	1 4.2%	1 10.0%	141 23.5%	13 19.1%	54 17.8%
⑫理容・美容系	143 3.7%	49 3.9%	11 3.5%	55 3.3%	26 4.4%	2 8.3%	0 0.0%	6 1.0%	0 0.0%	43 14.2%
⑬会計・経理事務系	159 4.1%	72 5.7%	8 2.6%	62 3.7%	16 2.7%	1 4.2%	0 0.0%	25 4.2%	3 4.4%	7 2.3%
⑭法律・公務員系	332 8.6%	111 8.8%	46 14.7%	124 7.5%	47 7.9%	2 8.3%	2 20.0%	64 10.6%	6 8.8%	11 3.6%
⑮動物・水産系	111 2.9%	40 3.2%	8 2.6%	35 2.1%	28 4.7%	0 0.0%	0 0.0%	10 1.7%	2 2.9%	14 4.6%
⑯農業・園芸系	88 2.3%	32 2.5%	9 2.9%	38 2.3%	8 1.4%	1 4.2%	0 0.0%	3 0.5%	0 0.0%	2 0.7%
⑰教育・研究系	202 5.2%	86 6.8%	18 5.8%	67 4.0%	29 4.9%	1 4.2%	1 10.0%	105 17.5%	6 8.8%	6 2.0%
⑱卸売・販売系	121 3.1%	39 3.1%	11 3.5%	51 3.1%	19 3.2%	1 4.2%	0 0.0%	6 1.0%	0 0.0%	5 1.7%
⑲接客・ホテル系	164 4.2%	70 5.5%	11 3.5%	56 3.4%	26 4.4%	1 4.2%	0 0.0%	12 2.0%	1 1.5%	21 6.9%
⑳旅行・観光系	56 1.4%	32 2.5%	2 0.6%	14 0.8%	8 1.4%	0 0.0%	0 0.0%	25 4.2%	1 1.5%	6 2.0%
㉑交通・運輸系	59 1.5%	11 0.9%	6 1.9%	33 2.0%	9 1.5%	0 0.0%	0 0.0%	4 0.7%	0 0.0%	3 1.0%
㉒その他	180 4.7%	68 5.4%	15 4.8%	67 4.0%	27 4.6%	3 12.5%	0 0.0%	56 9.3%	3 4.4%	38 12.5%
㉓まだわからない	586 15.2%	191 15.1%	43 13.7%	265 16.0%	81 13.7%	3 12.5%	3 30.0%	68 11.3%	5 7.4%	17 5.6%

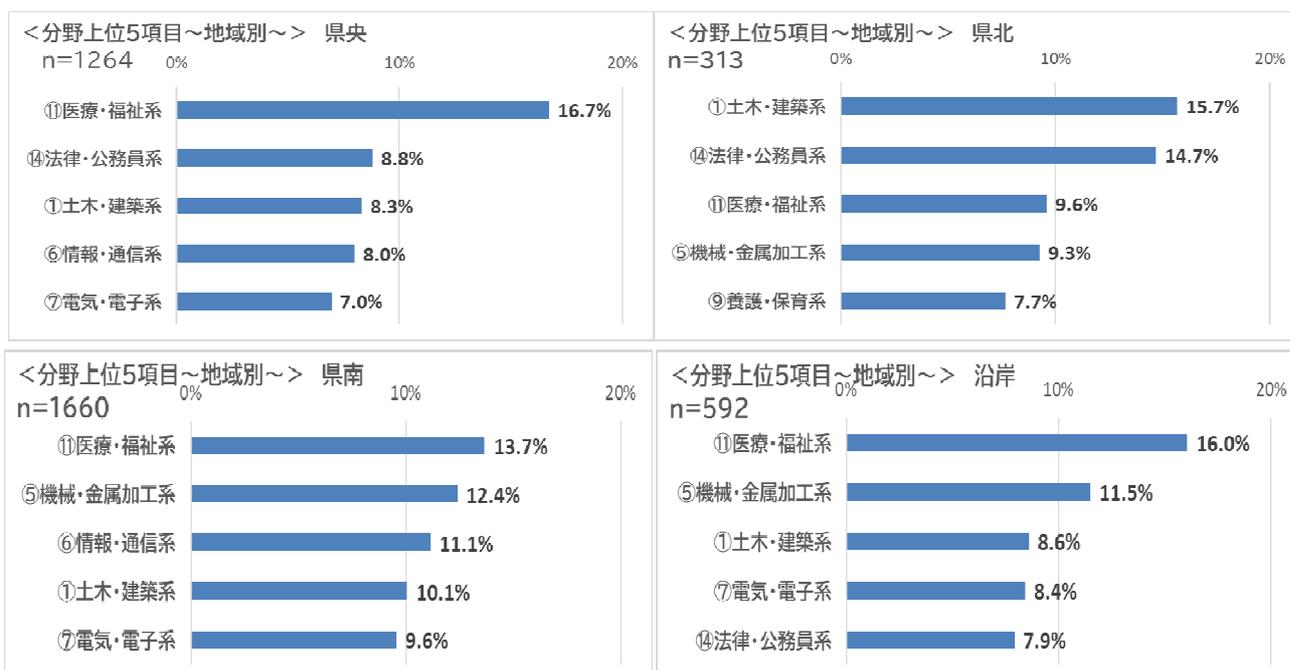
※複数回答。構成比は回答者数を100%(n=)とした割合である。

どのような分野に進みたいか聞いたところ、最多は「医療・福祉系」の14.6%、次いで「土木・建築系」の9.7%、「機械・金属加工系」の9.5%と続く。

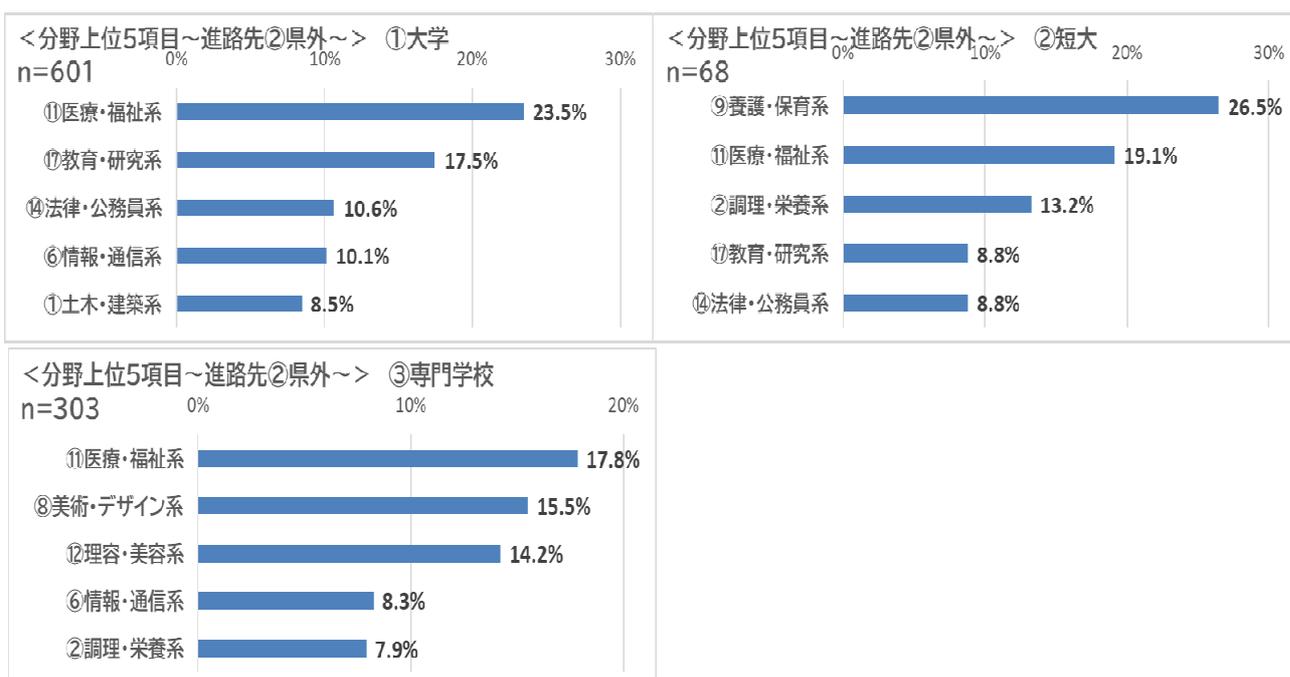
地区別でみると、「県央」は「医療・福祉系」が最も多く16.7%、次いで「法律・公務員系」の8.8%、「土木・建築系」の8.3%と続く。「県北」は「土木・建築系」が最多の15.7%、次いで「法律・公務員系」の14.7%、「医療・福祉系」の9.6%と続く。「県南」は「医療・福祉系」の13.7%が最も多く、次いで「機械・金属加工系」の12.4%、「情報・通信系」の11.1%と続く。「沿岸」は「医療・福祉系」の16.0%が最多。次いで「機械・金属加工系」の11.5%、「土木・建築系」の8.6%と続く。尚、「その他」の回答数も多く、後述の通り、IT・プログラミング系、スポーツ系、音楽・芸術系、語学・国際系など、幅広い意見があった。

尚、保護者アンケートでは、最多は「医療・福祉系」と同じだが、次いで「法律・公務員系」、「情報・通信系」と続いている。」

【地区別上位】



【分野別上位】



参考までに、Q5 で「県外」を選択し、さらに「大学」、「短大」、「専門学校」への進路を希望している高校生の進みたい分野をみると、県外「大学」は、「医療・福祉系」が 23.5%と最も多く、次いで「教育・研究系」の 17.5%、「法律・公務員系」の 10.6%と続く。県外「短大」は、「養護・保育系」がダントツトップの 26.5%、次いで「医療・福祉系」の 19.1%、「調理・栄養系」の 13.2%と続く。県外「専門学校」は、「医療・福祉系」の 17.8%が最も多く、次いで「美術・デザイン系」の 15.5%、「理容・美容系」の 14.2%と続く。

尚、保護者アンケートでは、「短大」・「専門学校」においても「医療・福祉系」がトップとなり、第 2 順位以降も高校生とは異なる結果となった。

②その他（記載）

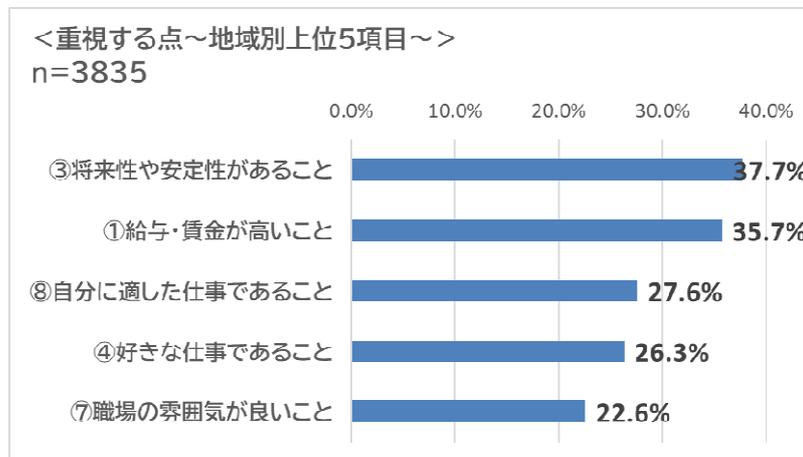
<その他>			
CG、映像系	1	研究職	1
e-sport	1	語学	2
IT プログラマー	1	語学系	1
ウェディング系	2	工学	1
エンタメ	1	工業系工学系	1
サービス業	1	広告宣伝・広報	1
サービス系	1	国際	2
スポーツ	1	国際・外国語	1
スポーツ・体育系	1	国際系	1
スポーツ企業	1	司書	1
スポーツ系	7	事務	1
なんでもいい	1	事務系	2
ブライダル	2	自衛隊	1
マスコミ	1	実況	1
メディア系	1	写真・映像	1
印刷	1	出版系	1
飲食系	1	食品製造系	1
運動・スポーツ	1	心理	2
映像系	2	心理・行動科学	1
演技に関するもの	1	心理学	3
音楽	1	生命科学	1
音楽・芸術系	1	精密機器の製造	1
音楽スタッフ系	1	声優	3
音楽関係	1	声優・音楽・パソコン系	1
音楽系	1	声優系	1
音楽系、芸能系	1	製造	1
家政夫	1	製造関係	1
介護	1	製造業	2
介護ではない福祉系、障がいを持った人達のサポート	1	製造系	2
海運	1	設備系	1
海外営業系、音楽系	1	船の機関士	1
外国語	1	体育系	1
外国語学	1	美容・メイクアップ	1
外国語系	1	表現	1
環境	1	物理学系	1
看護系	1	文学	1
企画系	1	文学系	1
金属・材料系	1	保育・児童系	1
金融系	1	報道関係	1
経営	2	薬学	1
経済	3	薬学系	1
芸術系	2	林業	2
芸能	1	林業系	1
芸能・メディア系	1	国際	1
建設	1	チェッカー	1

Q7. 職業や就職先を決める際に、重視する点は何ですか。(2つ以内)

【重視する点×地区別】

<地域別>	n=	(単位:人)																
		①給与・賃金が高いこと	②知名度が高いこと	③将来性や安定性があること	④好きな仕事であること	⑤知識や技術が活かせること	⑥社会貢献ができること	⑦職場の雰囲気が良いこと	⑧自分に適した仕事であること	⑨残業が少ないこと	⑩休暇制度の充実	⑪子育て支援の充実	⑫資格取得支援の充実	⑬通勤に便利であること	⑭社員寮等住環境の充実	⑮家族や先生の勧め	⑯その他	⑰わからない
回答数	3835	1370	45	1445	1009	366	194	866	1058	77	389	30	53	81	17	19	15	62
		35.7%	1.2%	37.7%	26.3%	9.5%	5.1%	22.6%	27.6%	2.0%	10.1%	0.8%	1.4%	2.1%	0.4%	0.5%	0.4%	1.6%
(県央)	1253	438	17	454	346	104	65	304	342	29	135	7	18	29	7	7	5	23
		35.0%	1.4%	36.2%	27.6%	8.3%	5.2%	24.3%	27.3%	2.3%	10.8%	0.6%	1.4%	2.3%	0.6%	0.6%	0.4%	1.8%
(県北)	313	102	3	130	87	22	15	74	83	7	28	4	3	10	3	2	1	4
		32.6%	1.0%	41.5%	27.8%	7.0%	4.8%	23.6%	26.5%	2.2%	8.9%	1.3%	1.0%	3.2%	1.0%	0.6%	0.3%	1.3%
(県南)	1651	613	19	636	403	181	76	360	469	25	159	14	21	23	5	6	8	23
		37.1%	1.2%	38.5%	24.4%	11.0%	4.6%	21.8%	28.4%	1.5%	9.6%	0.8%	1.3%	1.4%	0.3%	0.4%	0.5%	1.4%
(沿岸)	584	202	6	212	162	57	36	124	161	15	63	4	9	16	1	4	1	12
		34.6%	1.0%	36.3%	27.7%	9.8%	6.2%	21.2%	27.6%	2.6%	10.8%	0.7%	1.5%	2.7%	0.2%	0.7%	0.2%	2.1%
(県外)	24	11	0	10	7	0	1	3	2	1	3	0	2	2	1	0	0	0
		45.8%	0.0%	41.7%	29.2%	0.0%	4.2%	12.5%	8.3%	4.2%	12.5%	0.0%	8.3%	8.3%	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	10	4	0	3	4	2	1	1	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0
		40.0%	0.0%	30.0%	40.0%	20.0%	10.0%	10.0%	10.0%	0.0%	10.0%	10.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

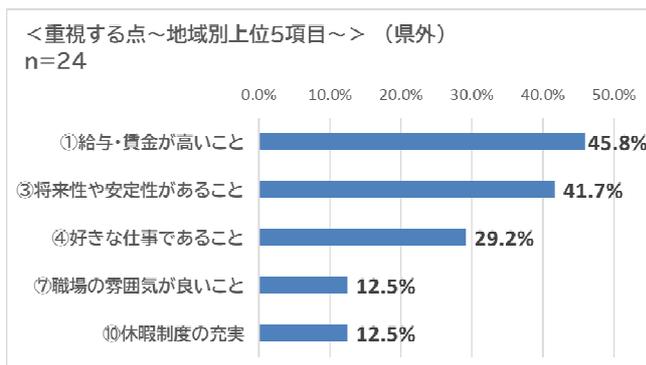
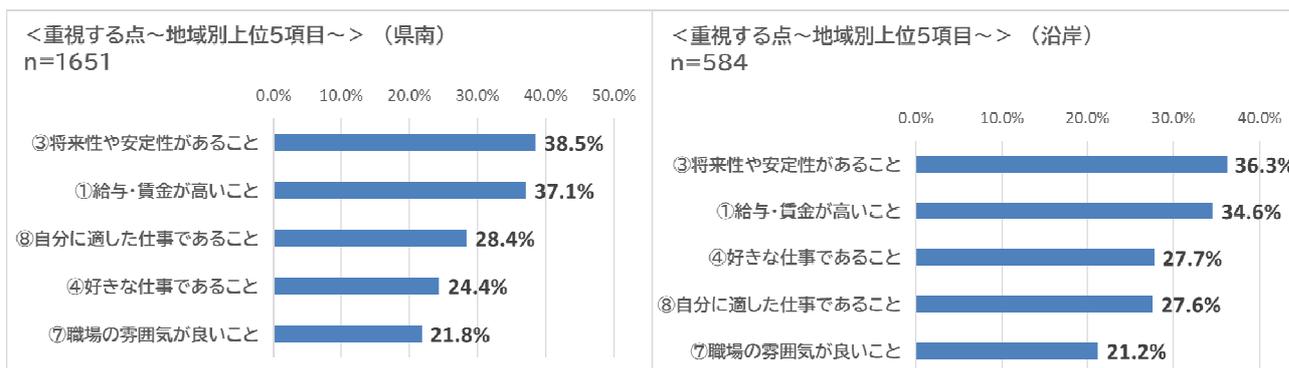
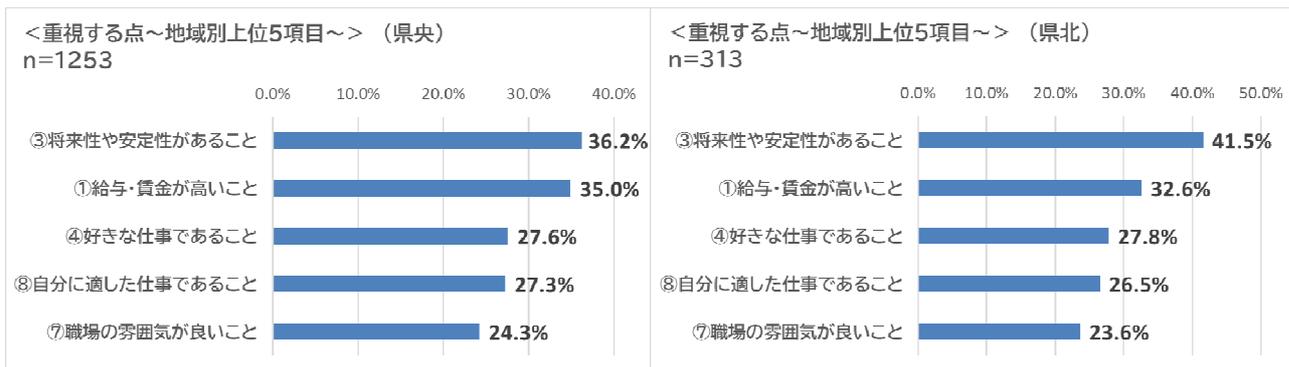
※複数回答。構成比は回答者数を100%(n=)とした割合である。



就職や進路を決める際に重視する点を聞いたところ、「将来性や安定性があること」が最も高く 37.7%、次いで「給与・賃金が高いこと」の 35.7%、「自分に適した仕事であること」の 27.6%と続く。

地区別にみると、いずれの地区においても上位のトップ3に加え、「好きな仕事であること」、「職場の雰囲気が良いこと」がランクインしている。

尚、保護者アンケートでは、「給与・賃金が高いこと」は 14.5%と高校生を比べてあまり重視していないことが窺われる。



【重視する点×希望進路先】

(単位:人)

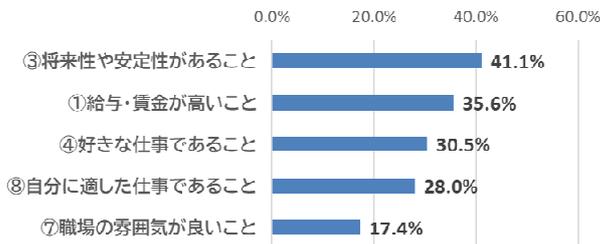
<進路別>	n=	①給与・賃金が高いこと	②知名度が高いこと	③将来性や安定性があること	④好きな仕事であること	⑤知識や技術が活かせること	⑥社会貢献ができること	⑦職場の雰囲気が良いこと	⑧自分に適した仕事であること	⑨残業が少ないこと	⑩休暇制度の充実	⑪子育て支援の充実	⑫資格取得支援の充実	⑬通勤に便利であること	⑭社員寮等住環境の充実	⑮家族や先生の勤め	⑯その他	⑰わからない
回答数	3835	1370	45	1445	1009	366	194	866	1058	77	389	30	53	81	17	19	15	62
		35.7%	1.2%	37.7%	26.3%	9.5%	5.1%	22.6%	27.6%	2.0%	10.1%	0.8%	1.4%	2.1%	0.4%	0.5%	0.4%	1.6%
①大学	1174	418	11	483	358	112	78	204	329	26	100	6	14	11	1	6	6	16
		35.6%	0.9%	41.1%	30.5%	9.5%	6.6%	17.4%	28.0%	2.2%	8.5%	0.5%	1.2%	0.9%	0.1%	0.5%	0.5%	1.4%
②短大	242	74	4	105	65	28	6	55	67	4	20	4	7	4	0	2	1	1
		30.6%	1.7%	43.4%	26.9%	11.6%	2.5%	22.7%	27.7%	1.7%	8.3%	1.7%	2.9%	1.7%	0.0%	0.8%	0.4%	0.4%
③専門学校	939	283	7	340	333	118	42	209	253	8	85	12	19	16	1	4	3	7
		30.1%	0.7%	36.2%	35.5%	12.6%	4.5%	22.3%	26.9%	0.9%	9.1%	1.3%	2.0%	1.7%	0.1%	0.4%	0.3%	0.7%
④産業技術短期大学校	71	20	0	40	20	12	2	14	16	3	7	0	1	1	0	0	1	1
		28.2%	0.0%	56.3%	28.2%	16.9%	2.8%	19.7%	22.5%	4.2%	9.9%	0.0%	1.4%	1.4%	0.0%	0.0%	1.4%	1.4%
⑤高等技術専門学校	26	13	1	6	8	2	1	4	6	0	6	0	0	0	0	0	0	0
		50.0%	3.8%	23.1%	30.8%	7.7%	3.8%	15.4%	23.1%	0.0%	23.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
⑥就職	1687	684	20	629	324	121	78	450	473	36	206	11	26	51	15	7	6	24
		40.5%	1.2%	37.3%	19.2%	7.2%	4.6%	26.7%	28.0%	2.1%	12.2%	0.7%	1.5%	3.0%	0.9%	0.4%	0.4%	1.4%
⑦まだ考えていない	177	69	9	54	39	7	3	37	43	8	21	0	1	2	0	1	0	17
		39.0%	5.1%	30.5%	22.0%	4.0%	1.7%	20.9%	24.3%	4.5%	11.9%	0.0%	0.6%	1.1%	0.0%	0.6%	0.0%	9.6%
⑧その他	22	4	0	9	5	3	4	5	8	0	2	1	0	0	0	0	1	0
		18.2%	0.0%	40.9%	22.7%	13.6%	18.2%	22.7%	36.4%	0.0%	9.1%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.5%	0.0%
無回答	11	8	1	0	4	3	1	0	1	5	0	0	0	0	0	0	0	0
		72.7%	9.1%	0.0%	36.4%	27.3%	9.1%	0.0%	9.1%	45.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

※複数回答。構成比は回答者数を100%(n=)とした割合である。

希望進路先別でみると、「大学」、「短大」、「専門学校」、「産業技術短期大学校」などは概ね全体と同じ傾向を示しており、「将来性や安定性があること」が最も高い。ただし「高等技術専門学校」と「就職」は「給与・賃金が高いこと」が最も高い結果になっている。

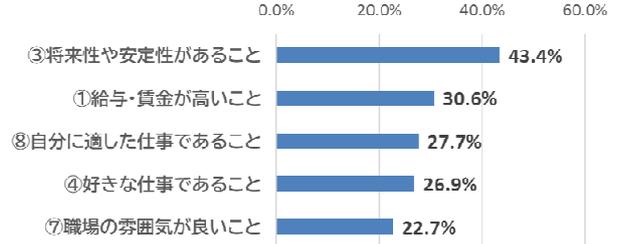
<重視する点～進路別上位5項目～>

①大学 (n=1174)



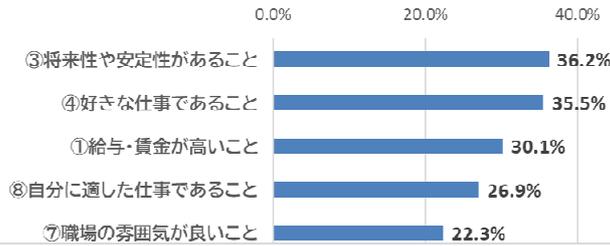
<重視する点～進路別上位5項目～>

②短大 (n=242)



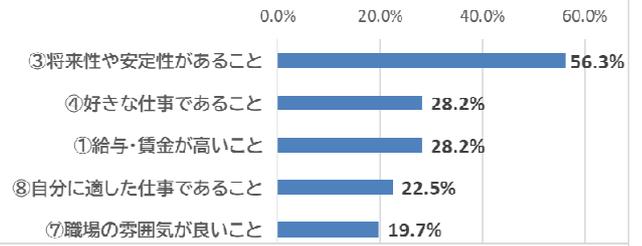
<重視する点～進路別上位5項目～>

③専門学校 (n=939)



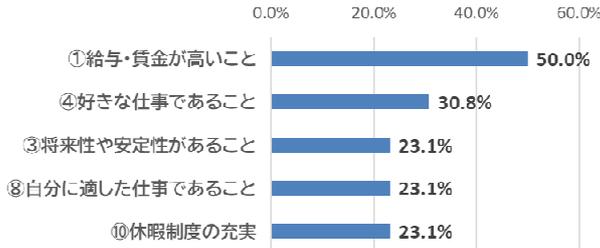
<重視する点～進路別上位5項目～>

④産業技術短期大学校 (n=71)



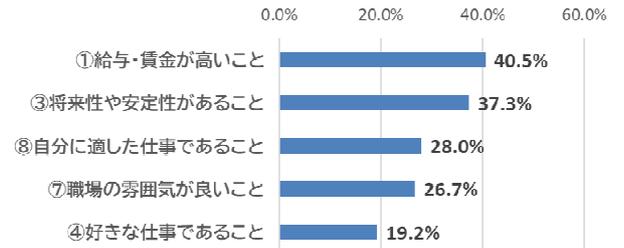
<重視する点～進路別上位5項目～>

⑤高等技術専門学校 (n=26)



<重視する点～進路別上位5項目～>

⑥就職 (n=1687)



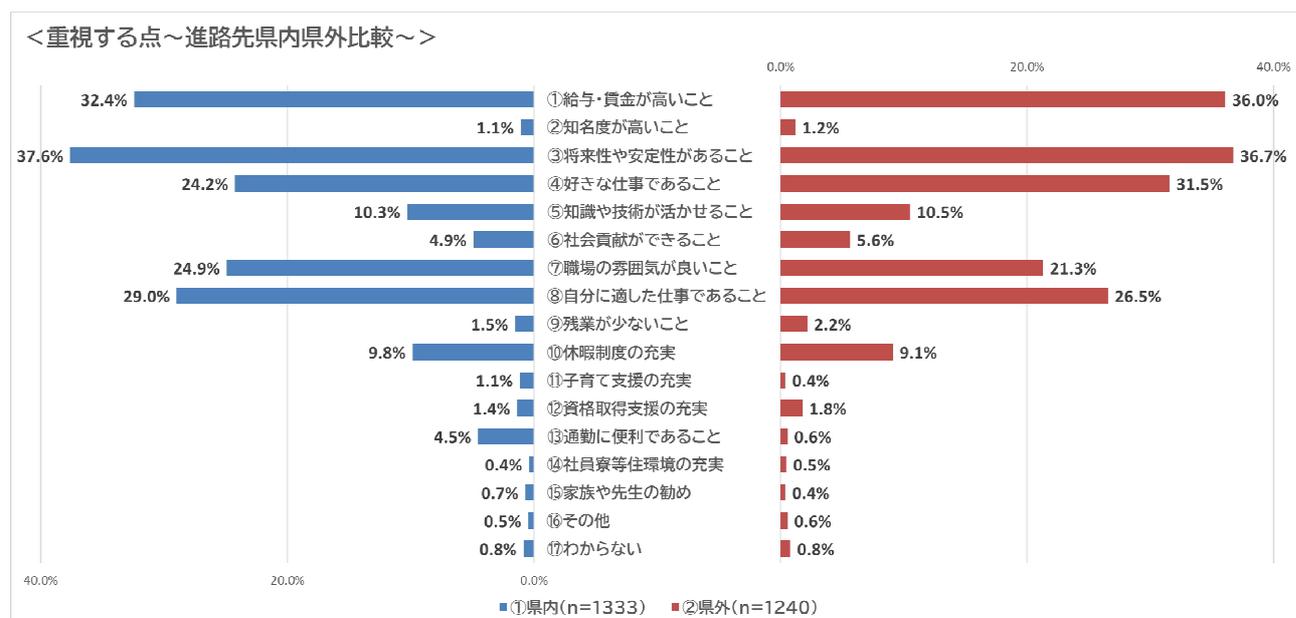
【重視する点×進路先県内外別】

(単位:人)

<進路先別>	n=	①給与・賃金が高いこと	②知名度が高いこと	③将来性や安定性があること	④好きな仕事であること	⑤知識や技術が活かせること	⑥社会貢献ができること	⑦職場の雰囲気が良いこと	⑧自分に適した仕事であること	⑨残業が少ないこと	⑩休暇制度の充実	⑪子育て支援の充実	⑫資格取得支援の充実	⑬通勤に便利であること	⑭社員寮等住環境の充実	⑮家族や先生の勤め	⑯その他	⑰わからない
回答数	3835	1370	45	1445	1009	366	194	866	1058	77	389	30	53	81	17	19	15	62
		35.7%	1.2%	37.7%	26.3%	9.5%	5.1%	22.6%	27.6%	2.0%	10.1%	0.8%	1.4%	2.1%	0.4%	0.5%	0.4%	1.6%
①県内	1333	432	14	501	323	137	65	332	386	20	131	15	18	60	5	9	6	11
		32.4%	1.1%	37.6%	24.2%	10.3%	4.9%	24.9%	29.0%	1.5%	9.8%	1.1%	1.4%	4.5%	0.4%	0.7%	0.5%	0.8%
②県外	1240	447	15	455	391	130	70	264	329	27	113	5	22	7	6	5	7	10
		36.0%	1.2%	36.7%	31.5%	10.5%	5.6%	21.3%	26.5%	2.2%	9.1%	0.4%	1.8%	0.6%	0.5%	0.4%	0.6%	0.8%
③まだ決まっていない	779	319	12	277	195	63	30	156	214	16	83	7	8	4	5	2	1	34
		40.9%	1.5%	35.6%	25.0%	8.1%	3.9%	20.0%	27.5%	2.1%	10.7%	0.9%	1.0%	0.5%	0.6%	0.3%	0.1%	4.4%
④特にこだわらない	413	149	4	186	85	29	24	98	107	13	53	1	3	7	1	3	0	6
		36.1%	1.0%	45.0%	20.6%	7.0%	5.8%	23.7%	25.9%	3.1%	12.8%	0.2%	0.7%	1.7%	0.2%	0.7%	0.0%	1.5%
⑤その他	16	2	0	9	4	2	2	3	5	0	1	0	0	1	0	0	1	0
		12.5%	0.0%	56.3%	25.0%	12.5%	12.5%	18.8%	31.3%	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%	6.3%	0.0%
無回答	54	21	0	17	11	5	3	13	17	1	8	2	2	2	0	0	0	1
		38.9%	0.0%	31.5%	20.4%	9.3%	5.6%	24.1%	31.5%	1.9%	14.8%	3.7%	3.7%	3.7%	0.0%	0.0%	0.0%	1.9%

※複数回答。構成比は回答者数を100%(n=)とした割合である。

希望進路先県内外別でみると、最も多いのは「将来性や安定性があること」に変わらないが、「県内」希望者は「職場の雰囲気が良いこと」や「自分に適した仕事であること」は、「県外」希望者より高く、一方で「県外」希望者は、「給与・賃金が高いこと」や「好きな仕事であること」を選択する割合が「県内」より高い。

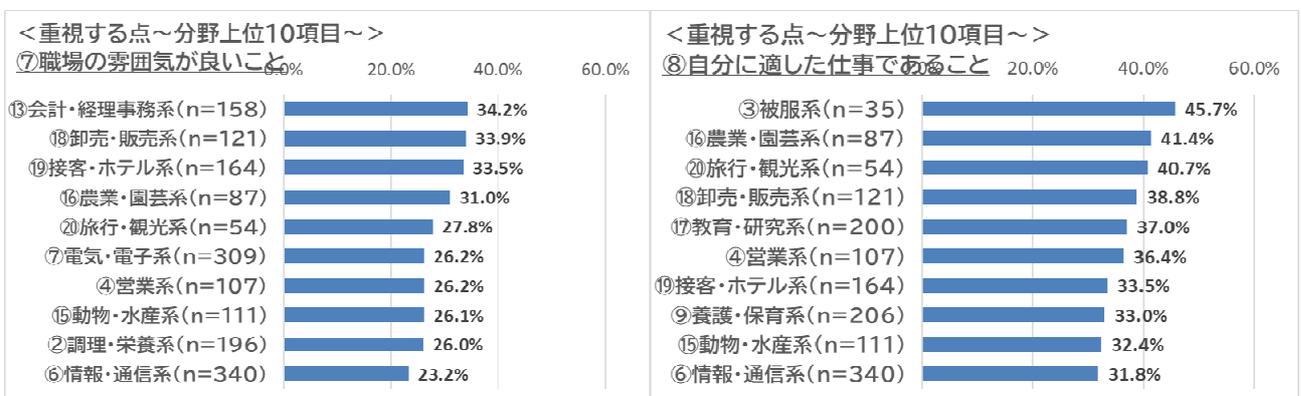
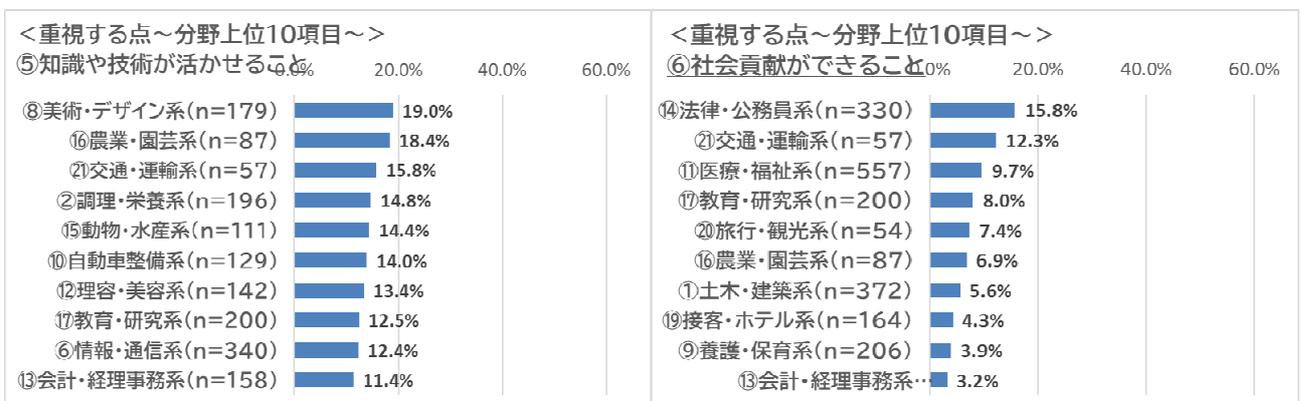
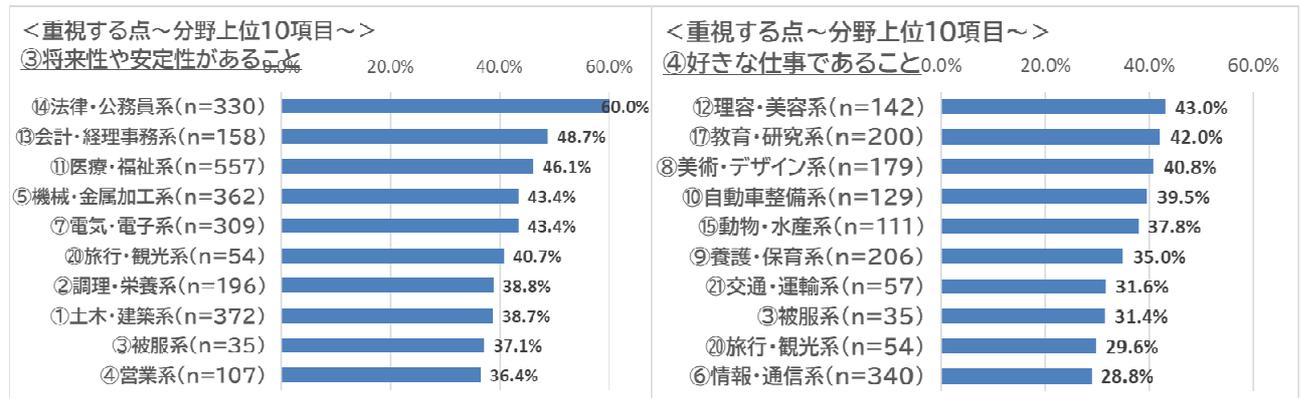
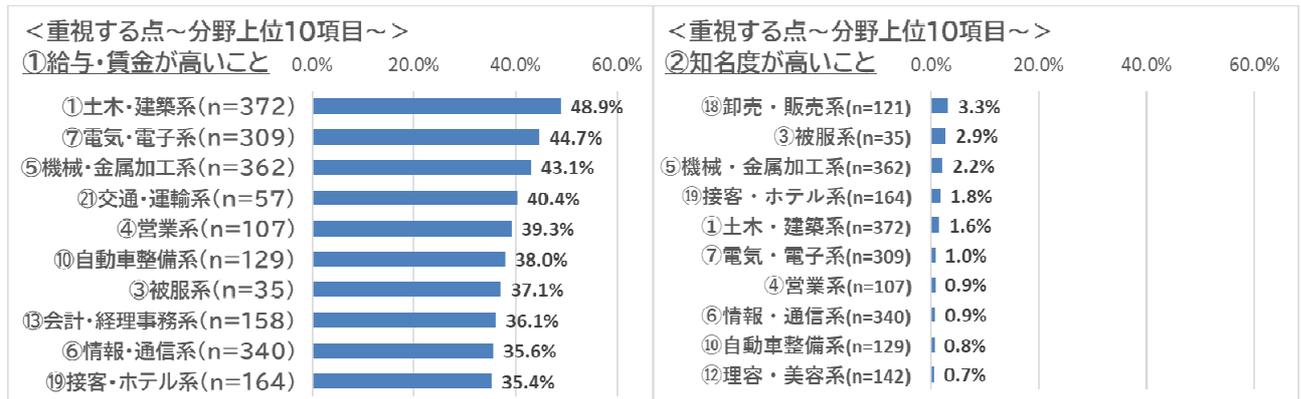


【重視する点×分野別】

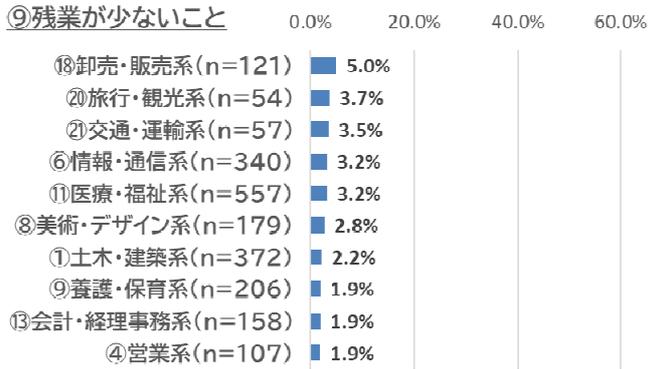
(単位:人)

<分野別>	n=	①給与・賃金が高いこと	②知名度が高いこと	③将来性や安定性があること	④好きな仕事であること	⑤知識や技術が活かせること	⑥社会貢献ができること	⑦職場の雰囲気が良いこと	⑧自分に適した仕事であること	⑨残業が少ないこと	⑩休暇制度の充実	⑪子育て支援の充実	⑫資格取得支援の充実	⑬通勤に便利であること	⑭社員寮等住環境の充実	⑮家族や先生の勧め	⑯その他	⑰わからない
		回答数	3835	1370	45	1445	1009	366	194	866	1058	77	389	30	53	81	17	19
	185.0%	35.7%	1.2%	37.7%	26.3%	9.5%	5.1%	22.6%	27.6%	2.0%	10.1%	0.8%	1.4%	2.1%	0.4%	0.5%	0.4%	1.6%
①土木・建築系	372	182	6	144	69	39	21	83	74	8	49	1	8	3	3	3	2	3
	187.6%	48.9%	1.6%	38.7%	18.5%	10.5%	5.6%	22.3%	19.9%	2.2%	13.2%	0.3%	2.2%	0.8%	0.8%	0.8%	0.5%	0.8%
②調理・栄養系	196	66	1	76	56	29	4	51	54	2	16	1	5	4	1	1	1	3
	189.3%	33.7%	0.5%	38.8%	28.6%	14.8%	2.0%	26.0%	27.6%	1.0%	8.2%	0.5%	2.6%	2.0%	0.5%	0.5%	0.5%	1.5%
③被服系	35	13	1	13	11	2	0	8	16	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	185.7%	37.1%	2.9%	37.1%	31.4%	5.7%	0.0%	22.9%	45.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%
④営業系	107	42	1	39	28	6	3	28	39	2	12	1	0	3	1	0	0	2
	193.5%	39.3%	0.9%	36.4%	26.2%	5.6%	2.8%	26.2%	36.4%	1.9%	11.2%	0.9%	0.0%	2.8%	0.9%	0.0%	0.0%	1.9%
⑤機械・金属加工系	362	156	8	157	70	41	11	77	99	2	47	2	1	16	3	1	0	3
	191.7%	43.1%	2.2%	43.4%	19.3%	11.3%	3.0%	21.3%	27.3%	0.6%	13.0%	0.6%	0.3%	4.4%	0.8%	0.3%	0.0%	0.8%
⑥情報・通信系	340	121	3	122	98	42	9	79	108	11	37	1	2	7	0	1	1	3
	189.7%	35.6%	0.9%	35.9%	28.8%	12.4%	2.6%	23.2%	31.8%	3.2%	10.9%	0.3%	0.6%	2.1%	0.0%	0.3%	0.3%	0.9%
⑦電気・電子系	309	138	3	134	58	29	9	81	79	5	41	3	5	2	3	0	1	2
	191.9%	44.7%	1.0%	43.4%	18.8%	9.4%	2.9%	26.2%	25.6%	1.6%	13.3%	1.0%	1.6%	0.6%	1.0%	0.0%	0.3%	0.6%
⑧美術・デザイン系	179	52	0	54	73	34	2	39	56	5	14	2	5	1	2	0	1	1
	190.5%	29.1%	0.0%	30.2%	40.8%	19.0%	1.1%	21.8%	31.3%	2.8%	7.8%	1.1%	2.8%	0.6%	1.1%	0.0%	0.6%	0.6%
⑨養護・保育系	206	49	0	68	72	20	8	44	68	4	16	10	4	6	0	2	0	2
	181.1%	23.8%	0.0%	33.0%	35.0%	9.7%	3.9%	21.4%	33.0%	1.9%	7.8%	4.9%	1.9%	2.9%	0.0%	1.0%	0.0%	1.0%
⑩自動車整備系	129	49	1	46	51	18	2	25	31	1	13	0	1	1	0	1	1	0
	186.8%	38.0%	0.8%	35.7%	39.5%	14.0%	1.6%	19.4%	24.0%	0.8%	10.1%	0.0%	0.8%	0.8%	0.0%	0.8%	0.8%	0.0%
⑪医療・福祉系	557	184	3	257	127	43	54	120	126	18	39	5	14	6	0	5	2	8
	181.5%	33.0%	0.5%	46.1%	22.8%	7.7%	9.7%	21.5%	22.6%	3.2%	7.0%	0.9%	2.5%	1.1%	0.0%	0.9%	0.4%	1.4%
⑫理容・美容系	142	46	1	46	61	19	0	30	45	0	9	2	4	3	0	1	0	2
	189.4%	32.4%	0.7%	32.4%	43.0%	13.4%	0.0%	21.1%	31.7%	0.0%	6.3%	1.4%	2.8%	2.1%	0.0%	0.7%	0.0%	1.4%
⑬会計・経理事務系	158	57	0	77	15	18	5	54	44	3	22	0	0	6	1	0	0	1
	191.8%	36.1%	0.0%	48.7%	9.5%	11.4%	3.2%	34.2%	27.8%	1.9%	13.9%	0.0%	0.0%	3.8%	0.6%	0.0%	0.0%	0.6%
⑭法律・公務員系	330	113	2	198	61	12	52	49	83	4	22	1	4	7	0	2	2	1
	185.8%	34.2%	0.6%	60.0%	18.5%	3.6%	15.8%	14.8%	25.2%	1.2%	6.7%	0.3%	1.2%	2.1%	0.0%	0.6%	0.6%	0.3%
⑮動物・水産系	111	32	0	31	42	16	3	29	36	1	15	2	1	4	0	0	0	2
	192.8%	28.8%	0.0%	27.9%	37.8%	14.4%	2.7%	26.1%	32.4%	0.9%	13.5%	1.8%	0.9%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%
⑯農業・園芸系	87	16	0	28	20	16	6	27	36	0	8	0	1	4	1	1	0	0
	188.5%	18.4%	0.0%	32.2%	23.0%	18.4%	6.9%	31.0%	41.4%	0.0%	9.2%	0.0%	1.1%	4.6%	1.1%	1.1%	0.0%	0.0%
⑰教育・研究系	200	57	0	70	84	25	16	20	74	2	15	2	4	0	0	1	0	0
	185.0%	28.5%	0.0%	35.0%	42.0%	12.5%	8.0%	10.0%	37.0%	1.0%	7.5%	1.0%	2.0%	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%
⑱卸売・販売系	121	40	4	35	30	7	1	41	47	6	12	0	2	7	1	0	0	2
	194.2%	33.1%	3.3%	28.9%	24.8%	5.8%	0.8%	33.9%	38.8%	5.0%	9.9%	0.0%	1.7%	5.8%	0.8%	0.0%	0.0%	1.7%
⑲接客・ホテル系	164	58	3	55	46	10	7	55	55	3	15	1	3	3	2	0	0	0
	192.7%	35.4%	1.8%	33.5%	28.0%	6.1%	4.3%	33.5%	33.5%	1.8%	9.1%	0.6%	1.8%	1.8%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%
⑳旅行・観光系	54	19	0	22	16	2	4	15	22	2	4	1	0	0	0	0	0	0
	198.1%	35.2%	0.0%	40.7%	29.6%	3.7%	7.4%	27.8%	40.7%	3.7%	7.4%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
㉑交通・運輸系	57	23	0	17	18	9	7	8	14	2	6	0	1	1	0	0	0	2
	189.5%	40.4%	0.0%	29.8%	31.6%	15.8%	12.3%	14.0%	24.6%	3.5%	10.5%	0.0%	1.8%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	3.5%
㉒その他	178	51	2	49	88	18	5	40	50	3	15	1	2	5	1	1	1	2
	187.6%	28.7%	1.1%	27.5%	49.4%	10.1%	2.8%	22.5%	28.1%	1.7%	8.4%	0.6%	1.1%	2.8%	0.6%	0.6%	0.6%	1.1%
㉓まだわからない	579	234	16	190	118	25	12	134	156	14	80	2	1	13	3	1	6	31
	178.9%	40.4%	2.8%	32.8%	20.4%	4.3%	2.1%	23.1%	26.9%	2.4%	13.8%	0.3%	0.2%	2.2%	0.5%	0.2%	1.0%	5.4%
無回答	8	2	1	2	1	0	0	3	3	0	1	0	0	0	0	0	1	0
	175.0%	25.0%	12.5%	25.0%	12.5%	0.0%	0.0%	37.5%	37.5%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%

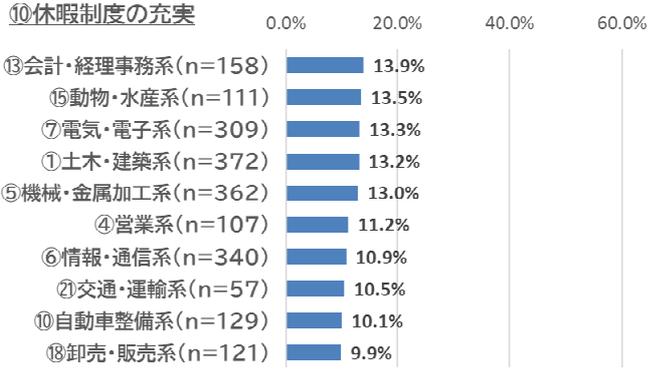
※複数回答。構成比は回答者数を100%(n=)とした割合である。



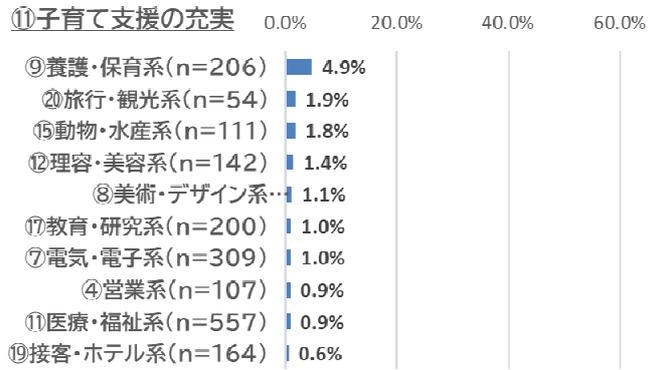
<重視する点～分野上位10項目～>



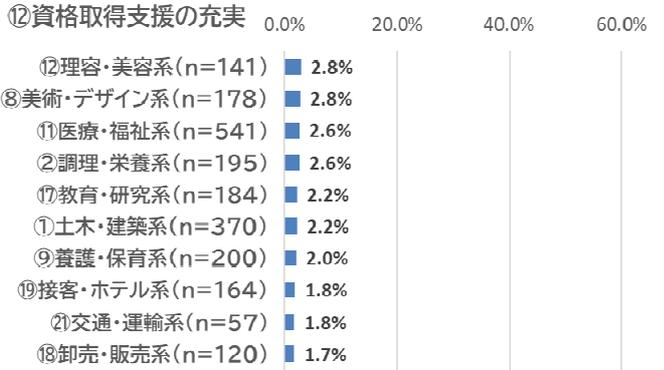
<重視する点～分野上位10項目～>



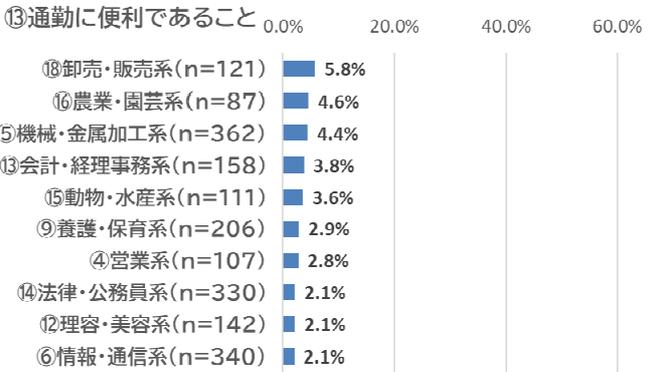
<重視する点～分野上位10項目～>



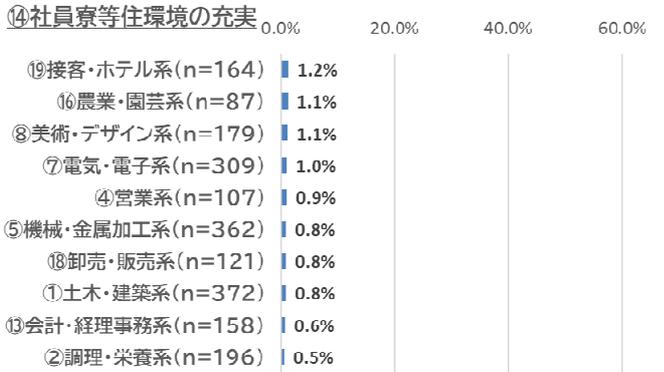
<重視する点～分野上位10項目～>



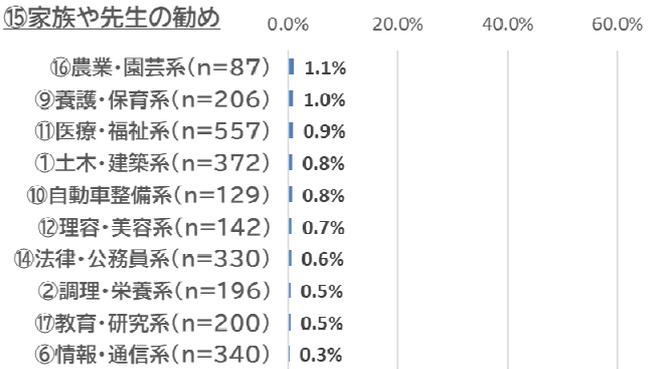
<重視する点～分野上位10項目～>



<重視する点～分野上位10項目～>



<重視する点～分野上位10項目～>



進みたい分野別にみると、重視する点で最も多かった「将来性や安定性があること」では、「法律・公務員系」が最も高く、次いで「会計・経理事務系」、「医療・福祉系」と続く。重視する点で次点に多かった「給与・賃金が高いこと」では、「土木・建築系」が最も高く、次いで「電気・電子系」、「機械・金属加工系」と続く。「自分に適した仕事であること」では、「被服系」が最も高く、「農業・園芸系」、「旅行・観光系」と続く。「好きな仕事であること」では、「理容・美容系」が最も高く、「教育・研究系」、「美術・デザイン系」と続き、進みたい分野によって、何を重視するか大きく異なることがわかった。

⑩その他（記載）

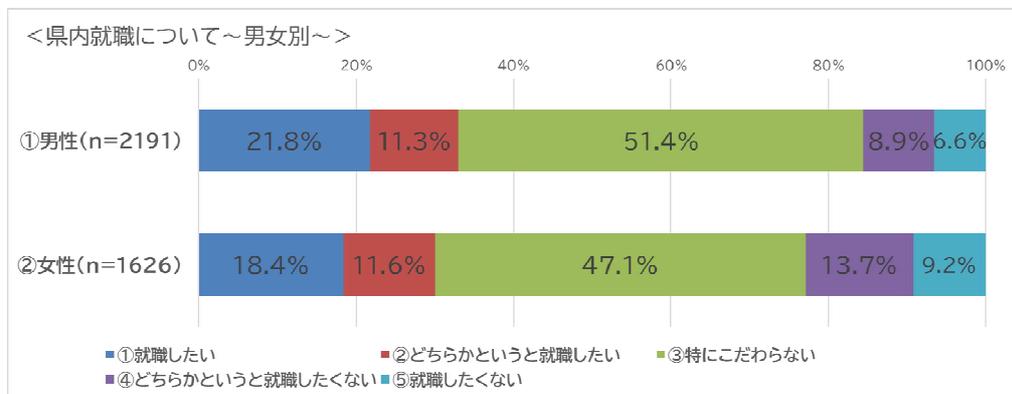
＜その他＞	
AIに仕事を取れないかどうか。	1
どういう場所にその企業先があるか。	1
やりがい	2
国際性がある。	1
資格がなくても良い。	1
自分がやりたいと思う仕事	1
自分のやりたいことができること	1
社会保障の充実	1
周りの環境がよい	1
就職先の場所	1
上場企業かどうか	1
親がその仕事をしていたから	1
転勤が少ない。	1
福利厚生がしっかりしている	1

Q 8. 将来、岩手県内の事業所に就職したいですか。

【県内就職×男女別】

(単位:人)

<男女別>	n=	①就職したい	②どちらかという 就職したい	③特にこだわらない	④どちらかという 就職したくない	⑤就職したくない
回答数	3835	779	436	1902	420	298
	100.0%	20.3%	11.4%	49.6%	11.0%	7.8%
①男性	2191	477	247	1127	195	145
	100.0%	21.8%	11.3%	51.4%	8.9%	6.6%
②女性	1626	299	189	766	222	150
	100.0%	18.4%	11.6%	47.1%	13.7%	9.2%
無回答	18	3	0	9	3	3
	100.0%	16.7%	0.0%	50.0%	16.7%	16.7%



将来、岩手県内の事業所に就職したいか聞いたところ、「特にこだわらない」が多いものの、「就職したい」が20.3%、「どちらかという就職したい」が11.4%、合わせると31.7%。「どちらかという就職したくない」が11.0%、「就職したくない」が7.8%と、合わせると18.8%となり、県内志向のほうが高い傾向を示した。

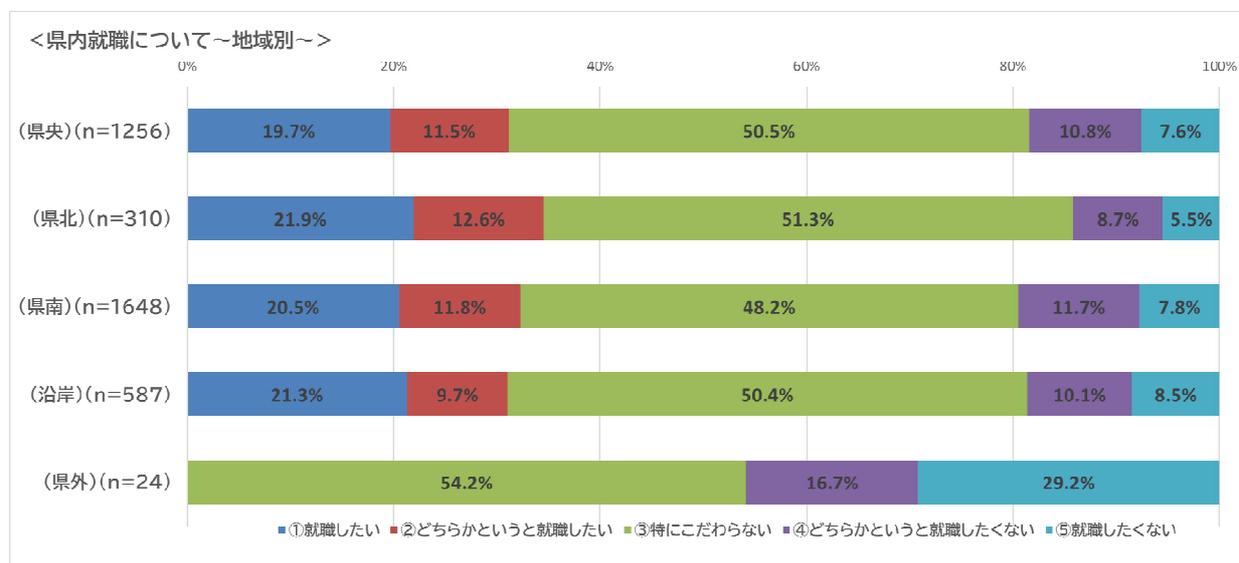
男女別でみると、「男性」の「就職したい」が21.8%、「どちらかという就職したい」が11.3%に対して、「どちらかという就職したくない」が8.9%、「したくない」が6.6%にとどまる。「女性」は「就職したい」が18.4%、「どちらかという就職したい」が11.6%に対して、どちらかという就職したくない」が13.7%、「したくない」が9.2%となり、「男性」のほう県内志向が高い傾向となっている。

尚、保護者アンケートでは、「就職してほしい」の34.4%、「どちらかという就職してほしい」の24.0%、合わせて58.4%が「県内」就職を希望しており、高校生より26.7ポイント差がついた。

【県内就職×地区別】

(単位:人)

<地区別>	n=	①就職したい	②どちらかという 就職したい	③特にこだわらない	④どちらかという 就職したくない	⑤就職したくない
回答数	3835	779	436	1902	420	298
	100.0%	20.3%	11.4%	49.6%	11.0%	7.8%
(県央)	1256	247	144	634	136	95
	100.0%	19.7%	11.5%	50.5%	10.8%	7.6%
(県北)	310	68	39	159	27	17
	100.0%	21.9%	12.6%	51.3%	8.7%	5.5%
(県南)	1648	338	194	795	193	128
	100.0%	20.5%	11.8%	48.2%	11.7%	7.8%
(沿岸)	587	125	57	296	59	50
	100.0%	21.3%	9.7%	50.4%	10.1%	8.5%
(県外)	24	0	0	13	4	7
	100.0%	0.0%	0.0%	54.2%	16.7%	29.2%
無回答	10	1	2	5	1	1
	100.0%	10.0%	20.0%	50.0%	10.0%	10.0%

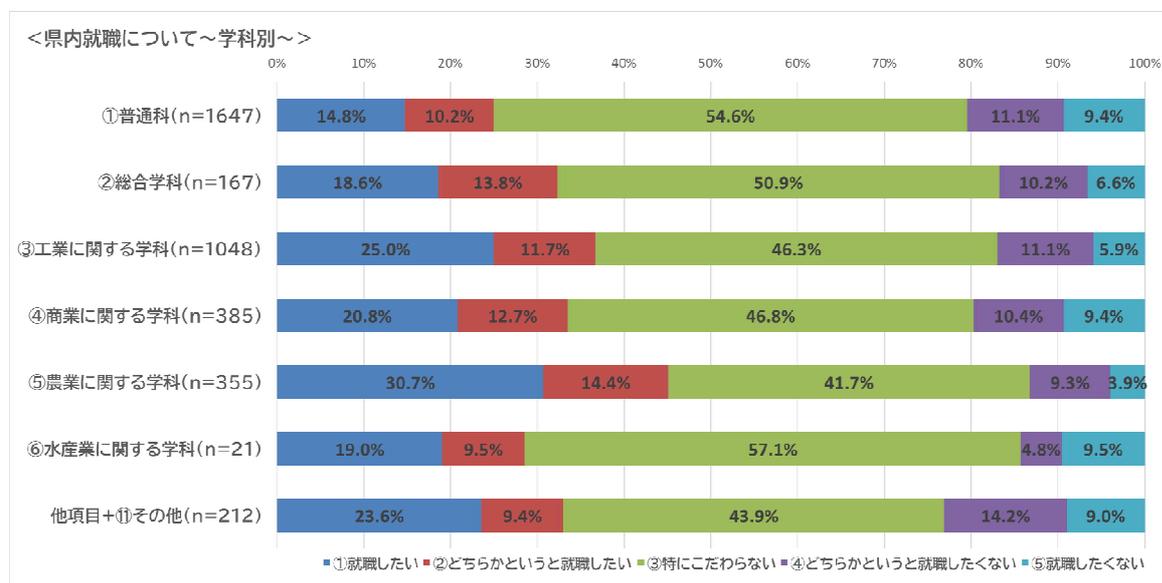


地区別で見ると、いずれの地区でも、県内就職志向が高いものの、「県北」は「就職したい」が 21.9%、「どちらかという就職したい」が 12.6%、一方で「どちらかという就職したくない」が 8.7%、「したくない」が 5.5%と、他地区と比べて県内就職を希望する割合が高くなっている。

【県内就職×学科別】

(単位:人)

<学科別>	n=	①就職したい	②どちらかという 就職したい	③特にこだわらない	④どちらかという 就職したくない	⑤就職したくない
回答数	3835	779	436	1902	420	298
	100.0%	20.3%	11.4%	49.6%	11.0%	7.8%
①普通科	1647	243	168	899	183	154
	100.0%	14.8%	10.2%	54.6%	11.1%	9.4%
②総合学科	167	31	23	85	17	11
	100.0%	18.6%	13.8%	50.9%	10.2%	6.6%
③工業に関する学科	1048	262	123	485	116	62
	100.0%	25.0%	11.7%	46.3%	11.1%	5.9%
④商業に関する学科	385	80	49	180	40	36
	100.0%	20.8%	12.7%	46.8%	10.4%	9.4%
⑤農業に関する学科	355	109	51	148	33	14
	100.0%	30.7%	14.4%	41.7%	9.3%	3.9%
⑥水産業に関する学科	21	4	2	12	1	2
	100.0%	19.0%	9.5%	57.1%	4.8%	9.5%
⑦芸術・スポーツに関する学科	13	3	0	8	0	2
	100.0%	23.1%	0.0%	61.5%	0.0%	15.4%
⑧生活に関する学科	112	25	14	50	11	12
	100.0%	22.3%	12.5%	44.6%	9.8%	10.7%
⑨福祉に関する学科	14	7	2	3	2	0
	100.0%	50.0%	14.3%	21.4%	14.3%	0.0%
⑩国際に関する学科	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
⑪その他	60	12	3	27	13	5
	100.0%	20.0%	5.0%	45.0%	21.7%	8.3%
無回答	13	3	1	5	4	0
	100.0%	23.1%	7.7%	38.5%	30.8%	0.0%

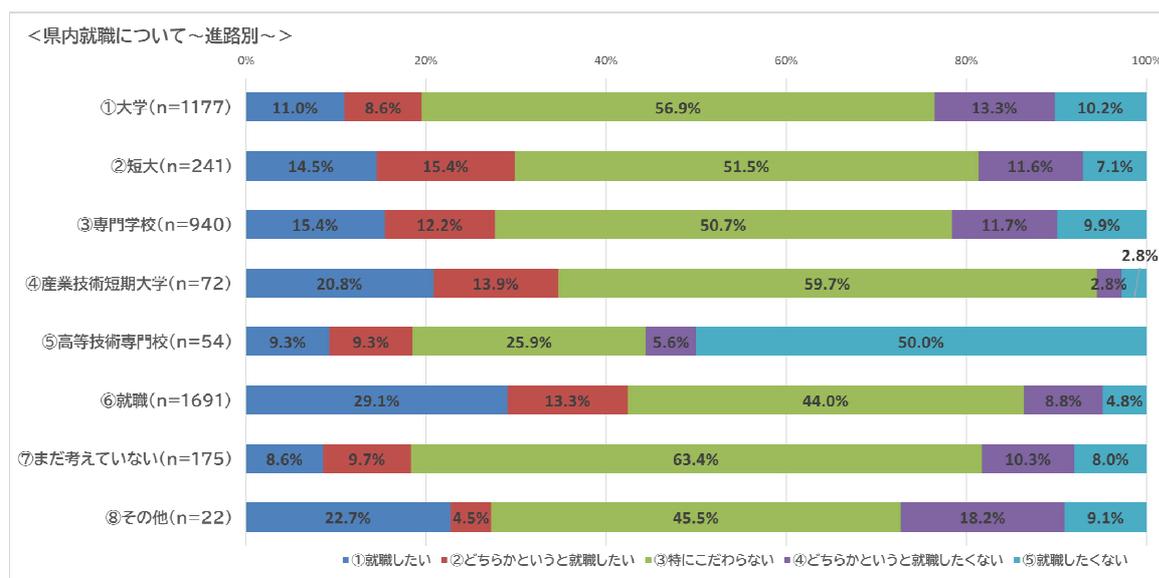


学科別でみると、「農業に関する学科」において「就職したい」が 30.7%と高く、「どちらかという就職したい」も 14.4%と合わせて 45.1%の高校生が「県内」を希望している。一方で「普通科」は「就職したい」が 14.8%、「どちらかという就職したい」が 10.2%、「特にこだわらない」の割合は高いものの、他の学科と比べて「県内」への就職希望は低く、「農業に関する学科」と比べて 20%近い差があった。

【県内就職×希望進路別】

(単位:人)

<進路別>	n=	①就職したい	②どちらかという 就職したい	③特にこだわらない	④どちらかという 就職したくない	⑤就職したくない
回答数	3835	779	436	1902	420	298
	100.0%	20.3%	11.4%	49.6%	11.0%	7.8%
①大学	1177	129	101	670	157	120
	100.0%	11.0%	8.6%	56.9%	13.3%	10.2%
②短大	241	35	37	124	28	17
	100.0%	14.5%	15.4%	51.5%	11.6%	7.1%
③専門学校	940	145	115	477	110	93
	100.0%	15.4%	12.2%	50.7%	11.7%	9.9%
④産業技術短期大学	72	15	10	43	2	2
	100.0%	20.8%	13.9%	59.7%	2.8%	2.8%
⑤高等技術専門学校	54	5	5	14	3	27
	100.0%	9.3%	9.3%	25.9%	5.6%	50.0%
⑥就職	1691	492	225	744	148	82
	100.0%	29.1%	13.3%	44.0%	8.8%	4.8%
⑦まだ考えていない	175	15	17	111	18	14
	100.0%	8.6%	9.7%	63.4%	10.3%	8.0%
⑧その他	22	5	1	10	4	2
	100.0%	22.7%	4.5%	45.5%	18.2%	9.1%
無回答	8	0	2	6	0	0
	100.0%	0.0%	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%



希望進路先別でみると、「就職」は「就職したい」が 29.1%、「どちらかという就職したい」が 13.3%と合わせて 4割超が「県内」への就職を希望。次いで「産業技術短期大学」が「就職したい」20.8%、「どちらかという就職したい」の 13.9%と県内志向の高い傾向を示している。一方で「高等技術専門学校」は、「就職したい」は 9.3%、「どちらかという就職したい」が 9.3%にとどまり、一方で「就職したくない」が 50.0%と半数にも及び、「産業技術短期大学」との違いが鮮明となった。

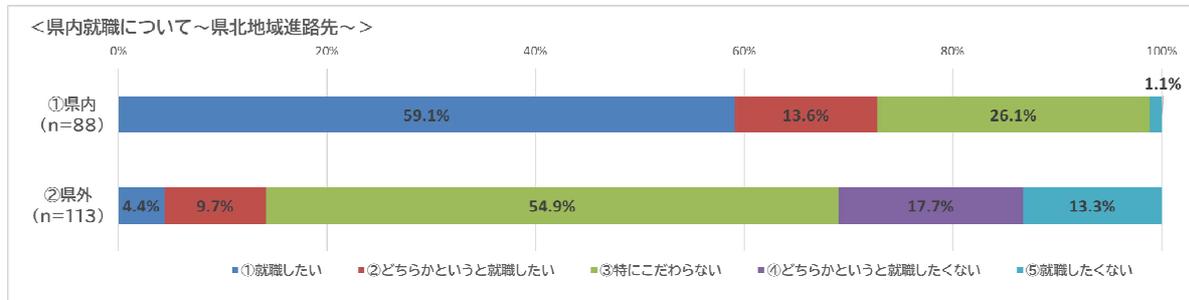
「大学」の「県内」希望は、「就職したい」が 11.0%、「どちらかという就職したい」が 8.6%にとどまり、将来的に県内への就職希望は 2割程度にとどまる。「短大」、「専門学校」は「大学」と比べると県内希望が多い結果となった。

尚、保護者アンケートでは、全体的に「県内」就職を望む声が大きいが、特に「産業技術短期大学」と「高等技術専門学校」の割合が高くなっている。

【県北：県内就職×進路先県内外別】

<県北地域×進路先×県内就職> (単位:人)

<県北地域> 進路先別	n=	①就職したい	②どちらかという 就職したい	③特にこだわらない	④どちらかという 就職したくない	⑤就職したくない
回答数	310	68	39	159	27	17
	100.0%	21.9%	12.6%	51.3%	8.7%	5.5%
①県内	88	52	12	23	0	1
	100.0%	59.1%	13.6%	26.1%	0.0%	1.1%
②県外	113	5	11	62	20	15
	100.0%	4.4%	9.7%	54.9%	17.7%	13.3%
③まだ決まっていない	63	5	13	38	6	1
	100.0%	7.9%	20.6%	60.3%	9.5%	1.6%
④特にこだわらない	40	5	3	31	1	0
	100.0%	12.5%	7.5%	77.5%	2.5%	0.0%
⑤その他	2	0	0	2	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
無回答	4	1	0	3	0	0
	100.0%	25.0%	0.0%	75.0%	0.0%	0.0%



参考までに、「県北」地区において Q5 にて希望している進路先が「県内」としている高校生で Q8 にて県内に「就職したい」としたのは、59.1%、「どちらかという就職したい」が 13.6%と約 7 割超の高校生が、県内への就職を希望している。一方、Q5 で「県外」と回答した高校生は、「特にこだわらない」の割合は高いものの、「県内」への就職を希望する高校生は少ない結果となっている。

尚、保護者アンケートでは、「県内」進路希望者は、ほぼ「県内」就職を望んでいるが、「県外」進路希望者についても、約 4 割の保護者が「県内」就職を望んでいる。

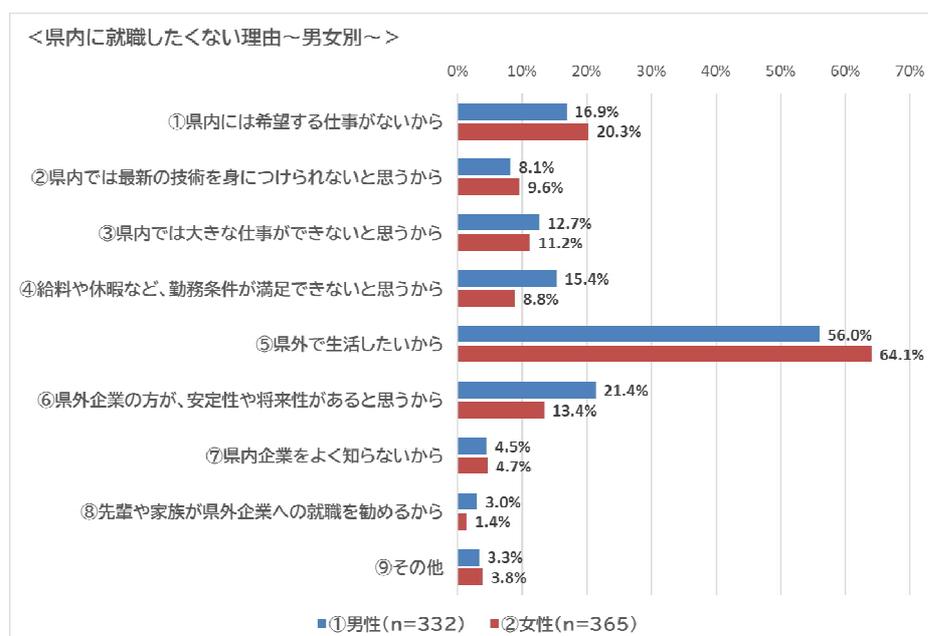
Q9. (8)で④又は⑤とお答えした方、その理由は何ですか。(2つ以内)

【県内就職したくない理由×男女別】

(単位:人)

<男女別>	n=	①県内には希望する仕事がないから	②県内では最新の技術を身につけられないと思うから	③県内では大きな仕事ができないと思うから	④給料や休暇など、勤務条件が満足できないと思うから	⑤県外で生活したいから	⑥県外企業の方が、安定性や将来性があると思うから	⑦県内企業をよく知らないから	⑧先輩や家族が県外企業への就職を勧めるから	⑨その他
回答数	703	130	63	83	84	424	122	32	15	25
		18.5%	9.0%	11.8%	11.9%	60.3%	17.4%	4.6%	2.1%	3.6%
①男性	332	56	27	42	51	186	71	15	10	11
		16.9%	8.1%	12.7%	15.4%	56.0%	21.4%	4.5%	3.0%	3.3%
②女性	365	74	35	41	32	234	49	17	5	14
		20.3%	9.6%	11.2%	8.8%	64.1%	13.4%	4.7%	1.4%	3.8%
無回答	6	0	1	0	1	4	2	0	0	0
		0.0%	16.7%	0.0%	16.7%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%

※複数回答。構成比は回答者数を100%(n=)とした割合である。



県内に「就職したくない」または「どちらかという就職したくない」と回答した高校生に、その理由を聞いた。

「県外で生活がしたいから」が60.3%と最も高く、次いで「県内には希望する仕事がないから」が18.5%、「県外企業のほうが、安定性や将来性があると思うから」が17.4%と続いている。

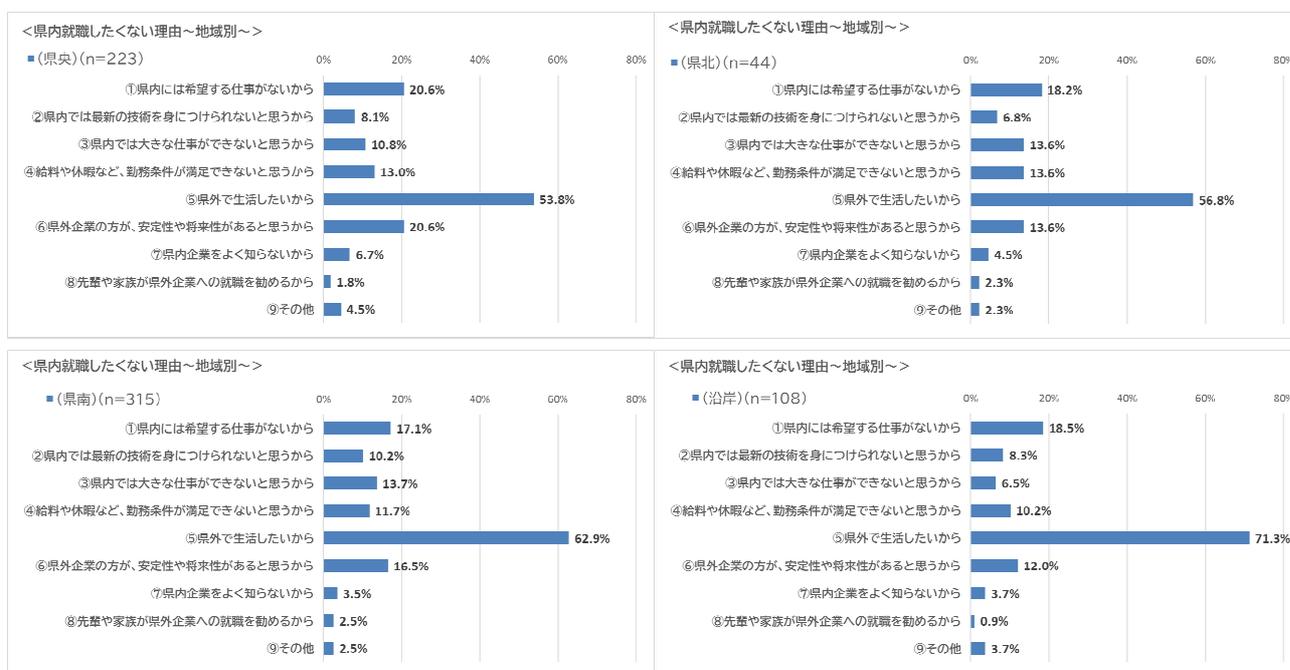
男女別でみると、男女ともに最多は「県外で生活がしたいから」となるが、次点として「男性」は「県外企業のほうが、安定性や将来性があると思うから」が21.4%と、「女性」より高い。男女比では「県外企業のほうが、安定性や将来性があると思うから」の他、「給料や休暇など、勤務条件が満足できないと思うから」や「県内では大きな仕事ができないと思うから」が「男性」のほうが高い傾向となっている。

【県内就職したくない理由×地区別】

(単位:人)

<地域別>	n=	①県内には希望する仕事がないから	②県内では最新の技術を身につけられないと思うから	③県内では大きな仕事ができないと思うから	④給料や休暇など、勤務条件が満足できないと思うから	⑤県外で生活したいから	⑥県外企業の方が、安定性や将来性があると思うから	⑦県内企業をよく知らないから	⑧先輩や家族が県外企業への就職を勧めるから	⑨その他
回答数	703	130	63	83	84	424	122	32	15	25
		18.5%	9.0%	11.8%	11.9%	60.3%	17.4%	4.6%	2.1%	3.6%
(県央)	223	46	18	24	29	120	46	15	4	10
		20.6%	8.1%	10.8%	13.0%	53.8%	20.6%	6.7%	1.8%	4.5%
(県北)	44	8	3	6	6	25	6	2	1	1
		18.2%	6.8%	13.6%	13.6%	56.8%	13.6%	4.5%	2.3%	2.3%
(県南)	315	54	32	43	37	198	52	11	8	8
		17.1%	10.2%	13.7%	11.7%	62.9%	16.5%	3.5%	2.5%	2.5%
(沿岸)	108	20	9	7	11	77	13	4	1	4
		18.5%	8.3%	6.5%	10.2%	71.3%	12.0%	3.7%	0.9%	3.7%
(県外)	11	2	1	2	0	3	4	0	1	2
		18.2%	9.1%	18.2%	0.0%	27.3%	36.4%	0.0%	9.1%	18.2%
無回答	2	0	0	1	1	1	1	0	0	0
		0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%

※複数回答。構成比は回答者数を100%(n=)とした割合である。



地区別でみると、いずれも「県外で生活がしたいから」が最多である。特に「沿岸」は71.3%と高く、次いで「県南」が62.9%、「県北」の56.8%、「県央」は53.8%。「県央」と「沿岸」では最多であることに変わりはないが、割合では大きな差がついている。

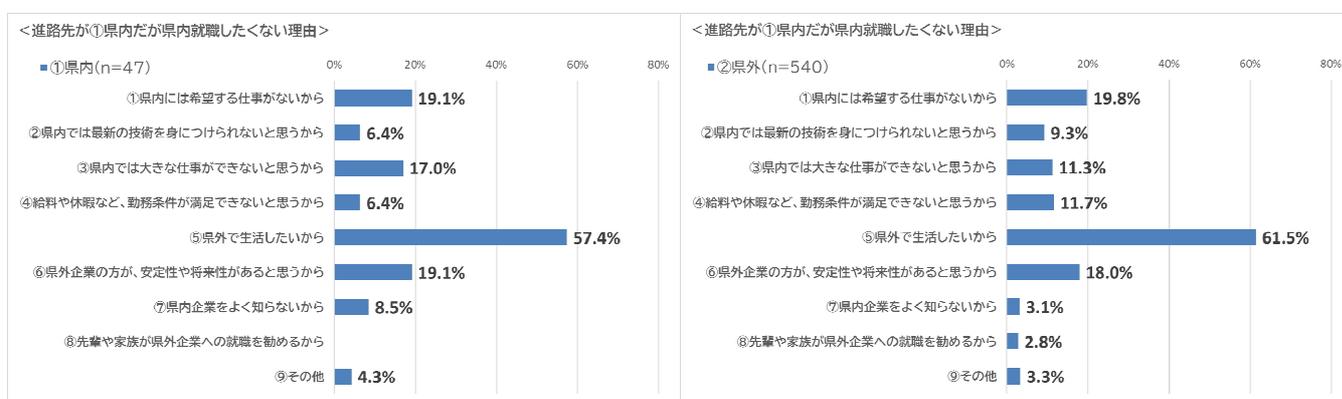
またいずれの地区でも「県内には希望する仕事がないから」が次点と続く。（「県央」は「県外企業のほうが、安定性や将来性があると思うから」と次点同数）。

【県内就職したくない理由×進路先県内外別】

(単位:人)

<進路先別>	n=	①県内には希望する仕事がないから	②県内では最新の技術を身につけられないと思うから	③県内では大きな仕事ができないと思うから	④給料や休暇など、勤務条件が満足できないと思うから	⑤県外で生活したいから	⑥県外企業の方が、安定性や将来性があると思うから	⑦県内企業をよく知らないから	⑧先輩や家族が県外企業への就職を勧めるから	⑨その他
回答数	703	130	63	83	84	424	122	32	15	25
		18.5%	9.0%	11.8%	11.9%	60.3%	17.4%	4.6%	2.1%	3.6%
①県内	47	9	3	8	3	27	9	4	0	2
		19.1%	6.4%	17.0%	6.4%	57.4%	19.1%	8.5%	0.0%	4.3%
②県外	540	107	50	61	63	332	97	17	15	18
		19.8%	9.3%	11.3%	11.7%	61.5%	18.0%	3.1%	2.8%	3.3%
③まだ決まっていない	87	9	6	9	13	49	13	7	0	5
		10.3%	6.9%	10.3%	14.9%	56.3%	14.9%	8.0%	0.0%	5.7%
④特にこだわらない	18	4	1	3	2	10	2	3	0	0
		22.2%	5.6%	16.7%	11.1%	55.6%	11.1%	16.7%	0.0%	0.0%
⑤その他	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	10	0	3	2	3	6	1	1	0	0
		0.0%	30.0%	20.0%	30.0%	60.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%

※複数回答。構成比は回答者数を100%(n=)とした割合である。



進路先県内外別でみると、「県内」に進路先を希望する高校生も、「県内」には就職したくないとの回答は 47 回答あった。その理由の最多は「県外で生活がしたいから」だが、次いで「県内には希望する仕事がないから」と「県外企業のほうが、安定性や将来性があると思うから」が 19.1%と続いている。

「県外」に進路先を希望する高校生も「県外で生活がしたいから」が最多となるが、次点として「県内には希望する仕事がないから」と「県外企業のほうが、安定性や将来性があると思うから」が続き、「県内」への就職を望まない理由は、概ね同じ傾向を示した。

⑨その他（記載）

<その他>	
いろんなところを見たい	1
フリーランスの仕事であるため	1
家が岩手がないから	1
家にいたくない	1
海外での仕事が夢だから。	1
海外で働くつもりだから	1
外国に行きたいから	1
関東に行きたいから	1
宮城県で働きたいから	1
給与が今現在少ないので、将来に不安がある	1
興味ない	1
県内に思い入れがない	1

故郷が好きだから	1
最低賃金が低いから	1
事業系の仕事ではなく教育系につきたいから	1
自分のことを知らない人間と関わりたくないから	1
自分の知らない所で少しぼうけんしてみたい。	1
親元をできるだけ離れたい	1
親族が県外だから	1
積極性が県民性として乏しいから	1
田舎すぎる、何も無い	1
田舎だから	3
田舎はいやだ	1
母の実家が関西にあるから	1

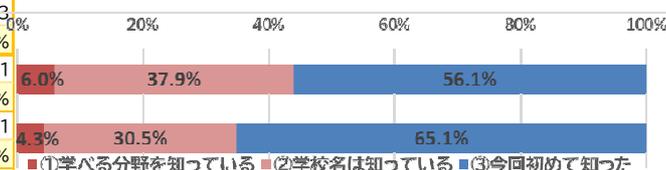
Q10. 県立産業技術短期大学校や高等技術専門校について知っていますか。

【施設の認知度×男女別】

産業技術短期大学校

(単位:人)

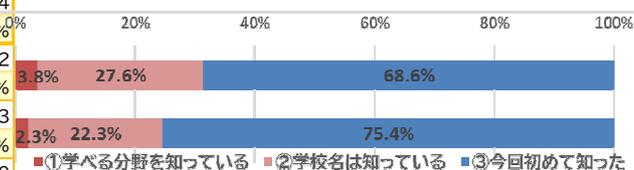
<男女別>	n=	①学べる分野を知っている	②学校名は知っている	③今回初めて知った
全体	3790	199	1318	2273
	100.0%	5.3%	34.8%	60.0%
①男性	2158	129	818	1211
	100.0%	6.0%	37.9%	56.1%
②女性	1614	70	493	1051
	100.0%	4.3%	30.5%	65.1%
無回答	18	0	7	11
	100.0%	0.0%	38.9%	61.1%



高等技術専門校

(単位:人)

<男女別>	n=	①学べる分野を知っている	②学校名は知っている	③今回初めて知った
回答数	3744	118	952	2674
	100.0%	3.2%	25.4%	71.4%
①男性	2131	81	588	1462
	100.0%	3.8%	27.6%	68.6%
②女性	1595	36	356	1203
	100.0%	2.3%	22.3%	75.4%
無回答	18	1	8	9
	100.0%	5.6%	44.4%	50.0%



「産業技術短期大学校」や「高等技術専門校」の認知度を聞いた。「産業技術短期大学校」については、「学べる分野を知っている」は 5.3%にとどまり、「学校名は知っている」は 34.8%、「今回初めて知った」が 60.0%にも及ぶ。「高等技術専門校」については、「学べる分野を知っている」は 3.2%のみ。「学校名は知っている」は 25.4%、「今回初めて知った」が 71.4%と、「産業技術短期大学校」よりも認知度は低く、高校生の職業能力開発施設の認知度が低いことが浮き彫りになった。

男女別でみると、「産業技術短期大学校」は、「学べる分野を知っている」が「男性」は 6.0%に対して「女性」は 4.3%。「学校名は知っている」は、「男性」は 37.9%に対し、「女性」は 30.5%。「今回初めて知った」は、「男性」が 56.1%に対し、「女性」は 65.1%にも及ぶ。

「高等技術専門校」については、「学べる分野を知っている」が、「男性」は 3.8%に対して「女性」は 2.3%にとどまり、「学校名は知っている」は、「男性」は 27.6%に対し、「女性」は 22.3%。「今回初めて知った」は、「男性」が 68.6%に対し、「女性」は 75.4%と、「産業技術短期大学校」よりも認知度が低いことがわかった。

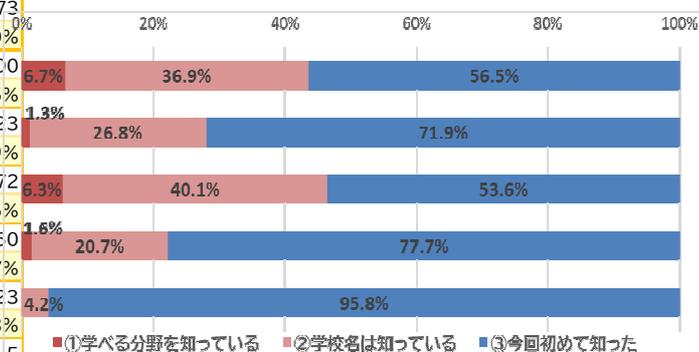
尚、保護者アンケートでは、「産業技術短期大学校」の「学べる分野を知っている」は 10.3%、「学校名は知っている」が 55.9%、「高等技術専門校」は「学べる分野を知っている」は 8.9%、「学校名は知っている」が 36.9%と、まだ認知度は低いと言わざるを得ないが、高校生と比べると認知度があることがわかった。

【施設の認知度×地区別】

産業技術短期大学校

(単位:人)

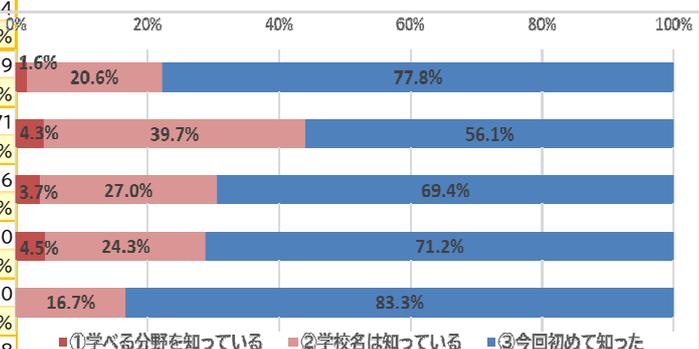
<地域別>	n=	①学べる分野を知っている	②学校名は知っている	③今回初めて知った
回答数	3790	199	1318	2273
	100.0%	5.3%	34.8%	60.0%
(県央)	1240	83	457	700
	100.0%	6.7%	36.9%	56.5%
(県北)	310	4	83	223
	100.0%	1.3%	26.8%	71.9%
(県南)	1627	103	652	872
	100.0%	6.3%	40.1%	53.6%
(沿岸)	579	9	120	450
	100.0%	1.6%	20.7%	77.7%
(県外)	24	0	1	23
	100.0%	0.0%	4.2%	95.8%
無回答	10	0	5	5
	100.0%	0.0%	50.0%	50.0%



高等技術専門学校

(単位:人)

<地域別>	n=	①学べる分野を知っている	②学校名は知っている	③今回初めて知った
回答数	3744	118	952	2674
	100.0%	3.2%	25.4%	71.4%
(県央)	1220	20	251	949
	100.0%	1.6%	20.6%	77.8%
(県北)	305	13	121	171
	100.0%	4.3%	39.7%	56.1%
(県南)	1609	59	434	1116
	100.0%	3.7%	27.0%	69.4%
(沿岸)	576	26	140	410
	100.0%	4.5%	24.3%	71.2%
(県外)	24	0	4	20
	100.0%	0.0%	16.7%	83.3%
無回答	10	0	2	8
	100.0%	0.0%	20.0%	80.0%



地区別でみると、「産業技術短期大学校」については、「県央」と「県南」が、「学べる分野を知っている」はそれぞれ6.7%、6.3%。「学校名は知っている」はそれぞれ36.9%、40.1%となっており、合わせると5割弱からの認知度はあるが、一方で「県北」や「沿岸」については、認知度は低い結果となった。

「県央」には産業技術短期大学校矢巾キャンパス、「県南」には産業技術短期大学校水沢キャンパスがあることが、認知度に影響しているものとみられる。

一方、「高等技術専門学校」については、「県北」での認知度は、「学べる分野を知っている」が4.3%、「学校名は知っている」が39.7%と、他の地区と比べて高い。「県北」には高等技術専門学校二戸校、「県南」には千厩校、「沿岸」には宮古校があるが、「県南」、「沿岸」では認知度は低く、「県北」地区での重要度は高い位置付けにあることがわかった。

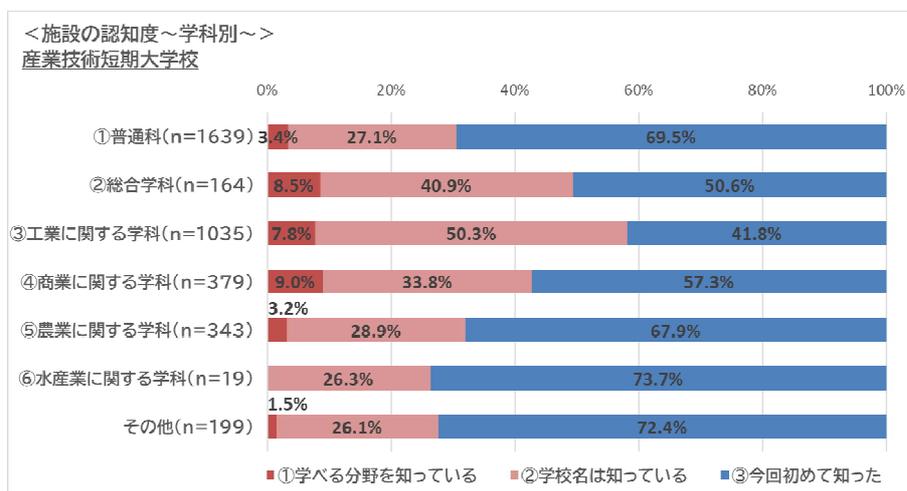
尚、保護者アンケートでも同じ傾向を示しているが、認知度は高校生より高い結果となった。

【施設の認知度×学科別】

産業技術短期大学校

(単位:人)

<学科別>	n=	①学べる分野を知っている	②学校名は知っている	③今回初めて知った
回答数	3790	199	1318	2273
	100.0%	5.3%	34.8%	60.0%
①普通科	1639	56	444	1139
	100.0%	3.4%	27.1%	69.5%
②総合学科	164	14	67	83
	100.0%	8.5%	40.9%	50.6%
③工業に関する学科	1035	81	521	433
	100.0%	7.8%	50.3%	41.8%
④商業に関する学科	379	34	128	217
	100.0%	9.0%	33.8%	57.3%
⑤農業に関する学科	343	11	99	233
	100.0%	3.2%	28.9%	67.9%
⑥水産業に関する学科	19	0	5	14
	100.0%	0.0%	26.3%	73.7%
⑦芸術・スポーツに関する学科	13	1	4	8
	100.0%	7.7%	30.8%	61.5%
⑧生活に関する学科	113	0	33	80
	100.0%	0.0%	29.2%	70.8%
⑨福祉に関する学科	14	0	2	12
	100.0%	0.0%	14.3%	85.7%
⑩国際に関する学科	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
⑪その他	59	2	13	44
	100.0%	3.4%	22.0%	74.6%
無回答	12	0	2	10
	100.0%	0.0%	16.7%	83.3%

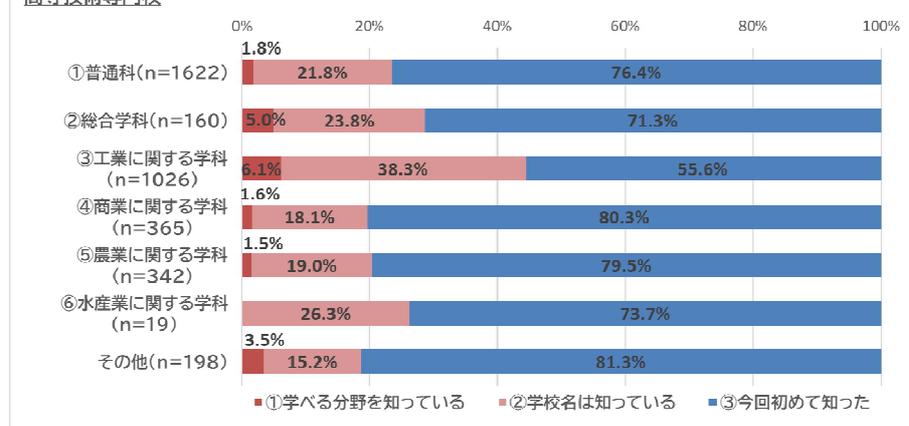


高等技術専門学校

(単位:人)

<学科別>	n=	①学べる分野を知っている	②学校名は知っている	③今回初めて知った
回答数	3744	118	952	2674
	100.0%	3.2%	25.4%	71.4%
①普通科	1622	29	353	1240
	100.0%	1.8%	21.8%	76.4%
②総合学科	160	8	38	114
	100.0%	5.0%	23.8%	71.3%
③工業に関する学科	1026	63	393	570
	100.0%	6.1%	38.3%	55.6%
④商業に関する学科	365	6	66	293
	100.0%	1.6%	18.1%	80.3%
⑤農業に関する学科	342	5	65	272
	100.0%	1.5%	19.0%	79.5%
⑥水産業に関する学科	19	0	5	14
	100.0%	0.0%	26.3%	73.7%
⑦芸術・スポーツに関する学科	13	2	1	10
	100.0%	15.4%	7.7%	76.9%
⑧生活に関する学科	112	3	23	86
	100.0%	2.7%	20.5%	76.8%
⑨福祉に関する学科	14	0	1	13
	100.0%	0.0%	7.1%	92.9%
⑩国際に関する学科	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
⑪その他	59	2	5	52
	100.0%	3.4%	8.5%	88.1%
無回答	12	0	2	10
	100.0%	0.0%	16.7%	83.3%

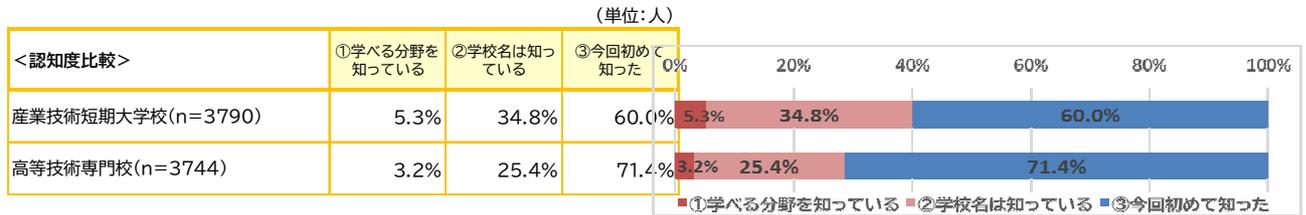
<施設の認知度～学科別～>
高等技術専門学校



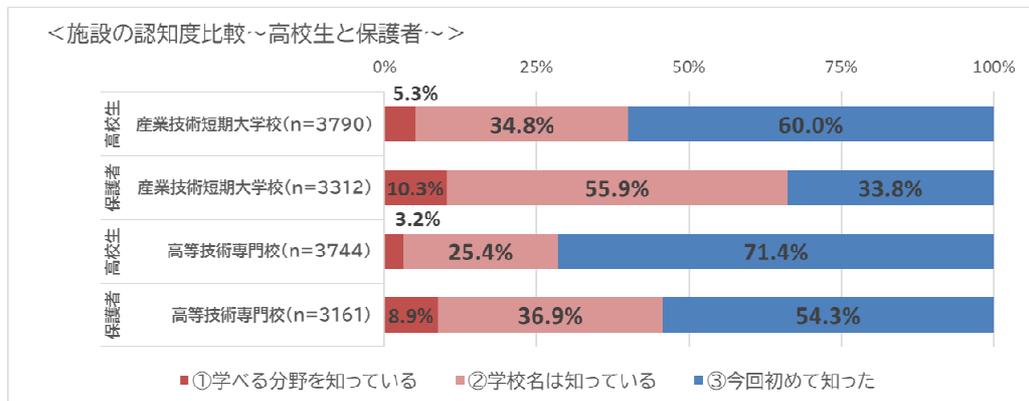
学科別でみると、「産業技術短期大学校」については、「工業に関する学科」からの認知度が高い。「学べる分野を知っている」は「総合学科」、「工業に関する学科」、「商業に関する学科」で1割弱の回答であったが、「学校名は知っている」では「工業に関する学科」が50.3%と最も高く、次いで「総合学科」の40.9%、「商業に関する学科」の33.8%と続く。「普通科」や「農業に関する学科」、「水産業に関する学科」などからの認知度は低い。

「高等技術専門学校」については、全体的に「産業技術短期大学校」より認知度は下回るが、「工業に関する学科」においては、「学べる分野を知っている」が6.1%、「学校名は知っている」は38.3%と最も認知度は高かった。「商業に関する学科」では「産業技術短期大学校」と比べて、認知度は低くなっている。

【施設の認知度（産技短）×施設の知名度（高技専）】



参考：【施設の認知度（高校生×保護者）】



「産業技術短期大学校」の認知度（「学べる分野を知っている」+「学校名は知っている」）は、高校生は40.1%であったのに対して、保護者は66.2%と、26.1ポイントの差がついた。同様に、「高等技術専門学校」についても、高校生28.6%、保護者45.8%と保護者からの認知度は高くなっている。

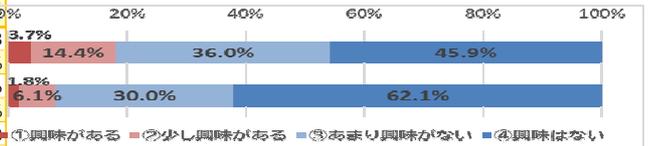
Q 1 1. あなたの進路先として県立職業能力開発施設に興味はありますか。

【施設への興味×男女別】

産業技術短期大学校

(単位:人)

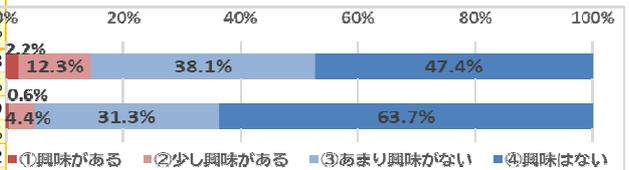
<男女別>	n=	①興味がある	②少し興味がある	③あまり興味がない	④興味はない
回答数	3787	110	410	1265	2002
	100.0%	2.9%	10.8%	33.4%	52.9%
①男性	2165	81	311	780	993
	100.0%	3.7%	14.4%	36.0%	45.9%
②女性	1604	29	98	481	996
	100.0%	1.8%	6.1%	30.0%	62.1%
無回答	18	0	1	4	13
	100.0%	0.0%	5.6%	22.2%	72.2%



高等技術専門学校

(単位:人)

<男女別>	n=	①興味がある	②少し興味がある	③あまり興味がない	④興味はない
回答数	3766	58	336	1323	2049
	100.0%	1.5%	8.9%	35.1%	54.4%
①男性	2148	48	264	818	1018
	100.0%	2.2%	12.3%	38.1%	47.4%
②女性	1600	9	71	501	1019
	100.0%	0.6%	4.4%	31.3%	63.7%
無回答	18	1	1	4	12
	100.0%	5.6%	5.6%	22.2%	66.7%



進路先として県立職業能力開発施設に興味があるか聞いた。「産業技術短期大学校」については、「興味がある」は 2.9%、「少し興味がある」は 10.8%にとどまり、「あまり興味がない」と「興味はない」と合わせると 86.3%が興味はないとしている。「高等技術専門学校」については、「興味がある」は 1.5%、「少し興味がある」は 8.9%にとどまり、約 9 割が興味がないとした。ただし実数ベースでは「産業技術短期大学校」に「興味がある」は 110 人、「少し興味がある」は 410 人、「高等技術専門学校」は「興味がある」は 58 人、「少し興味がある」は 336 人がおり、興味深い結果となった。

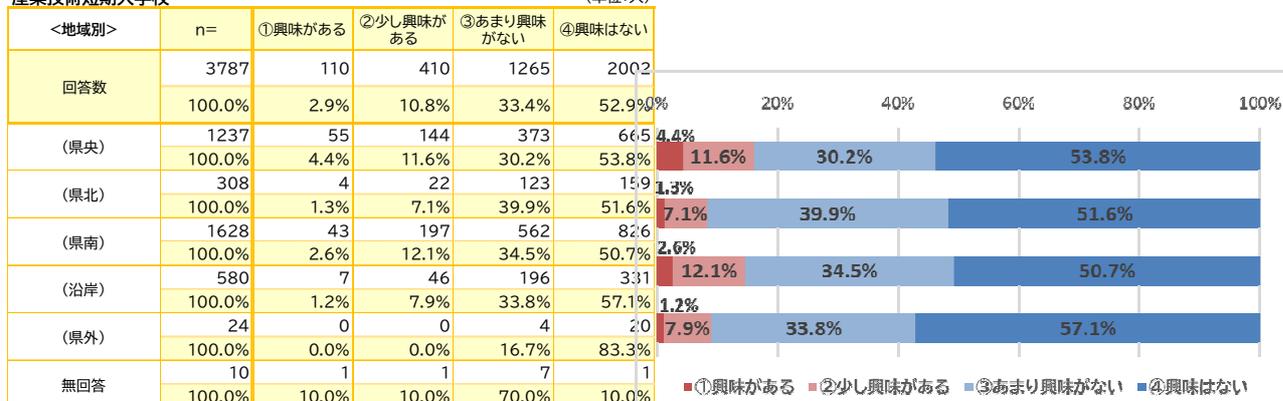
男女別でみると、「産業技術短期大学校」、「高等技術専門学校」ともに、「男性」より「女性」の興味がある割合は少なく、「女性」の「興味はない」は 6 割を超える。

尚、保護者アンケートでは高校生と同じ傾向を示しているものの、高校生より興味度は高い結果となっている。

【施設への興味×地区別】

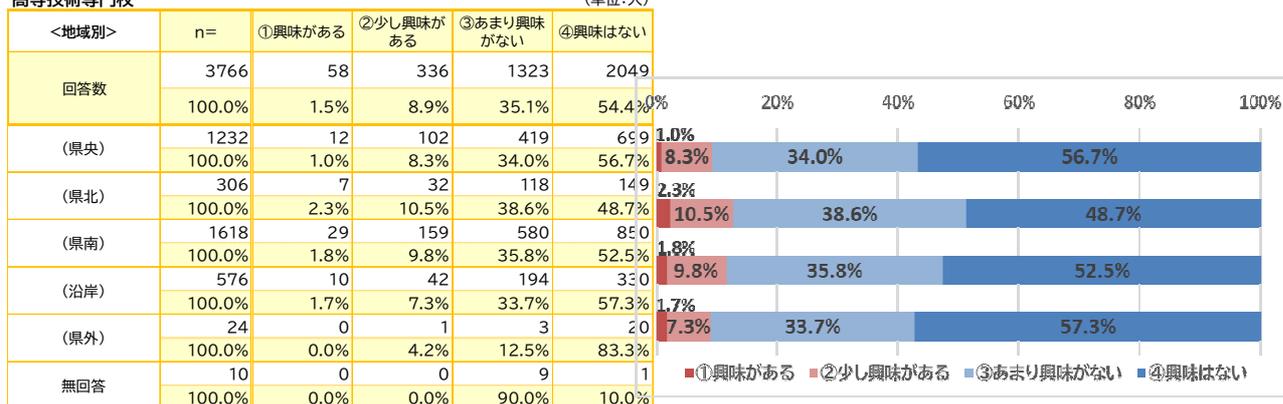
産業技術短期大学校

(単位:人)



高等技術専門学校

(単位:人)



地区別でみると、「産業技術短期大学校」については、「興味がある」はいずれの地区も1割に満たないが、「少し興味がある」を含めると、「県央」16.0%、「県南」14.7%と他地区より高い傾向を示している。一方で「県北」と「沿岸」は「興味はない」の割合が高く、特に「沿岸」は「興味はない」は57.1%となっている。

一方、「高等技術専門学校」については、「興味がある」はいずれも地区も低いものの、「県北」において「興味がある」2.3%、「少し興味がある」10.5%と、他地区と比べて高く、また「興味はない」も48.7%と他地区より低い数値となっている。「産業技術短期大学校」と比べると、「県北」のみ「高等技術専門学校」への「興味がある」の数値が高い結果となっている。

尚、保護者アンケートでは全地区ともに高校生より興味度は高まるが、特に「県北」については「産業技術短期大学校」、「高等技術専門学校」ともに興味度が高いことがわかった。

【施設への興味×学科別】

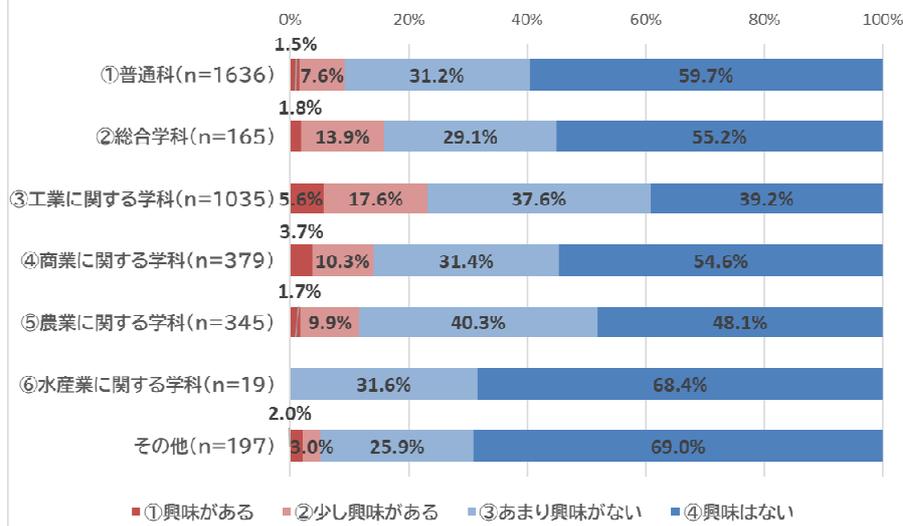
産業技術短期大学校

(単位:人)

<学科別>	n=	①興味がある	②少し興味がある	③あまり興味がない	④興味はない
回答数	3787	110	410	1265	2002
	100.0%	2.9%	10.8%	33.4%	52.9%
①普通科	1636	25	125	510	976
	100.0%	1.5%	7.6%	31.2%	59.7%
②総合学科	165	3	23	48	91
	100.0%	1.8%	13.9%	29.1%	55.2%
③工業に関する学科	1035	58	182	389	406
	100.0%	5.6%	17.6%	37.6%	39.2%
④商業に関する学科	379	14	39	119	207
	100.0%	3.7%	10.3%	31.4%	54.6%
⑤農業に関する学科	345	6	34	139	166
	100.0%	1.7%	9.9%	40.3%	48.1%
⑥水産業に関する学科	19	0	0	6	13
	100.0%	0.0%	0.0%	31.6%	68.4%
⑦芸術・スポーツに関する学科	12	2	1	4	5
	100.0%	16.7%	8.3%	33.3%	41.7%
⑧生活に関する学科	111	0	2	31	78
	100.0%	0.0%	1.8%	27.9%	70.3%
⑨福祉に関する学科	14	0	0	2	12
	100.0%	0.0%	0.0%	14.3%	85.7%
⑩国際に関する学科	1	0	0	0	1
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
⑪その他	59	2	3	14	40
	100.0%	3.4%	5.1%	23.7%	67.8%

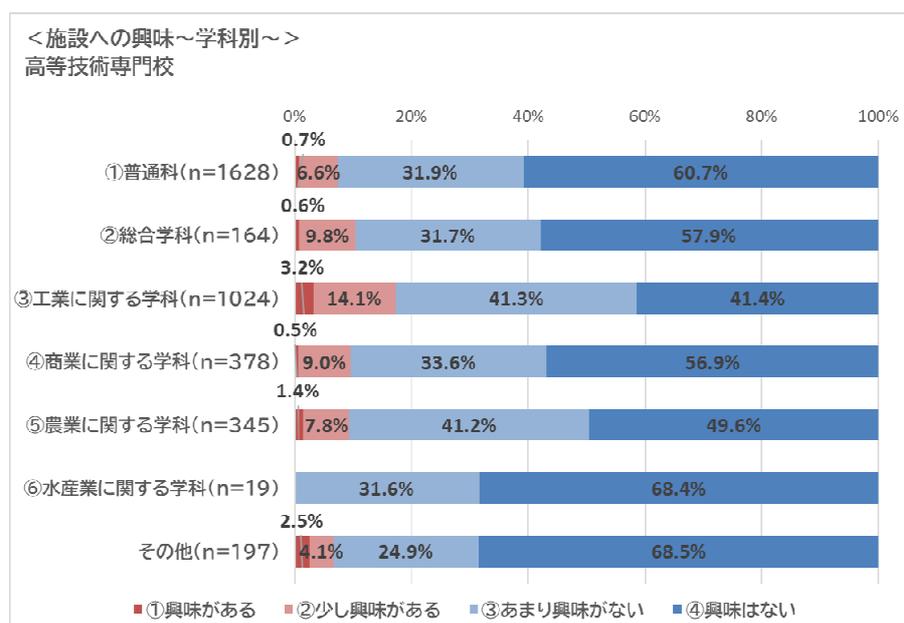
<施設への興味～学科別～>

産業技術短期大学校



高等技術専門校 (単位:人)

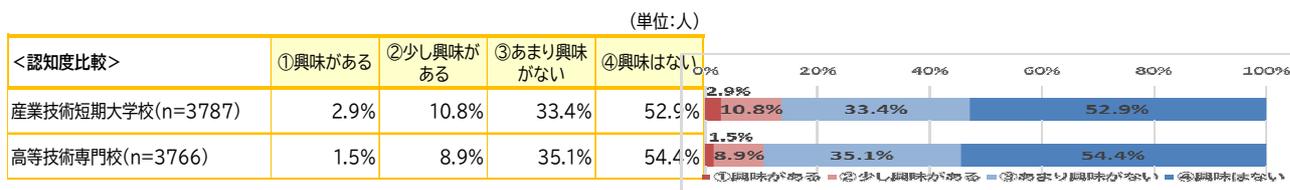
<学科別>	n=	①興味がある	②少し興味がある	③あまり興味がない	④興味はない
回答数	3766	58	336	1323	2049
	100.0%	1.5%	8.9%	35.1%	54.4%
①普通科	1628	12	107	520	989
	100.0%	0.7%	6.6%	31.9%	60.7%
②総合学科	164	1	16	52	95
	100.0%	0.6%	9.8%	31.7%	57.9%
③工業に関する学科	1024	33	144	423	424
	100.0%	3.2%	14.1%	41.3%	41.4%
④商業に関する学科	378	2	34	127	215
	100.0%	0.5%	9.0%	33.6%	56.9%
⑤農業に関する学科	345	5	27	142	171
	100.0%	1.4%	7.8%	41.2%	49.6%
⑥水産業に関する学科	19	0	0	6	13
	100.0%	0.0%	0.0%	31.6%	68.4%
⑦芸術・スポーツに関する学科	12	1	2	4	5
	100.0%	8.3%	16.7%	33.3%	41.7%
⑧生活に関する学科	111	1	4	28	78
	100.0%	0.9%	3.6%	25.2%	70.3%
⑨福祉に関する学科	14	0	0	2	12
	100.0%	0.0%	0.0%	14.3%	85.7%
⑩国際に関する学科	1	0	0	0	1
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
⑪その他	59	3	2	15	39
	100.0%	5.1%	3.4%	25.4%	66.1%



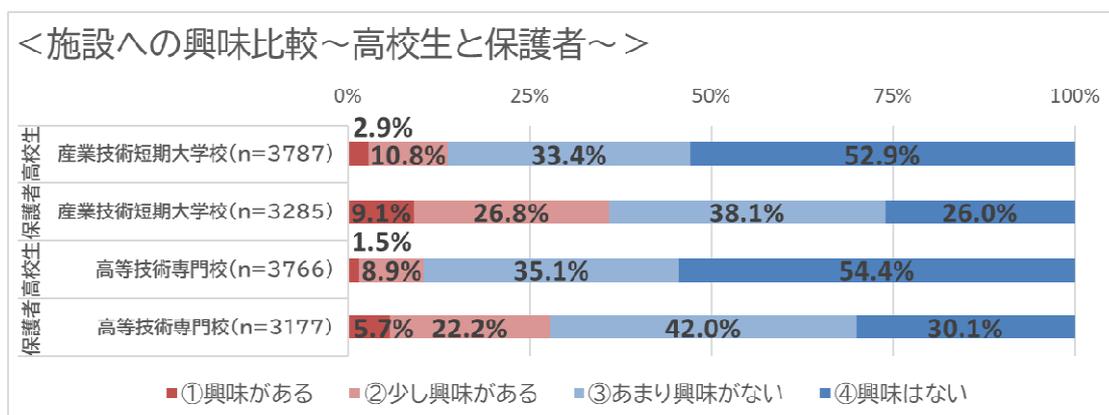
学科別でみると、「産業技術短期大学校」については、「工業に関する学科」が「興味がある」が 5.6%、「少し興味がある」が 17.6%と、Q10の施設認知度と同じ傾向で、「工業に関する学科」は興味が高い傾向を示している。次いで「総合学科」、「商業に関する学科」と続く。

「高等技術専門校」についても、Q10の施設認知度と同じ傾向で、「工業に関する学科」が最も高く、次いで「総合学科」、「商業に関する学科」と続く。

【施設への興味（産技短）×施設への興味（高技専）】



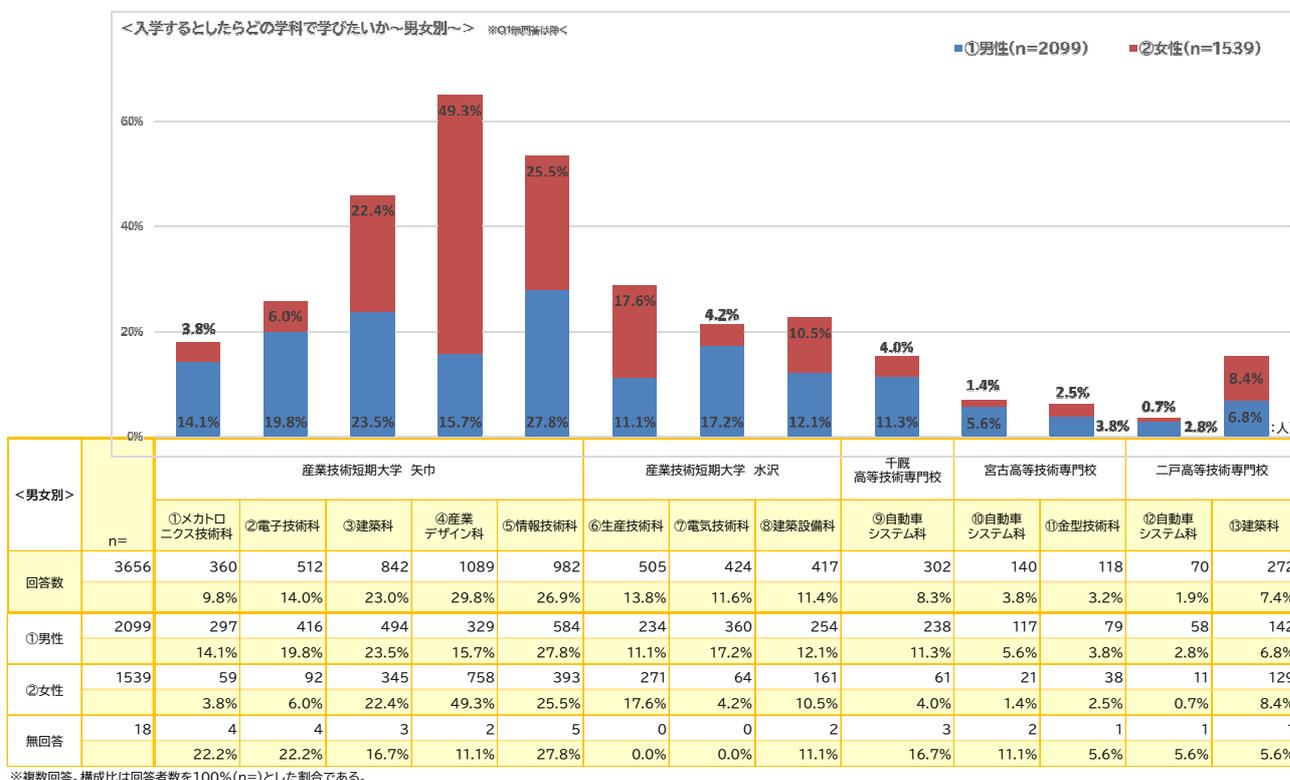
参考：【施設への興味（高校生×保護者）】



参考までに「産業技術短期大学校」の興味度（「興味がある」+「少し興味がある」）は、高校生は13.7%であったのに対して、保護者は35.9%と、22.2ポイントの差があった。「高等技術専門学校」についても、高校生が10.4%であったのに対して、保護者は27.9%と、いずれも保護者のほうが職業能力開発施設に対して興味を示している割合が高いことがわかった。

**Q12. 産業技術短期大学校や高等技術専門校に入学するとしたら、どの学科で学びたいですか。
(2つ以内)**

【どの学科で学びたいか×男女別】



産業技術短期大学校や高等技術専門校に入学するとしたら、どの学科で学びたいか聞いたところ、「産業技術短期大学校：産業デザイン科」が29.8%と最も高く、次いで「産業技術短期大学校：情報技術科」の26.9%、「産業技術短期大学校：建築科」の23.0%となった。いずれも産業技術短期大学校となった。尚、全体の割合では少ないものの、「高等技術専門校」では千厩校の「自動車システム科」、二戸校の「建築科」が高い割合を示している。

男女別でみると、「男性」では「産業技術短期大学校：情報技術科」が最も高く27.8%、次いで「産業技術短期大学校：建築科」の23.5%、「産業技術短期大学校：電子技術科」の19.8%と続く。「女性」では「産業技術短期大学校：産業デザイン科」が49.3%と非常に高い割合を示し、次いで「産業技術短期大学校：情報技術科」の25.5%、「産業技術短期大学校：建築科」の22.4%と続く。

また男女比では「産業技術短期大学校：産業デザイン科」と「産業技術短期大学校：生産技術科」、「高等技術専門校二戸校：建築科」は「男性」より「女性」のほうの割合が高い結果となった。

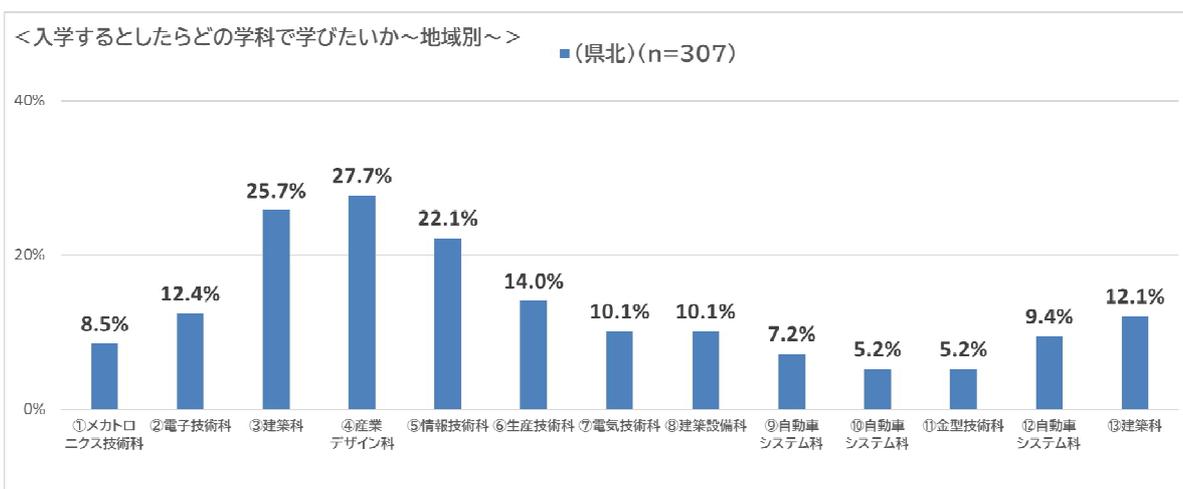
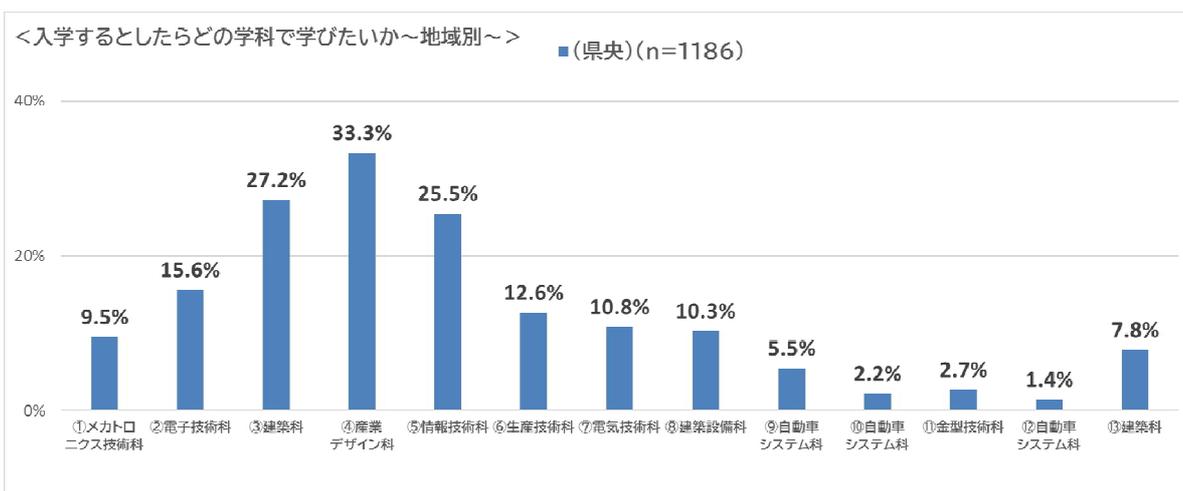
尚、保護者アンケートでは最多は「産業技術短期大学校：情報技術科」の38.1%、次いで「産業技術短期大学校：産業デザイン」の22.7%となっている。

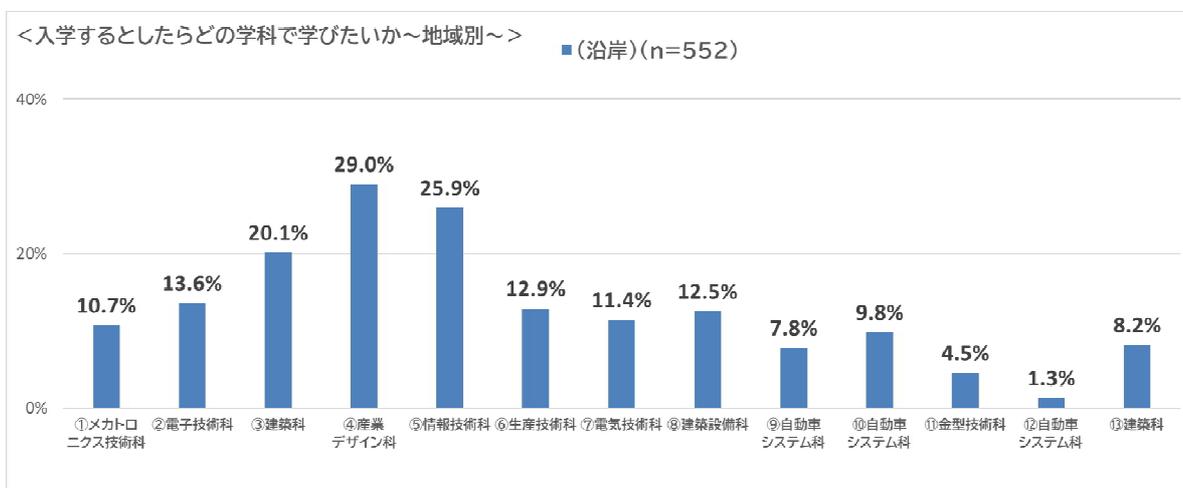
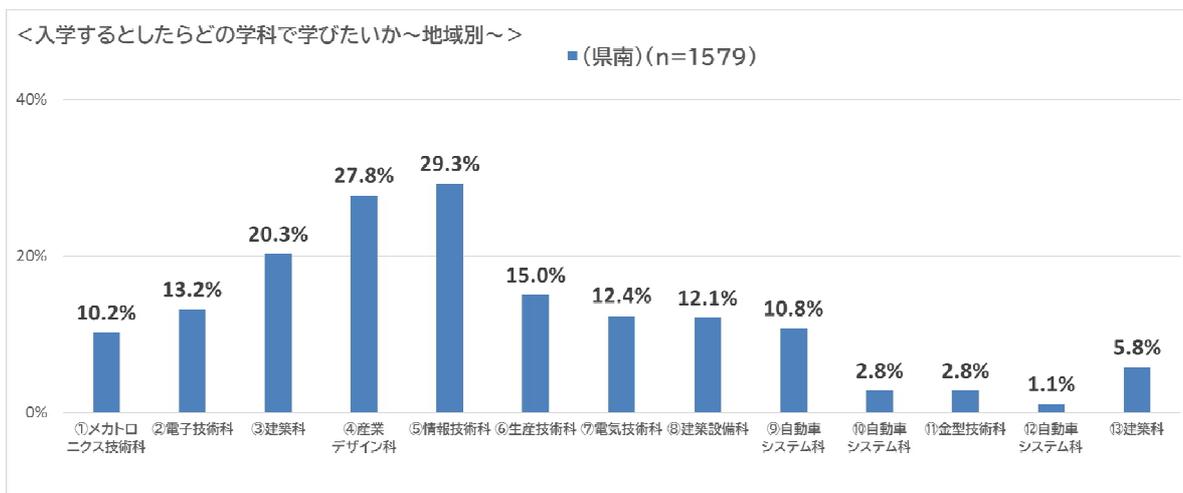
【どの学科で学びたいか×地区別】

(単位:人)

<地域別>	n=	産業技術短期大学 矢巾					産業技術短期大学 水沢			千歳 高等技術専門学校	宮古高等技術専門学校		二戸高等技術専門学校	
		①メカトロ ニクス技術科	②電子技術科	③建築科	④産業 デザイン科	⑤情報技術科	⑥生産技術科	⑦電気技術科	⑧建築設備科	⑨自動車 システム科	⑩自動車 システム科	⑪金型技術科	⑫自動車 システム科	⑬建築科
回答数	3656	360	512	842	1089	982	505	424	417	302	140	118	70	272
		9.8%	14.0%	23.0%	29.8%	26.9%	13.8%	11.6%	11.4%	8.3%	3.8%	3.2%	1.9%	7.4%
(県央)	1186	113	185	323	395	302	150	128	122	65	26	32	17	93
		9.5%	15.6%	27.2%	33.3%	25.5%	12.6%	10.8%	10.3%	5.5%	2.2%	2.7%	1.4%	7.8%
(県北)	307	26	38	79	85	68	43	31	31	22	16	16	29	37
		8.5%	12.4%	25.7%	27.7%	22.1%	14.0%	10.1%	10.1%	7.2%	5.2%	5.2%	9.4%	12.1%
(県南)	1579	161	208	320	439	462	237	196	191	170	44	44	17	91
		10.2%	13.2%	20.3%	27.8%	29.3%	15.0%	12.4%	12.1%	10.8%	2.8%	2.8%	1.1%	5.8%
(沿岸)	552	59	75	111	160	143	71	63	69	43	54	25	7	45
		10.7%	13.6%	20.1%	29.0%	25.9%	12.9%	11.4%	12.5%	7.8%	9.8%	4.5%	1.3%	8.2%
(県外)	22	0	5	8	7	3	1	5	4	1	0	1	0	4
		0.0%	22.7%	36.4%	31.8%	13.6%	4.5%	22.7%	18.2%	4.5%	0.0%	4.5%	0.0%	18.2%
無回答	10	1	1	1	3	4	3	1	0	1	0	0	0	2
		10.0%	10.0%	10.0%	30.0%	40.0%	30.0%	10.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%

※複数回答。構成比は回答者数を100%(n=)とした割合である。





地区別でみると、「県央」と「県北」、「沿岸」では「産業技術短期大学校：産業デザイン科」が最も多い。「県南」だけは「産業技術短期大学校：情報技術科」が多い結果となった。高い割合となったのは、「県央」は、「産業技術短期大学校：産業デザイン科」、「産業技術短期大学校：建築科」、「産業技術短期大学校：電子技術科」となっている。「県北」では、「高等技術専門校二戸校：建築科」と「高等技術専門校二戸校：自動車システム科」、「高等技術専門校宮古校：金型技術科」となっている。「県南」では、「産業技術短期大学校：情報技術科」、「産業技術短期大学校水沢キャンパス：生産技術科」と「産業技術短期大学校水沢キャンパス：電気技術科」、「高等技術専門校千厩校：自動車システム科」となっている。「沿岸」では、「産業技術短期大学校：メカトロニクス技術科」と「産業技術短期大学校水沢キャンパス：建築設備科」、「高等技術専門校宮古校：自動車システム科」となっている。やはり居住地と学校の所在地の相関関係もありそうだ。

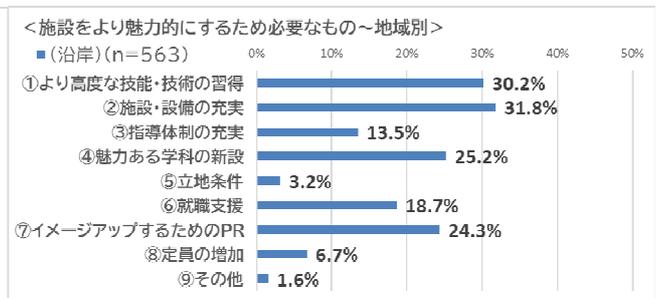
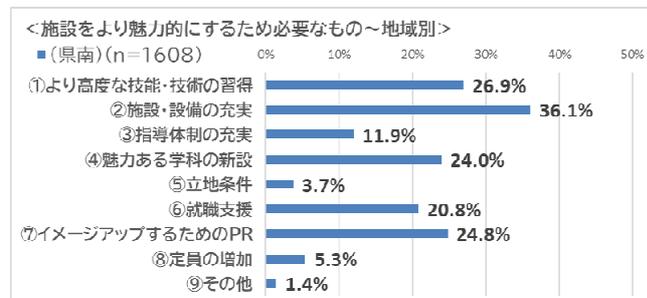
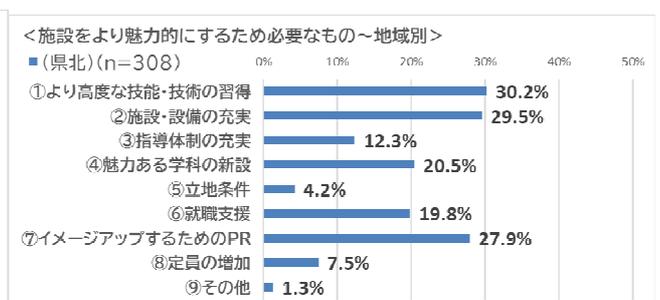
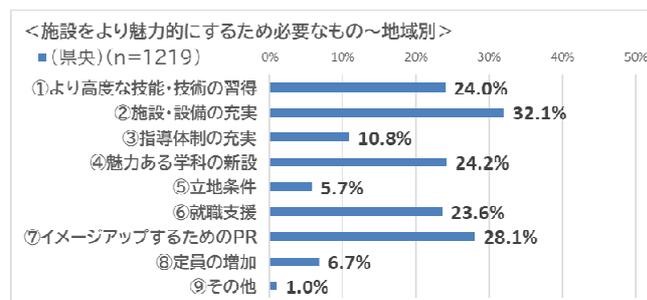
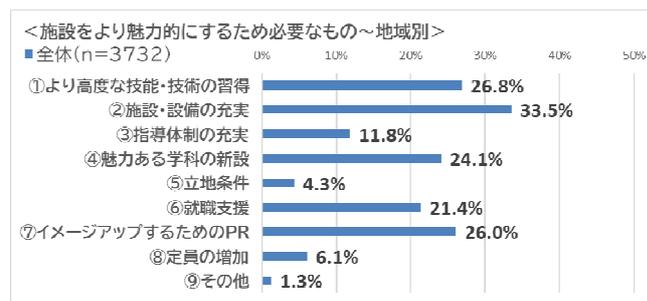
Q 13. 県立産業技術短期大学校や高等技術専門校をより魅力的な施設にするためには、何が必要だと思いますか。(2つ以内)

【魅力的な施設とするために必要なこと×地区別】

(単位:人)

<地域別>	n=	①より高度な技能・技術の習得	②施設・設備の充実	③指導体制の充実	④魅力ある学科の新設	⑤立地条件	⑥就職支援	⑦イメージアップするためのPR	⑧定員の増加	⑨その他
回答数	3732	1002	1251	441	898	162	797	972	229	47
		26.8%	33.5%	11.8%	24.1%	4.3%	21.4%	26.0%	6.1%	1.3%
(県央)	1219	293	391	132	295	70	288	342	82	12
		24.0%	32.1%	10.8%	24.2%	5.7%	23.6%	28.1%	6.7%	1.0%
(県北)	308	93	91	38	63	13	61	86	23	4
		30.2%	29.5%	12.3%	20.5%	4.2%	19.8%	27.9%	7.5%	1.3%
(県南)	1608	433	580	192	386	60	335	399	86	22
		26.9%	36.1%	11.9%	24.0%	3.7%	20.8%	24.8%	5.3%	1.4%
(沿岸)	563	170	179	76	142	18	105	137	38	9
		30.2%	31.8%	13.5%	25.2%	3.2%	18.7%	24.3%	6.7%	1.6%
(県外)	24	12	7	1	6	1	5	5	0	0
		50.0%	29.2%	4.2%	25.0%	4.2%	20.8%	20.8%	0.0%	0.0%
無回答	10	1	3	2	6	0	3	3	0	0
		10.0%	30.0%	20.0%	60.0%	0.0%	30.0%	30.0%	0.0%	0.0%

※複数回答。構成比は回答者数を100%(n=)とした割合である。



より魅力的な施設にするために何が必要か聞いたところ、「施設・設備の充実」が 33.5%と最も高く、次いで「より高度な技能・技術の習得」の 26.8%、「イメージアップするための PR」の 26.0%、「魅力ある学科の新設」の 24.1%と続く。

地区別でみると、「県央」は「施設・設備の充実」が 32.1%と最も高く、次いで「イメージアップするための PR」の 28.1%、「魅力ある学科の新設」の 24.2%と続く。「県北」は「より高度な技能・技術の習得」が 30.2%と最も多く、次いで「施設・設備の充実」が 29.5%、「イメージアップするための PR」が 27.9%と続く。「県南」は「施設・設備の充実」が 36.1%と最も高く、次いで「より高度な技能・技術の習得」の 26.9%、「イメージアップするための PR」の 24.8%と続く。「沿岸」は「施設・設備の充実」が 31.8%が最多で、次いで「より高度な技能・技術の習得」の 30.2%、「魅力ある学科の新設」の 25.2%と続く。順位は異なるものの、概ね上位 4 つの割合が高くなっている。

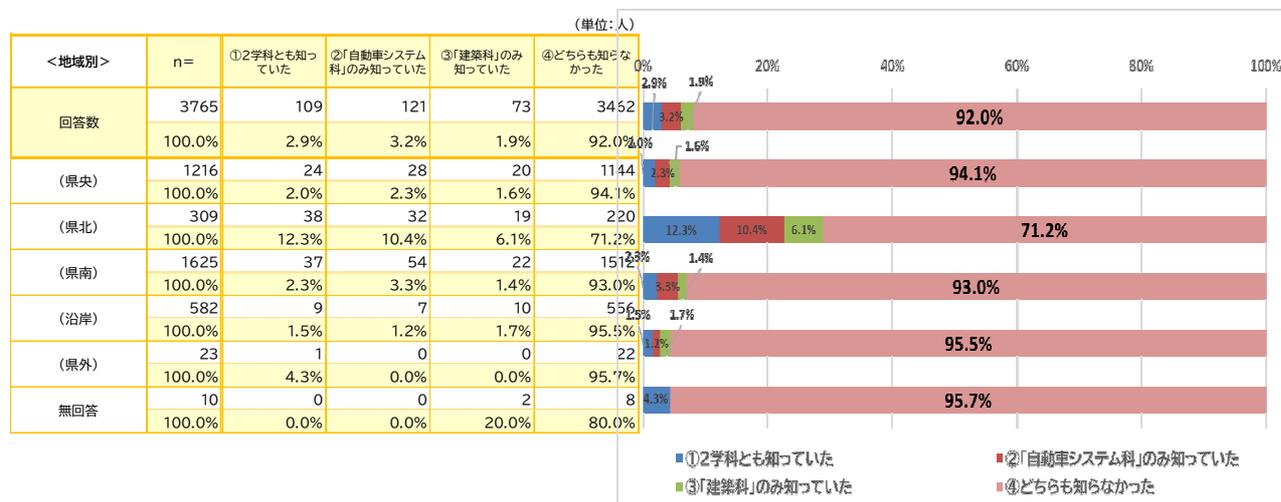
尚、保護者アンケートでは、「施設・設備の充実」は上位ランク外となり重要視していないことがわかる。その代わりに「就職支援」がランクインしており、就職までのサポートを必要としている。

【その他記載】⑨

＜その他＞			
wifi	1	在学中の金銭補助	1
イベントを増やす	1	実際の現場での実習実績	1
イメージアップではなく、このような進路の選択肢もあるのかという根本的なPR	1	周りの施設の充実化	1
イメージアップ以前に、知名度アップを優先すべきだと思う	1	情報が高校に入ってくるようにする。	1
その人に必要なハードルを明確にすること。	1	生徒、教師の人としての質を高める	1
ちゃんと教員を配属させる	1	生徒の質	1
どんな学校なのかわかりやすくするための動画	1	生徒の雰囲気	1
どんな施設かわからない	1	知名度	1
ない	1	知名度up活動	1
まだ僕たちが貴校を知らないのと同じようにまだ知らない方々もたくさんいると思うので、ホームページでの宣伝やオープンキャンパスなどももっと積極的にやった方が良い。	1	知名度を上げる	3
わからない	2	知名度を上げる。	1
英語検定	1	特になし	1
学校の周りを賑やかにする	1	特色を出す	1
学費の免除	1	特典	1
教授及び学生のレベルアップ	1	入りやすくする	1
興味がない	1	入学支援	1
県に対する愛	1	分からない	2
工業高校から進学しても退屈にならない位の学習	1	分かりません	1
高卒よりも素晴らしいということを証明すること。また良い進路がある、有意義なものになると宣言すること	1	雰囲気の良さ	1
		魅力的なLPや広告	1
		名前を変える	1
		料金が低い	1

Q 1 4. 二戸高等技術専門校についてお伺いします。二戸高等技術専門校では現在「自動車システム科」と「建築科」の2学科を設置していますが、知っていますか。

【二戸校認知度×地区別】



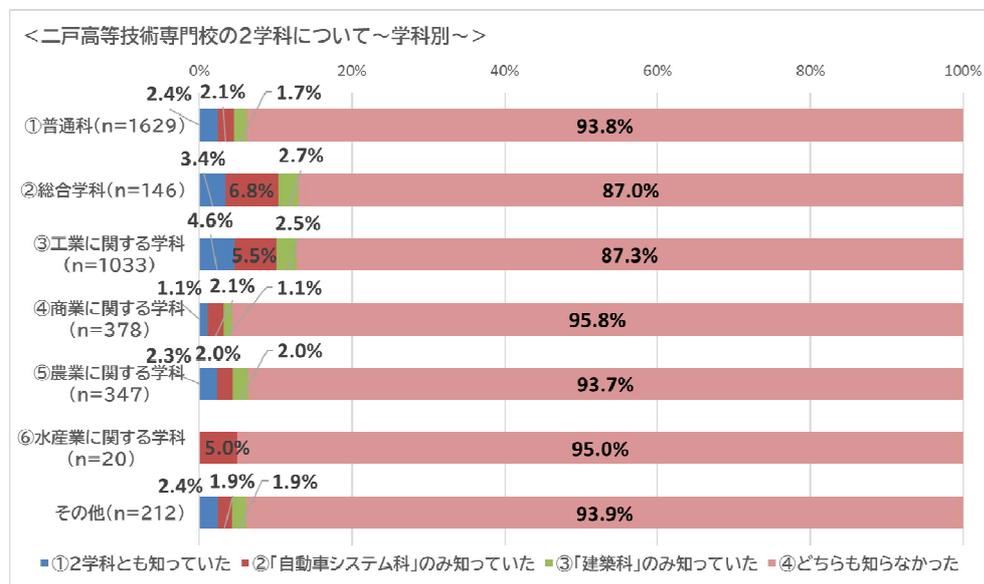
二戸高等技術専門校の認知度について聞いた。「2学科とも知っていた」は2.9%、「自動車システム科のみ知っていた」は3.2%、「建築科のみ知っていた」は1.9%にとどまり、「どちらも知らなかった」は92.0%にも及ぶ。

地区別にみると、二戸校の所在する「県北」は他地区と比べて認知度はあるものの、「2学科とも知っていた」は12.3%、「自動車システム科のみ知っていた」10.4%、「建築科のみ知っていた」6.1%となるが、「どちらも知らなかった」は71.2%と、「県北」管内の高校生の7割以上が知らなかったこととなる。

尚、保護者アンケートでは、「県北」においては認知度は高校生より高くなる傾向にあるが、他地区については認知度は低いままである。

【二戸校認知度×学科別】

<学科別>	n=	(単位:人)			
		①2学科とも知っていた	②「自動車システム科」のみ知っていた	③「建築科」のみ知っていた	④どちらも知らなかった
全体	3765	109	121	73	3462
	100.0%	2.9%	3.2%	1.9%	92.0%
①普通科	1629	39	34	28	1528
	100.0%	2.4%	2.1%	1.7%	93.8%
②総合学科	146	5	10	4	127
	100.0%	3.4%	6.8%	2.7%	87.0%
③工業に関する学科	1033	48	57	26	902
	100.0%	4.6%	5.5%	2.5%	87.3%
④商業に関する学科	378	4	8	4	362
	100.0%	1.1%	2.1%	1.1%	95.8%
⑤農業に関する学科	347	8	7	7	325
	100.0%	2.3%	2.0%	2.0%	93.7%
⑥水産業に関する学科	20	0	1	0	19
	100.0%	0.0%	5.0%	0.0%	95.0%
⑦芸術・スポーツに関する学科	13	2	0	0	11
	100.0%	15.4%	0.0%	0.0%	84.6%
⑧生活に関する学科	115	3	2	2	108
	100.0%	2.6%	1.7%	1.7%	93.9%
⑨福祉に関する学科	13	0	1	1	11
	100.0%	0.0%	7.7%	7.7%	84.6%
⑩国債に関する学科	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
⑪その他	59	0	1	1	57
	100.0%	0.0%	1.7%	1.7%	96.6%
無回答	12	0	0	0	12
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%



学科別でみると、「総合学科」と「工業に関する学科」からの認知度は他より若干高いものの、各学科ともに約9割近くの高校生が知らなかったこととなる。

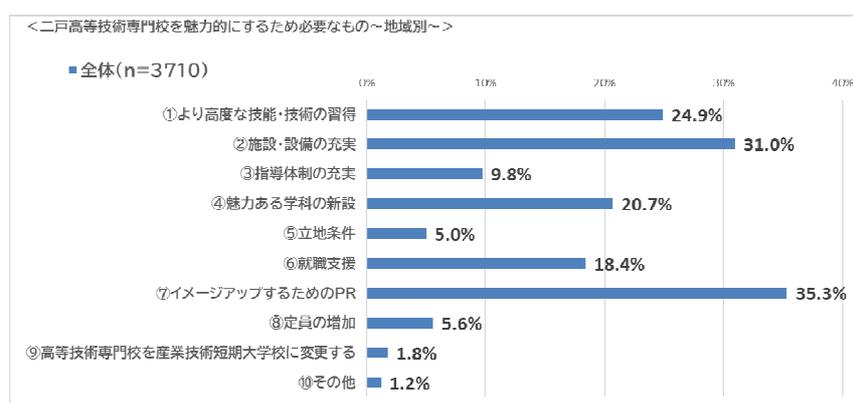
Q15. 二戸高等技術専門校をより魅力的な施設にするためには、何が必要だと思いますか。（2つ以内）

【二戸校をより魅力的にするために必要なもの×地区別】

(単位:人)

<地域別>	n=	①より高度な技能・技術の習得	②施設・設備の充実	③指導体制の充実	④魅力ある学科の新設	⑤立地条件	⑥就職支援	⑦イメージアップするためのPR	⑧定員の増加	⑨高等技術専門校を産業技術短期大学校に変更する	⑩その他
全体	3710	925	1150	362	767	187	683	1311	207	66	46
	152.5%	24.9%	31.0%	9.8%	20.7%	5.0%	18.4%	35.3%	5.6%	1.8%	1.2%
(県央)	1199	263	368	110	269	85	232	437	71	27	12
	155.3%	21.9%	30.7%	9.2%	22.4%	7.1%	19.3%	36.4%	5.9%	2.3%	1.0%
(県北)	306	85	89	27	59	9	53	110	24	4	3
	150.3%	27.8%	29.1%	8.8%	19.3%	2.9%	17.3%	35.9%	7.8%	1.3%	1.0%
(県南)	1611	401	525	166	311	69	289	564	68	31	19
	150.5%	24.9%	32.6%	10.3%	19.3%	4.3%	17.9%	35.0%	4.2%	1.9%	1.2%
(沿岸)	561	164	159	57	119	20	104	189	43	4	12
	153.1%	29.2%	28.3%	10.2%	21.2%	3.6%	18.5%	33.7%	7.7%	0.7%	2.1%
(県外)	23	10	6	1	5	3	4	6	1	0	0
	156.5%	43.5%	26.1%	4.3%	21.7%	13.0%	17.4%	26.1%	4.3%	0.0%	0.0%
無回答	10	2	3	1	4	1	1	5	0	0	0
	170.0%	20.0%	30.0%	10.0%	40.0%	10.0%	10.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%

※複数回答。構成比は回答者数を100%(n=)とした割合である。

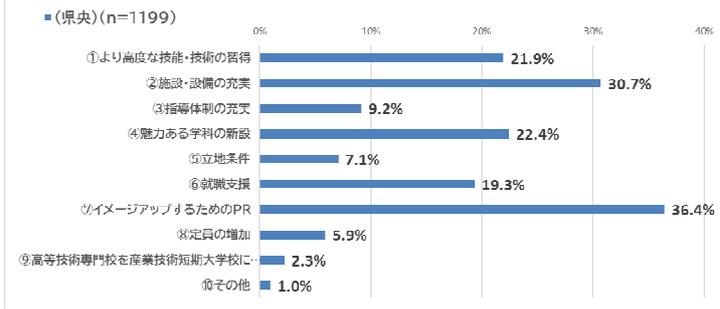


高等技術専門校二戸校をより魅力的な施設にするために必要なことを聞いた。「イメージアップするためのPR」が最多の35.3%で、次いで「施設・設備の充実」の31.0%、「より高度な技能・技術の習得」の24.9%、「魅力ある学科の新設」の20.7%と続く。尚、Q13と比較すると、上位は同じ傾向となるが、「イメージアップするためのPR」を必要とする割合が多くなっている。

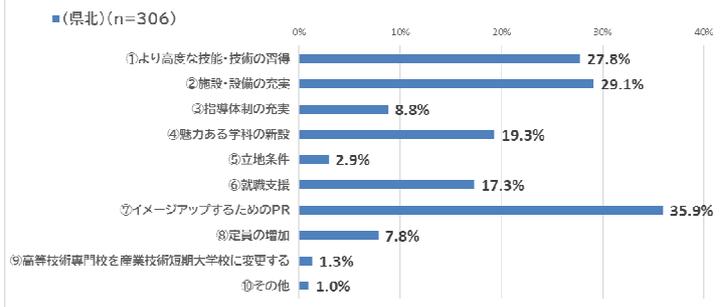
地区別でも、いずれの地区でも最多は「イメージアップするためのPR」。上位は順位が異なるものの、全体上位と同じ4項目が占めている。

尚、保護者アンケートでは、「イメージアップするためのPR」が最多で、次いで「魅力ある学科の新設」、「より高度な技能・技術の習得」と続く。

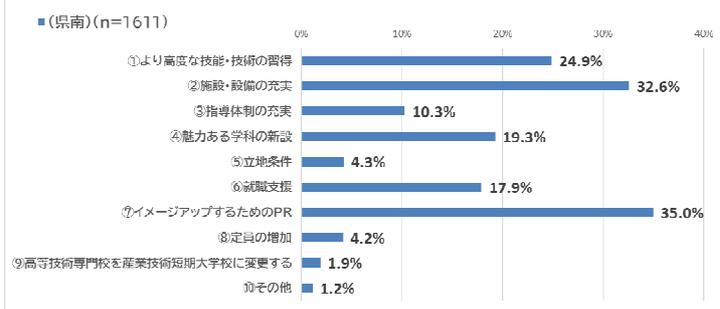
<二戸高等技術専門校を魅力的にするため必要なもの～地域別～>



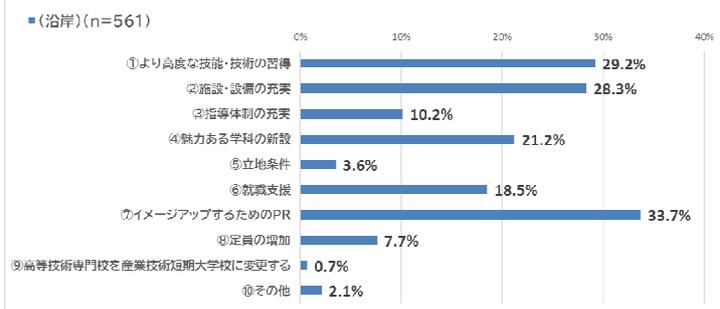
<二戸高等技術専門校を魅力的にするため必要なもの～地域別～>



<二戸高等技術専門校を魅力的にするため必要なもの～地域別～>



<二戸高等技術専門校を魅力的にするため必要なもの～地域別～>



【その他記載】⑩

<その他>	
wifi	1
イメージアップではなく、このような進路の選択肢もあるのかという根本的なPR	1
知らない	1
そこでしか学べないことやより難しい資格の合格%	1
ちゃんと教員を配属させる	1
どんな施設かわからない	1
わからない	2
わからない。	1
わかりません。	1
学校のPR	1
教授及び学生のレベルを上げ進学したいと思われる学科の設置	1
興味がない	1
近隣の環境を都市化する	1
在学について	1
実績	1
周りの施設の充実化	1
食品加工の技術も必要だ	1
生徒の雰囲気	1
知名度	1
知名度を上げる	3
知名度を上げる。	2
知名度を上げるためのうりこみ・宣伝・PR	1
知名度向上の為のPR活動	1
特になし	3
二戸高等技術専門校を知らないため、分からない	1
入りやすくする	1
分からない	3
分かりません	1
雰囲気の良さ	1
魅力的なLPや広告	1
名前をキャッチーなものに変える	1

Q16. 二戸高等技術専門校において、県北地域の特色ある産業の技術や知識を習得するために、以下のコースを追加する場合、進路先としての魅力を感じますか。I～V、それぞれにお答えください。

I. 食品の加工技術や商品開発、ブランディングを学べるコース

II. アパレルやファッションデザイン、そのブランディングを学べるコース

III. 浄法寺塗など地域資源を活かした伝統工芸技術やそのPR手法を学べるコース

IV. WEB・グラフィックデザインを通じた産業デザインや、商品開発などの手法を学べるコース

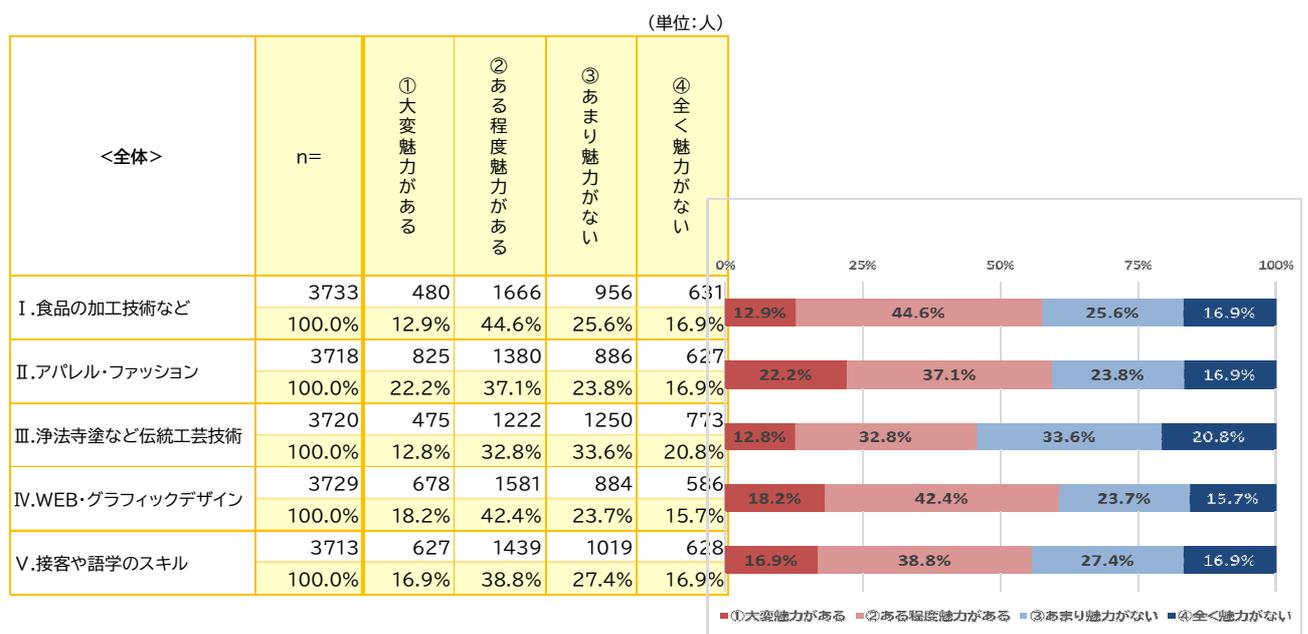
V. 接客や語学のスキルを向上させ、地域観光やサービスのPR手法を学べるコース

様々な期待される新設コースは検討の余地があるが、今回は二戸校のある県北エリアの基幹産業や県民計画で示されている県北の特色ある産業に関連する上記選択肢を設定した。

※選択肢の「I. 食品の加工技術や商品開発、ブランディングを学べるコース」を「食品の加工技術など」に、「II. アパレルやファッションデザイン、そのブランディングを学べるコース」を「アパレル・ファッション」に、「III. 浄法寺塗など地域資源を活かした伝統工芸技術やそのPR手法を学べるコース」を「浄法寺塗など伝統工芸品技術」に、「IV. WEB・グラフィックデザインを通じた産業デザインや、商品開発などの手法を学べるコース」を「WEB・グラフィックデザイン」に、「V. 接客や語学のスキルを向上させ、地域観光やサービスのPR手法を学べるコース」を「接客や語学のスキル」と略しています。

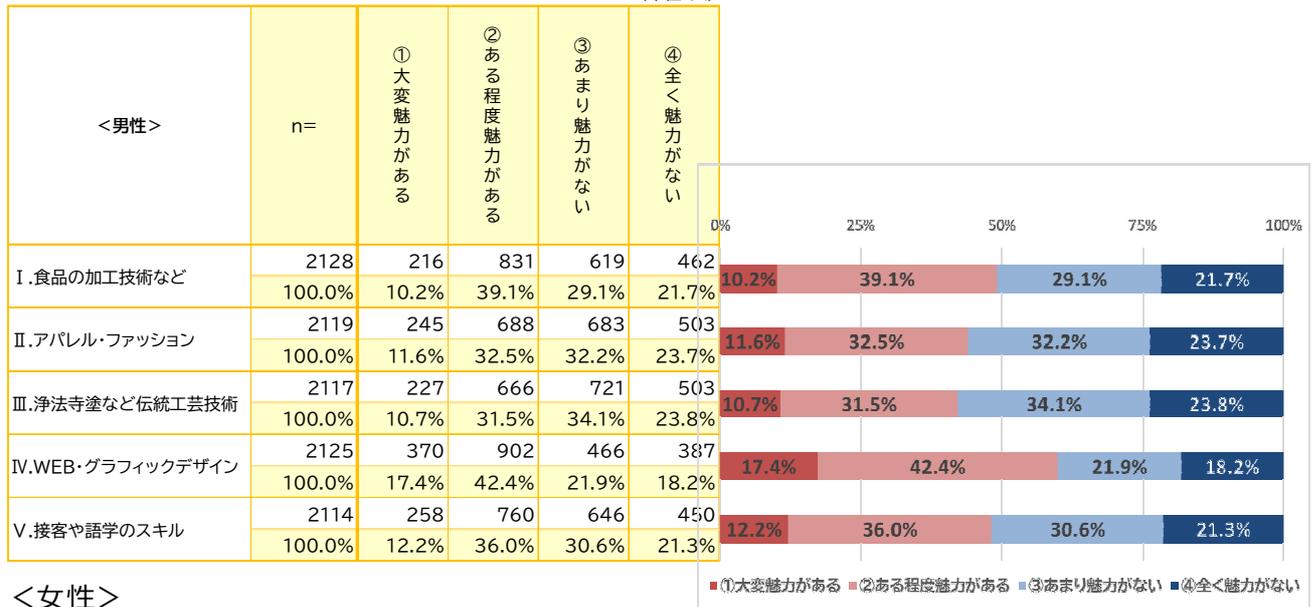
【二戸校新設コース×男女別】

<全体>



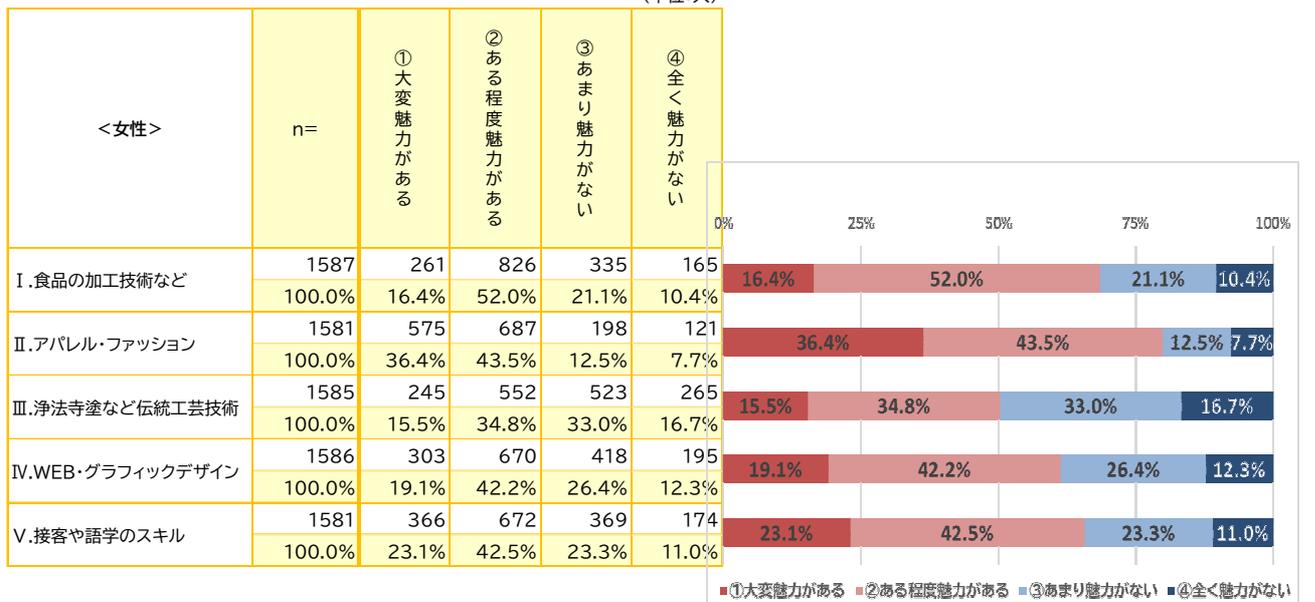
<男性>

(単位:人)



<女性>

(単位:人)



高等技術専門校二戸校に新たな新設コースを設置するとしたらどのようなコースなら魅力を感じるか聞いた。尚、以降の分析については、「大変魅力がある」と「ある程度魅力がある」を「魅力がある」、「あまり魅力がない」と「全く魅力がない」を「魅力がない」として、分析している。全体では「WEB・グラフィックデザイン」が60.6%と最も高く、次いで「アパレル・ファッション」の59.3%、「食品の加工技術など」の57.5%と続く。

男女別でみると、「男性」は「WEB・グラフィックデザイン」が59.8%と最も高く、次いで「食品の加工技術など」の49.3%、「接客や語学のスキル」の48.2%と続く。一方「女性」は「アパレル・ファッション」が最も高く79.9%に達する。次いで「食品の加工技術など」の68.4%、「接客や語学のスキル」の65.6%と続く。2、3順位は同じであるが、1順位は男女で大きく異なる。

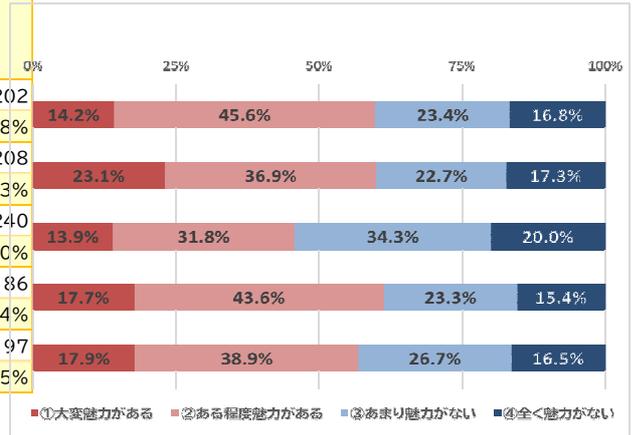
尚、保護者アンケートでは「WEB・グラフィックデザイン」が最も高く、次いで「接客や語学のスキル」、「食品の加工技術など」と続く。「アパレル・ファッション」が下がり、「浄法寺塗など伝統工芸技術」の割合が高くなっている。

【二戸校新設コース×地区別】

<県央>

(単位:人)

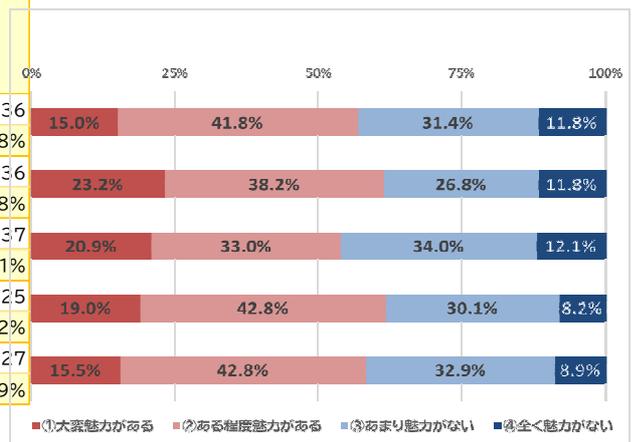
<県央>	n=	① 大変魅力がある	② ある程度魅力がある	③ あまり魅力がない	④ 全く魅力がない
I.食品の加工技術など	1205	171	550	282	202
	100.0%	14.2%	45.6%	23.4%	16.8%
II.アパレル・ファッション	1200	277	443	272	208
	100.0%	23.1%	36.9%	22.7%	17.3%
III.浄法寺塗など伝統工芸技術	1199	167	381	411	240
	100.0%	13.9%	31.8%	34.3%	20.0%
IV.WEB・グラフィックデザイン	1204	213	525	280	186
	100.0%	17.7%	43.6%	23.3%	15.4%
V.接客や語学のスキル	1197	214	466	320	197
	100.0%	17.9%	38.9%	26.7%	16.5%



<県北>

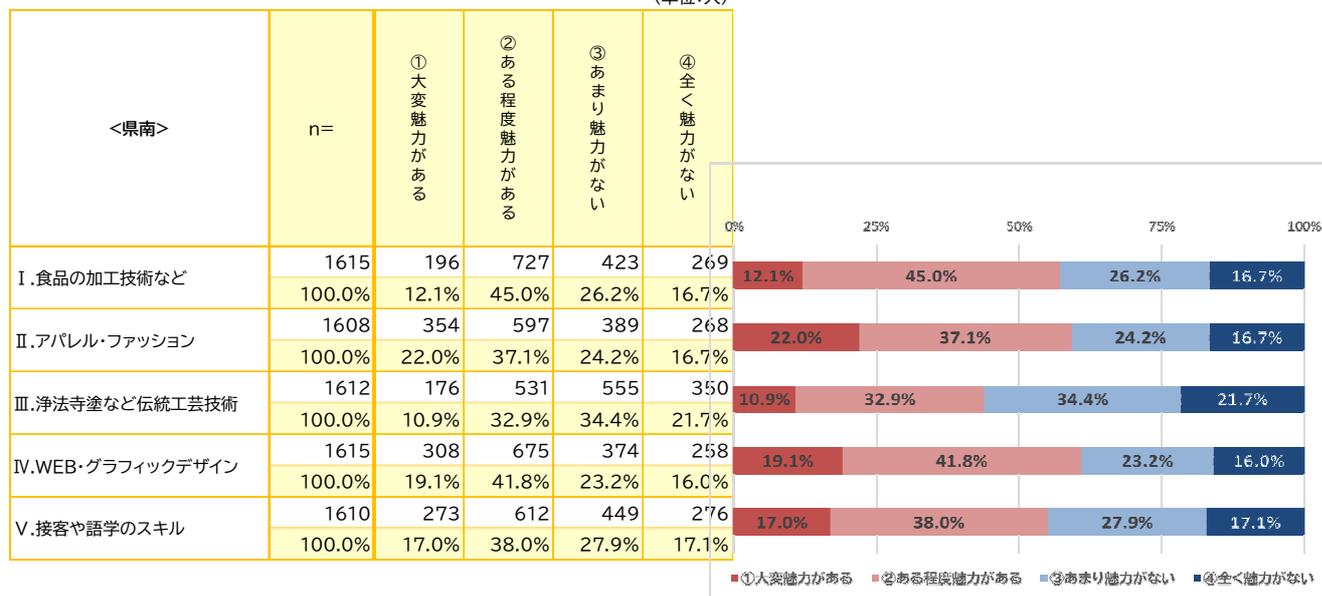
(単位:人)

<県北>	n=	① 大変魅力がある	② ある程度魅力がある	③ あまり魅力がない	④ 全く魅力がない
I.食品の加工技術など	306	46	128	96	36
	100.0%	15.0%	41.8%	31.4%	11.8%
II.アパレル・ファッション	306	71	117	82	36
	100.0%	23.2%	38.2%	26.8%	11.8%
III.浄法寺塗など伝統工芸技術	306	64	101	104	37
	100.0%	20.9%	33.0%	34.0%	12.1%
IV.WEB・グラフィックデザイン	306	58	131	92	25
	100.0%	19.0%	42.8%	30.1%	8.2%
V.接客や語学のスキル	304	47	130	100	27
	100.0%	15.5%	42.8%	32.9%	8.9%



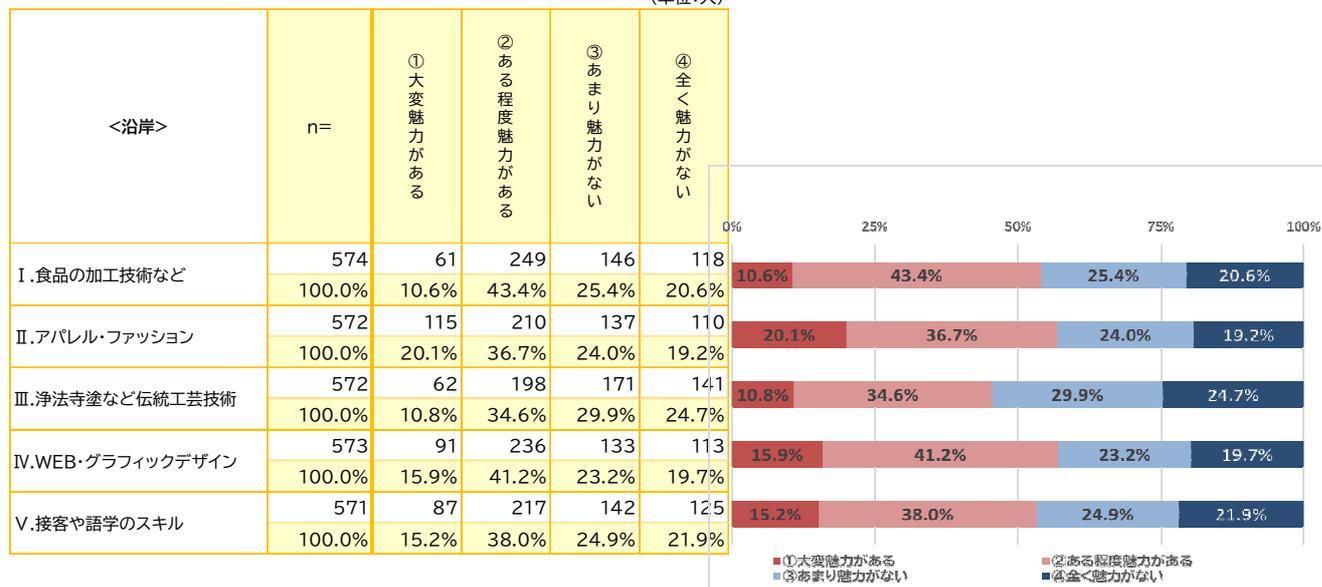
< 県南 >

(単位:人)



< 沿岸 >

(単位:人)

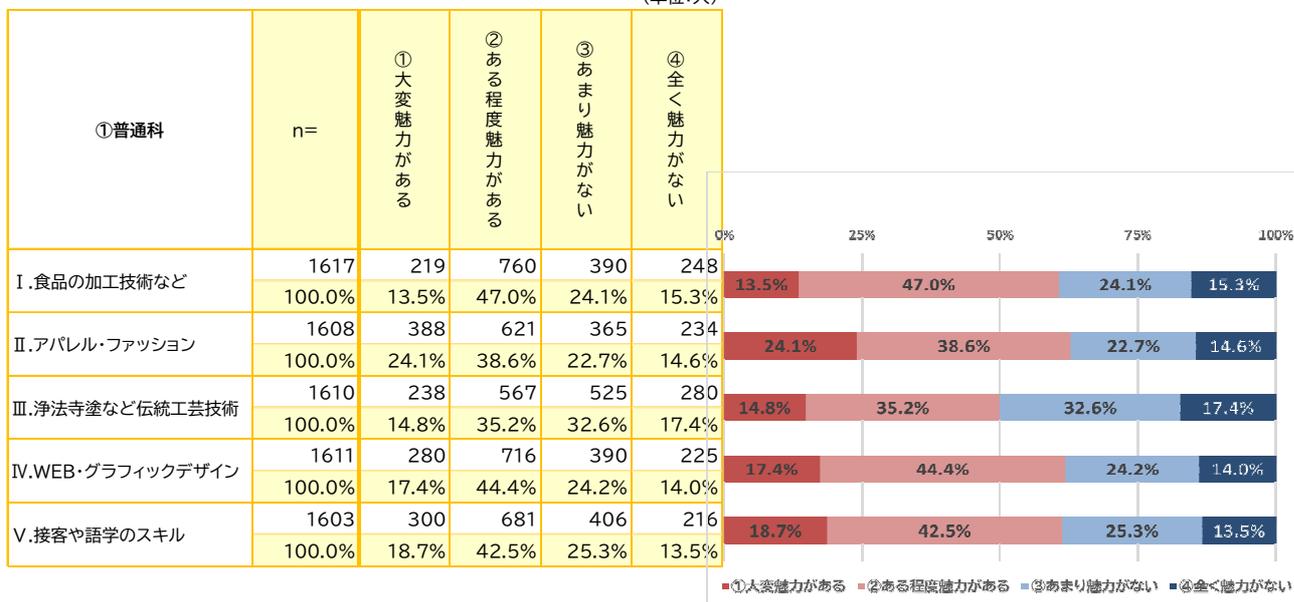


地区別にみると、いずれの地区も最多は「WEB・グラフィックデザイン」。第2順位もいずれの地区も「アパレル・ファッション」となるが、第3順位で「県央」と「県南」、「沿岸」は「食品の加工技術など」、「県北」は「接客や語学のスキル」となっている。

【二戸校新設コース×学科別】

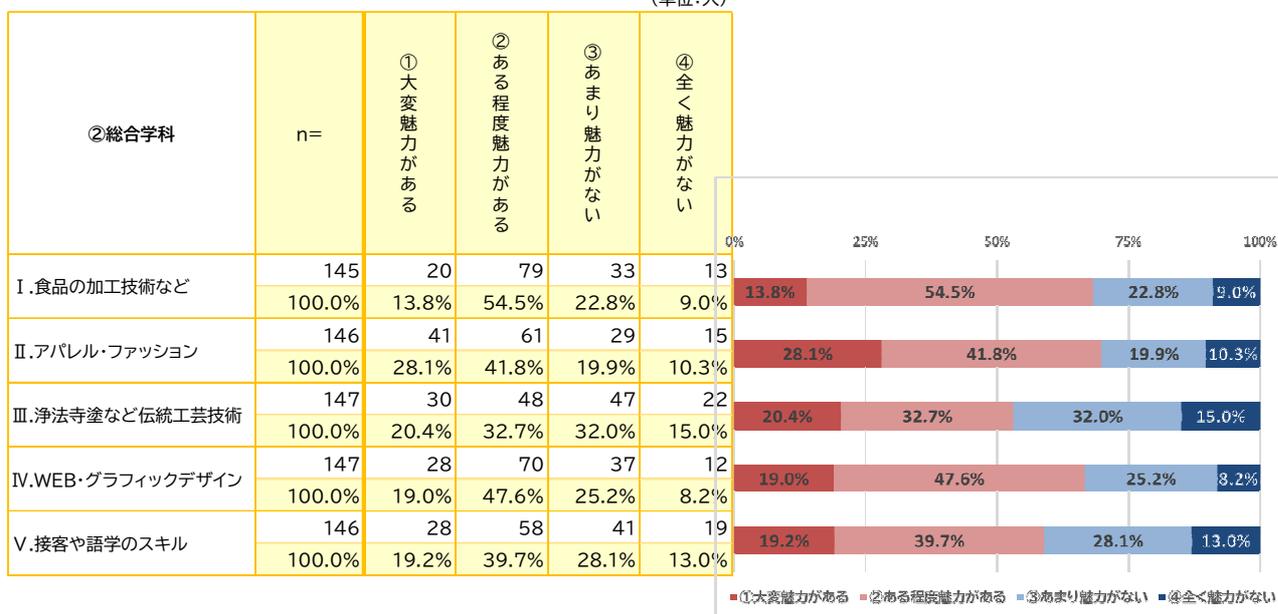
<普通科>

(単位:人)



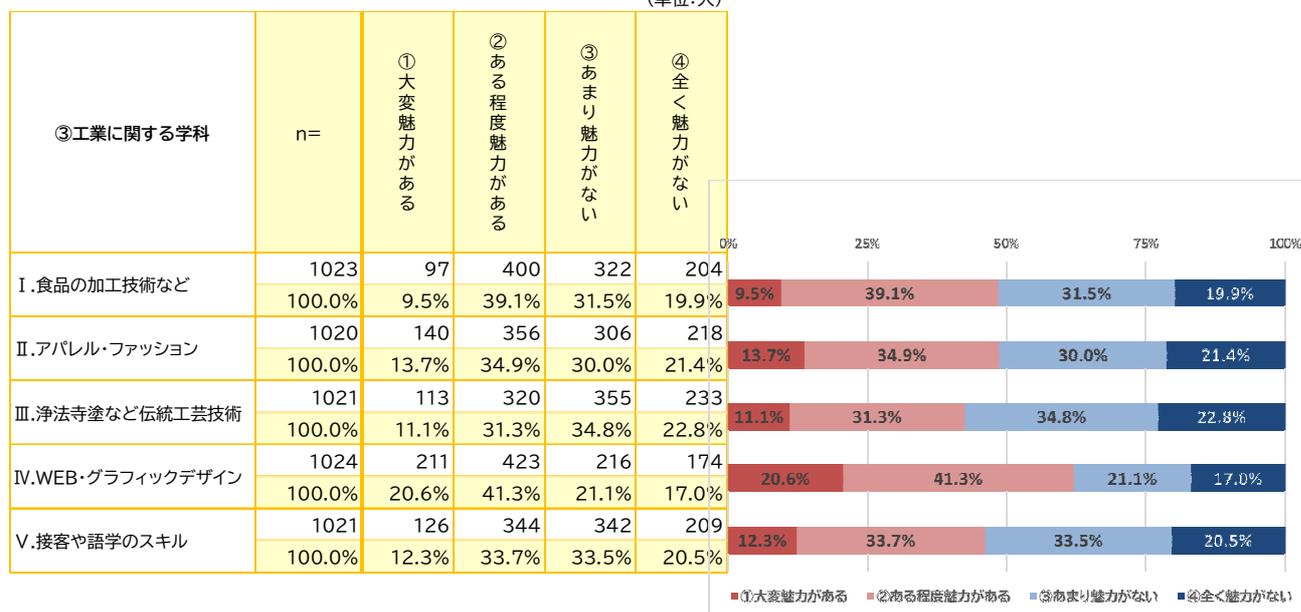
<総合学科>

(単位:人)



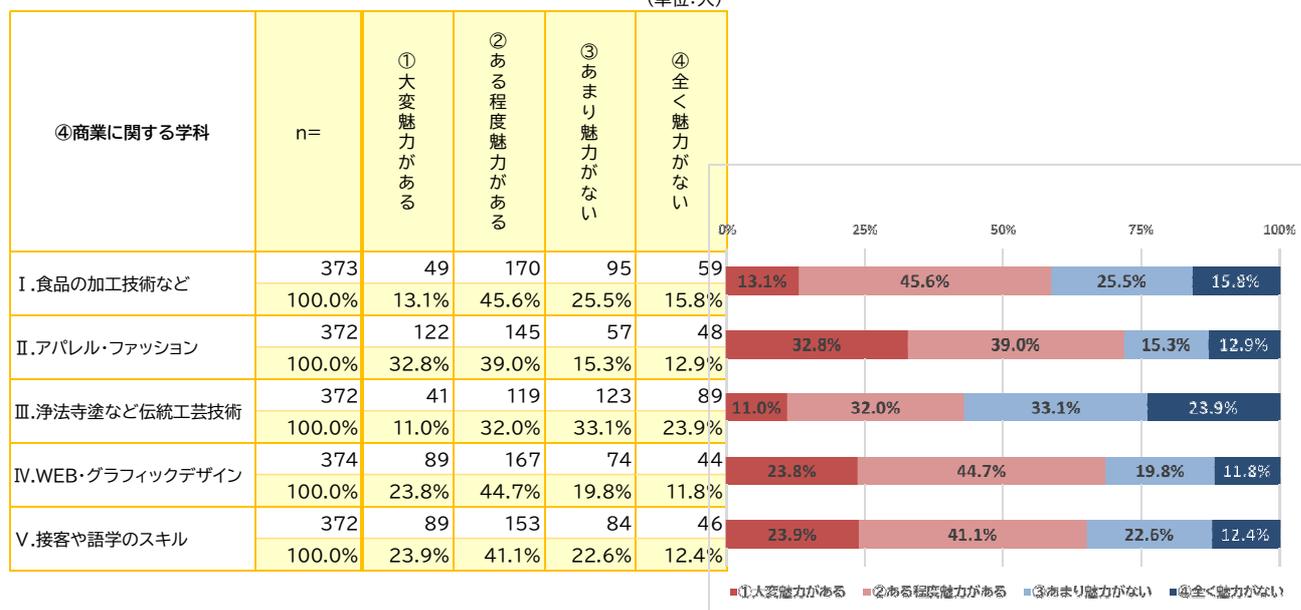
<工業に関する学科>

(単位:人)



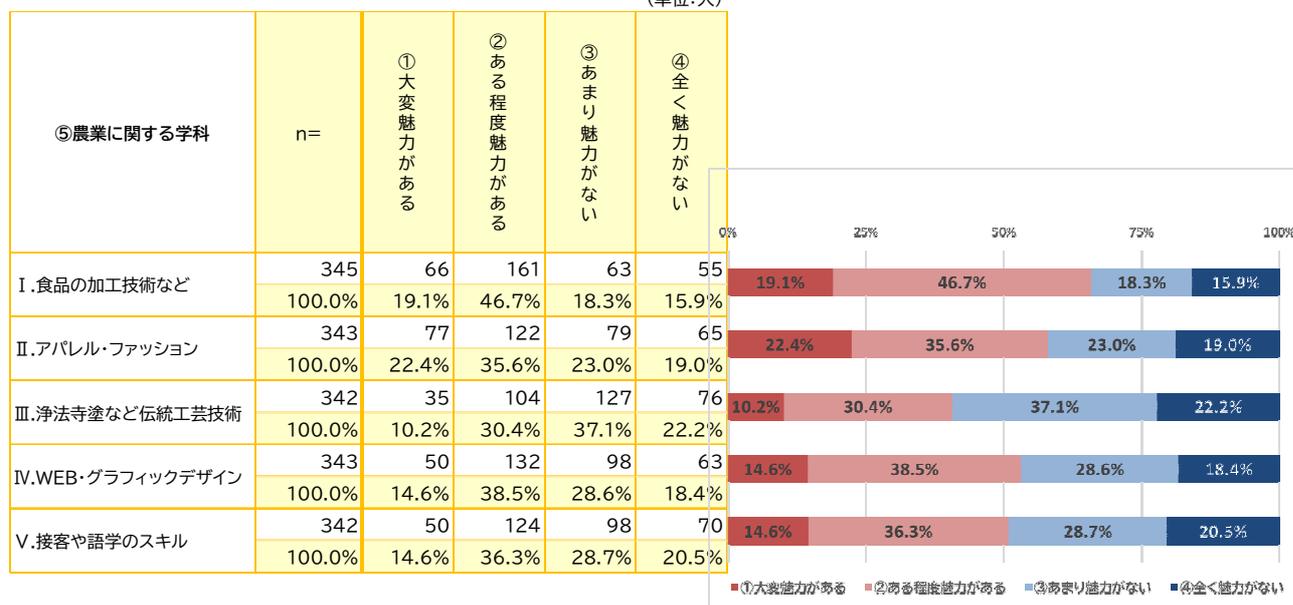
<商業に関する学科>

(単位:人)



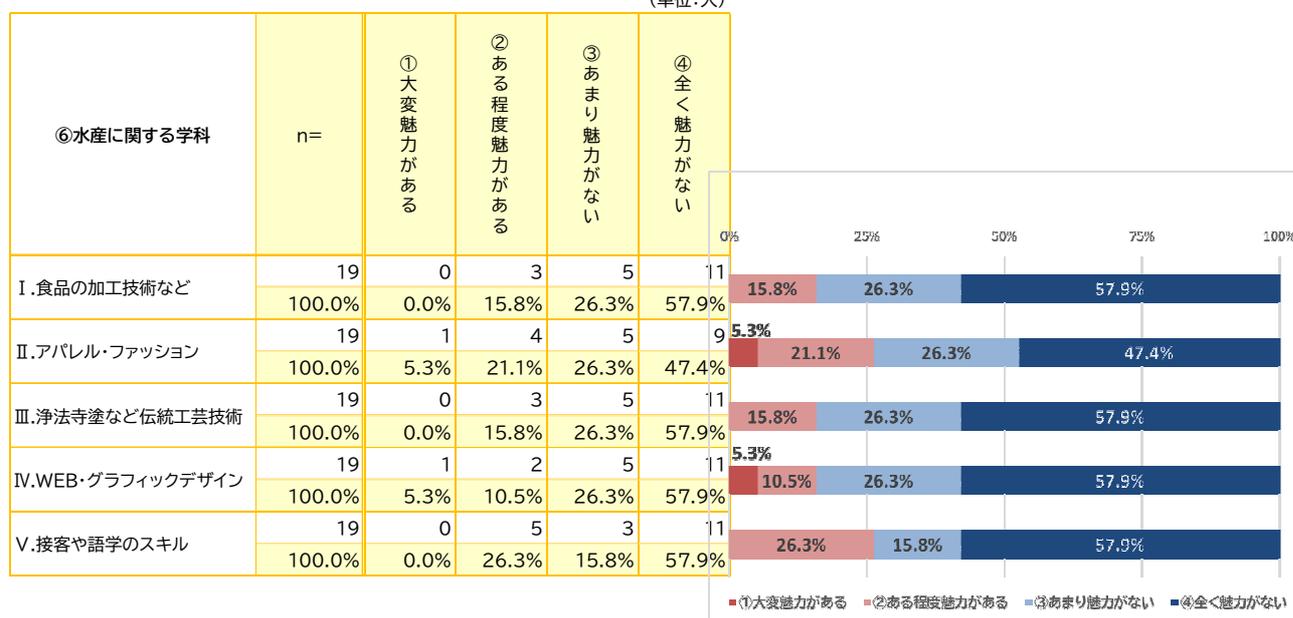
<農業に関する学科>

(単位:人)



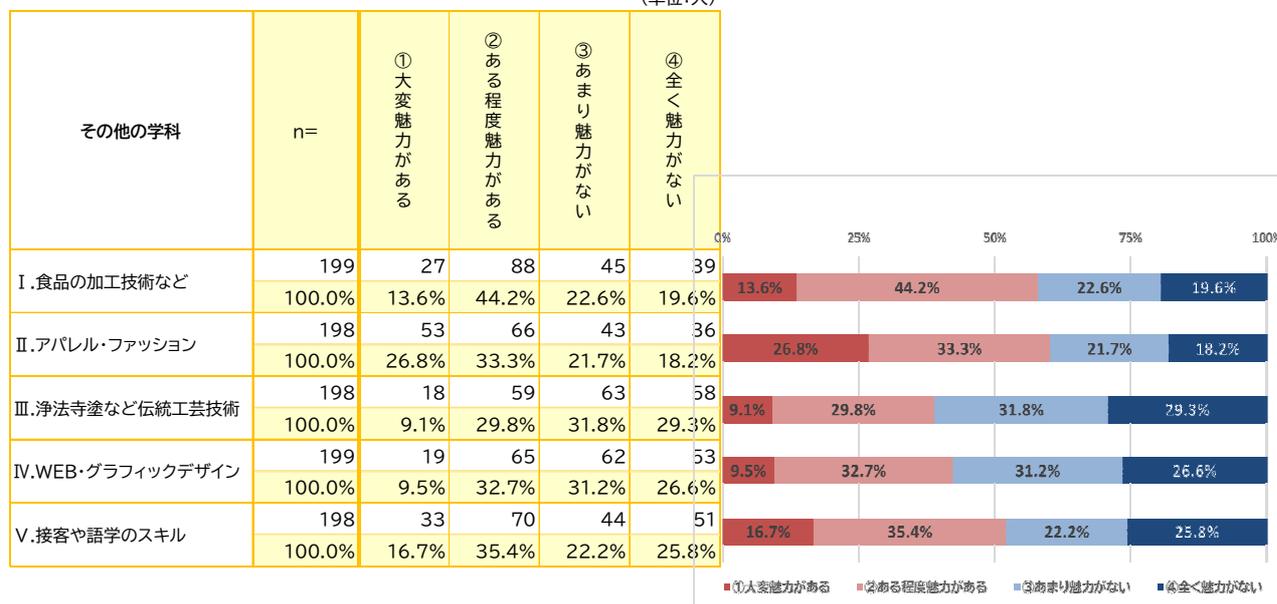
<水産に関する学科>

(単位:人)



<その他の学科>

(単位:人)



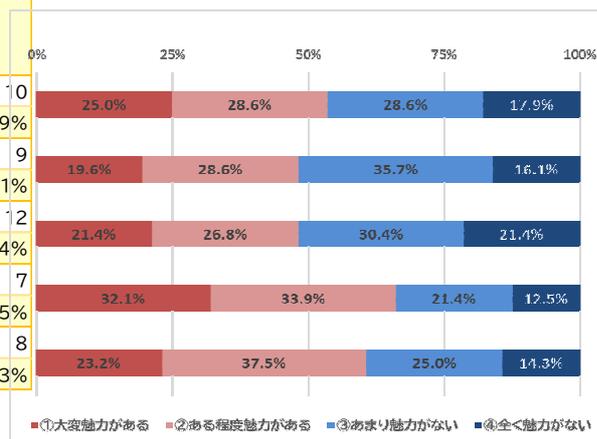
学科別にみると、「アパレル・ファッション」が「普通科」、「総合学科」、「商業に関する学科」、「水産に関する学科」、「その他学科」で最多となっている。「工業に関する学科」、「農業に関する学科」でも、第2順位となり、全ての学科の高校生が「アパレル・ファッション」に魅力を感じている。また「WEB・グラフィックデザイン」は「工業に関する学科」で最多。その他「普通科」、「総合学科」、「商業に関する学科」、「農業に関する学科」などで上位。その他「食品の加工技術など」が上位に食い込んでいる。

【二戸校新設コース×職業能力開発施設校への興味別】

<興味がある>

(単位:人)

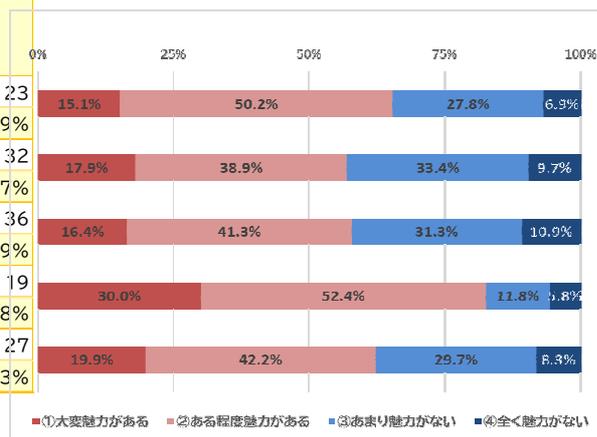
①興味がある	n=	①大変魅力がある	②ある程度魅力がある	③あまり魅力がない	④全く魅力がない
I.食品の加工技術など	56	14	16	16	10
	100.0%	25.0%	28.6%	28.6%	17.9%
II.アパレル・ファッション	56	11	16	20	9
	100.0%	19.6%	28.6%	35.7%	16.1%
III.浄法寺塗など伝統工芸技術	56	12	15	17	12
	100.0%	21.4%	26.8%	30.4%	21.4%
IV.WEB・グラフィックデザイン	56	18	19	12	7
	100.0%	32.1%	33.9%	21.4%	12.5%
V.接客や語学のスキル	56	13	21	14	8
	100.0%	23.2%	37.5%	25.0%	14.3%



<少し興味がある>

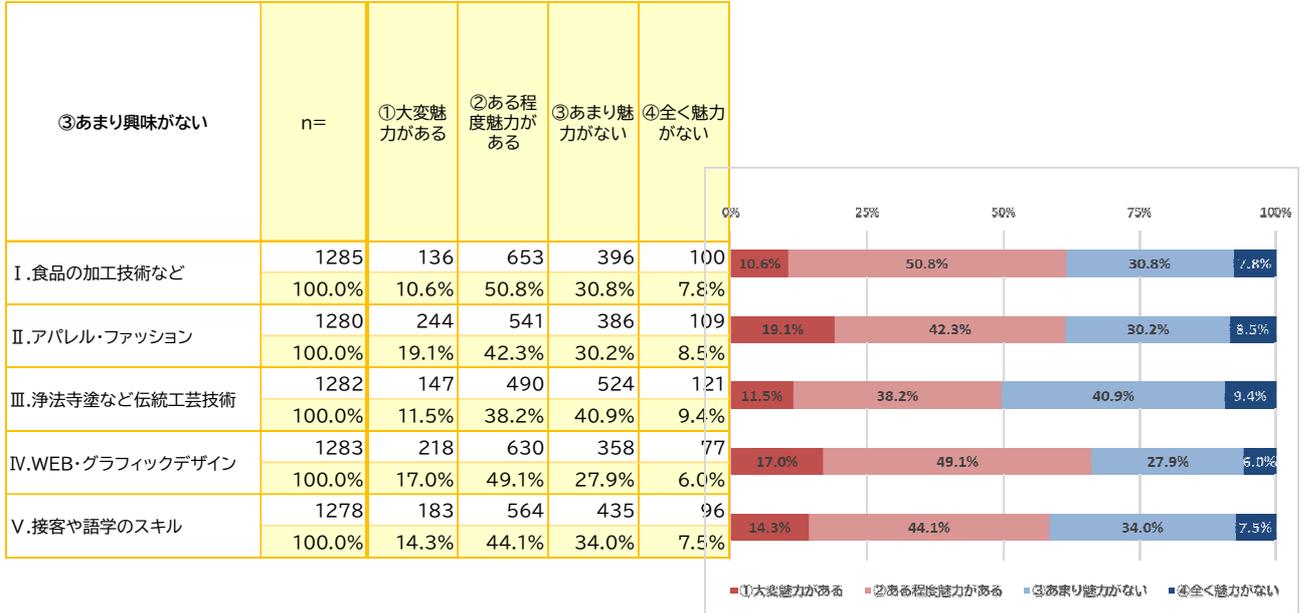
(単位:人)

②少し興味がある	n=	①大変魅力がある	②ある程度魅力がある	③あまり魅力がない	④全く魅力がない
I.食品の加工技術など	331	50	166	92	23
	100.0%	15.1%	50.2%	27.8%	6.9%
II.アパレル・ファッション	329	59	128	110	32
	100.0%	17.9%	38.9%	33.4%	9.7%
III.浄法寺塗など伝統工芸技術	329	54	136	103	36
	100.0%	16.4%	41.3%	31.3%	10.9%
IV.WEB・グラフィックデザイン	330	99	173	39	19
	100.0%	30.0%	52.4%	11.8%	5.8%
V.接客や語学のスキル	327	65	138	97	27
	100.0%	19.9%	42.2%	29.7%	8.3%



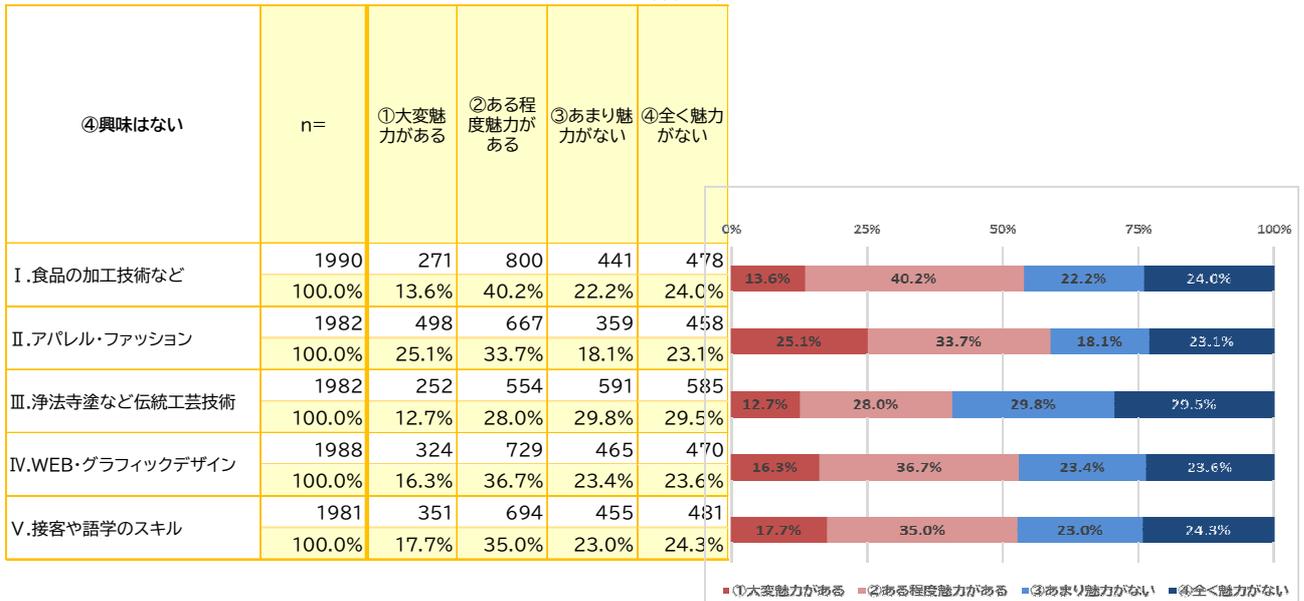
<あまり興味がない>

(単位:人)



<興味はない>

(単位:人)



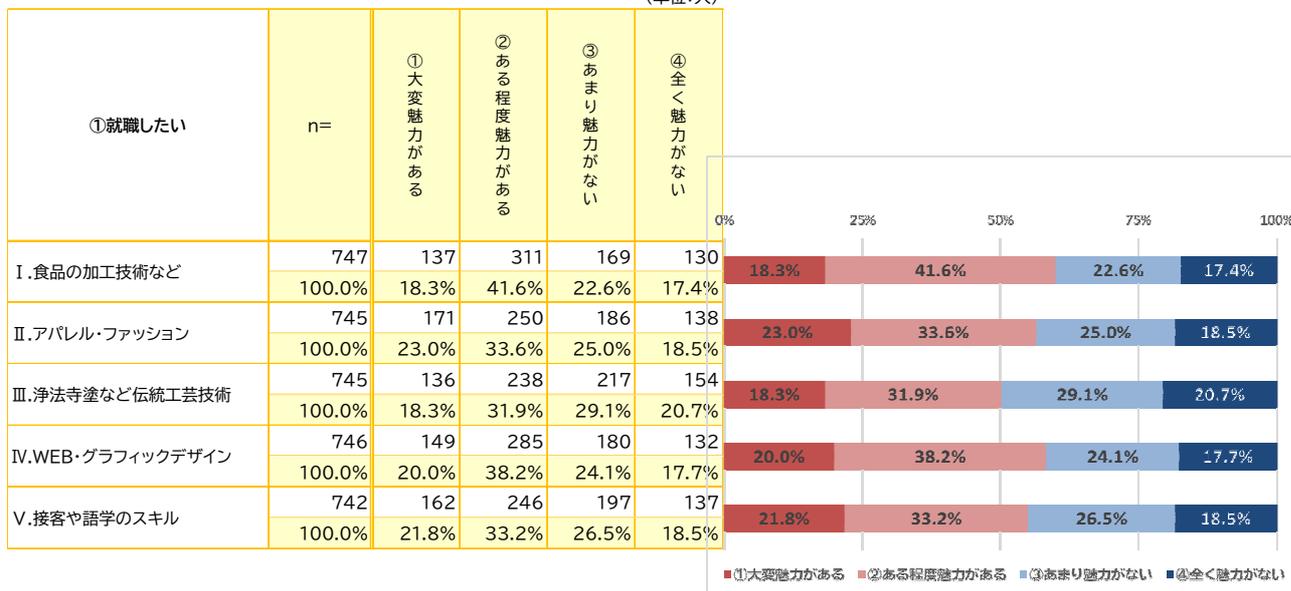
職業能力開発施設への興味有無別にみると、「大変興味がある」と回答した高校生のうち、最多は「WEB・グラフィックデザイン」となり、次いで「接客や語学のスキル」、「食品の加工技術など」に続く。「少し興味がある」は、「WEB・グラフィックデザイン」が最多となるが82.4%と高い数値を示した。次いで「食品の加工技術など」、「接客や語学のスキル」と続く。「あまり興味がない」と回答したでは「WEB・グラフィックデザイン」が最多、次いで「食品の加工技術など」、第3順位には「アパレル・ファッション」が入っている。「興味はない」は、「アパレル・ファッション」が最多で、次いで「食品の加工技術など」、「WEB・グラフィックデザイン」と続く。

注目すべき点は、職業能力開発施設に「興味はない」、「あまり興味がない」と回答した高校生も、各コースに半数近くが魅力を感じている点。新たな魅力あるコースの新設によって、進路先として興味を持ってくれる可能性もある。

【二戸校新設コース×県内就職希望別】

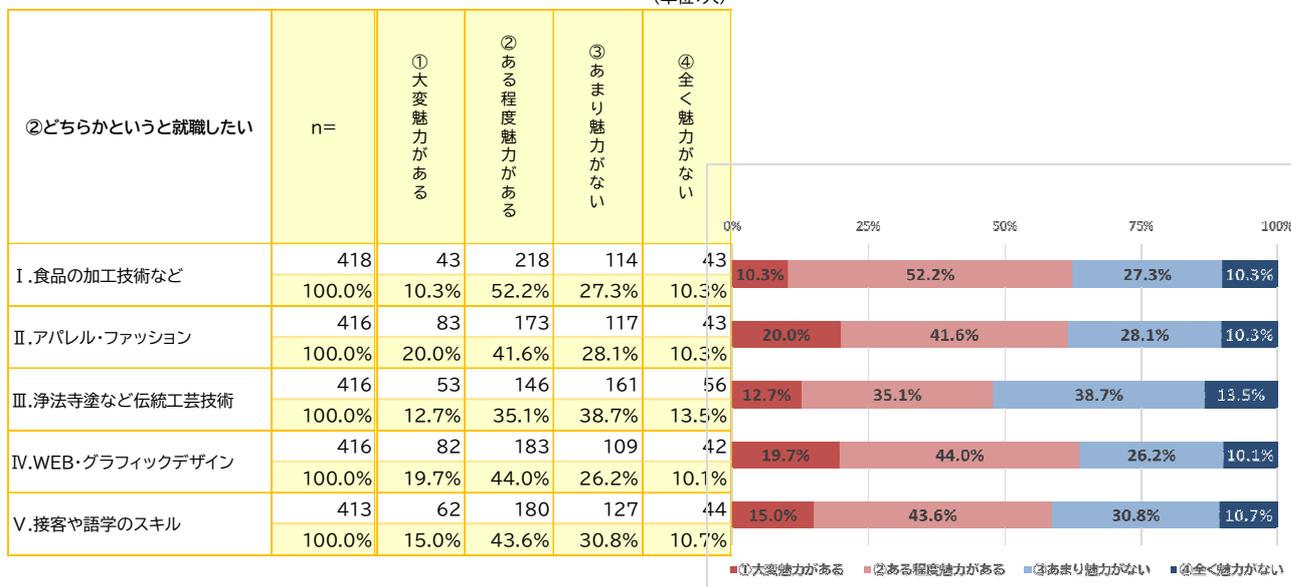
<就職したい>

(単位:人)



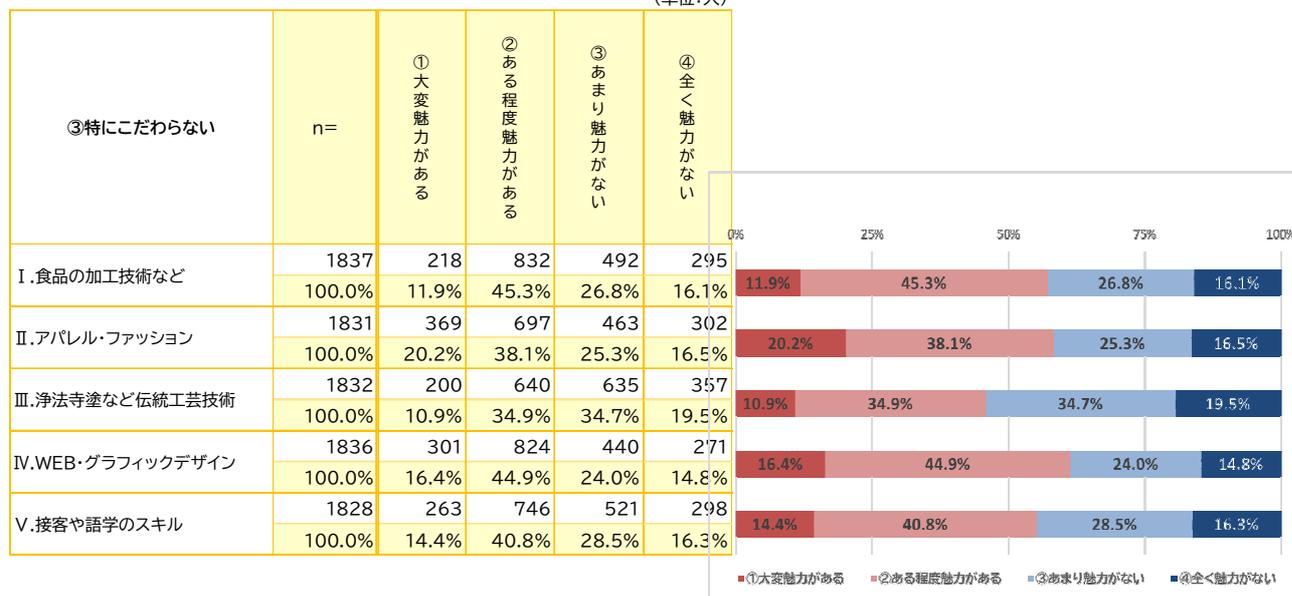
<どちらかという就職したい>

(単位:人)



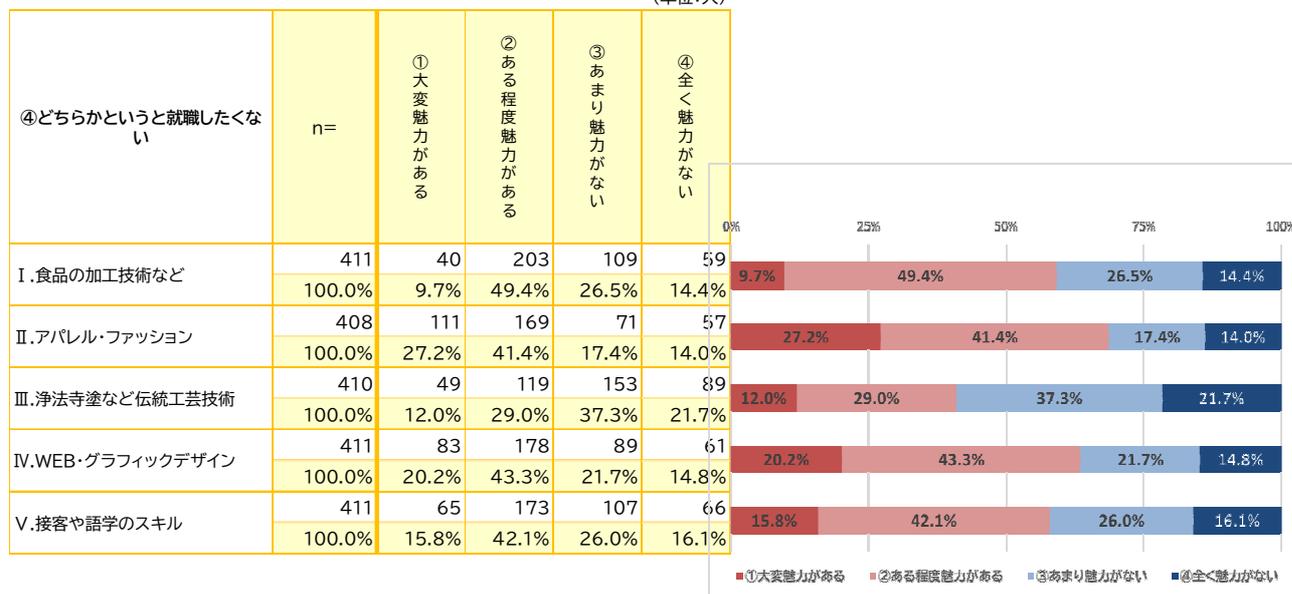
<特にこだわらない>

(単位:人)



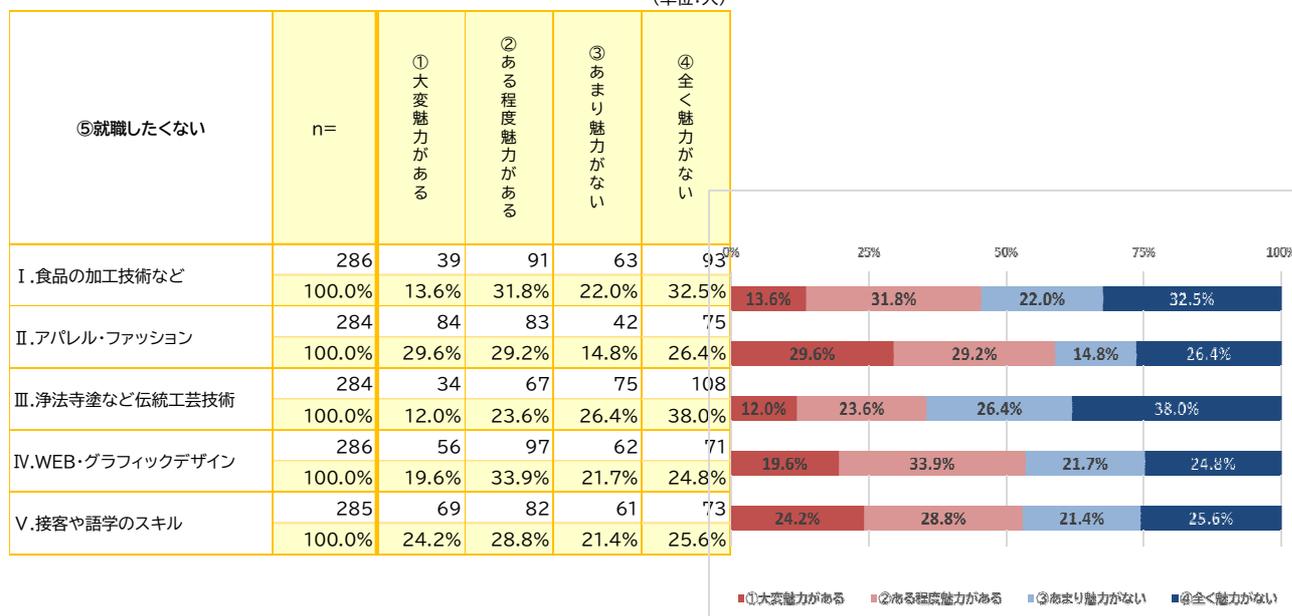
<どちらかというとな就職したくない>

(単位:人)



<就職したくない>

(単位:人)



県内就職希望別にみると、「就職したい」が、「食品の加工技術など」が 59.9%と最も高く、次いで「WEB・グラフィックデザイン」、「アパレル・ファッション」と続く。「どちらかという就職したい」は、「WEB・グラフィックデザイン」が最多で、次いで「食品の加工技術など」、「アパレル・ファッション」と続く。「特にこだわらない」は、「WEB・グラフィックデザイン」が最多、次いで「アパレル・ファッション」、「食品の加工技術など」と続く。「どちらかという就職したくない」は、「アパレル・ファッション」が 68.6%と最多となり、次いで「WEB・グラフィックデザイン」、「食品の加工技術など」と続く。「就職したくない」も同様に、「アパレル・ファッション」が 58.8%と最多となり、次いで「WEB・グラフィックデザイン」、「食品の加工技術など」と続く。

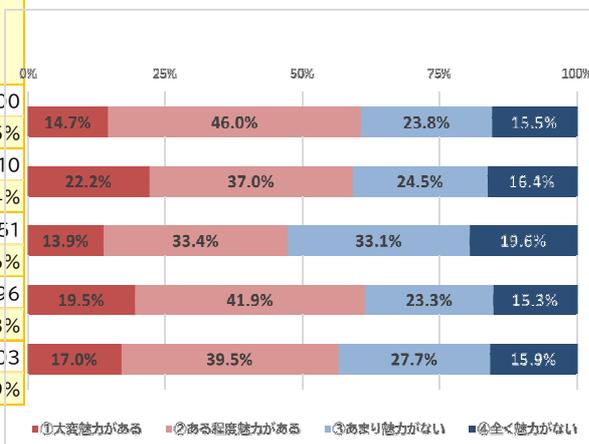
注目すべき点は、県外への就職希望者も、新たな新設コースに興味を示しており、「アパレル・ファッション」や「WEB・グラフィックデザイン」への魅力が高いとする傾向がある。

【二戸校新設コース×進路先県内外別】

<県内>

(単位:人)

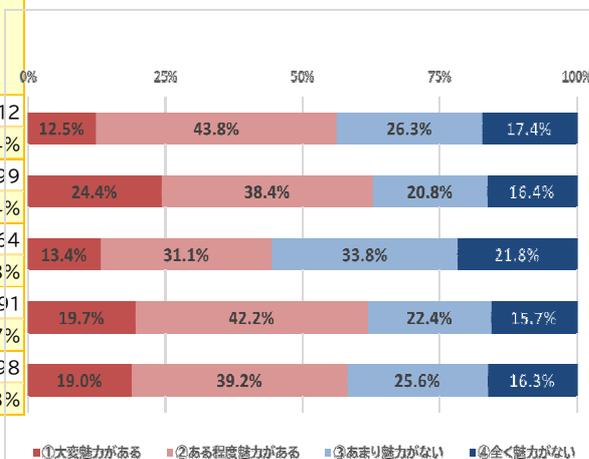
①県内	n=	①大変魅力がある	②ある程度魅力がある	③あまり魅力がない	④全く魅力がない
I.食品の加工技術など	1288	189	592	307	200
	100.0%	14.7%	46.0%	23.8%	15.5%
II.アパレル・ファッション	1282	284	474	314	210
	100.0%	22.2%	37.0%	24.5%	16.4%
III.浄法寺塗など伝統工芸技術	1283	178	429	425	251
	100.0%	13.9%	33.4%	33.1%	19.6%
IV.WEB・グラフィックデザイン	1284	251	538	299	196
	100.0%	19.5%	41.9%	23.3%	15.3%
V.接客や語学のスキル	1280	218	505	354	203
	100.0%	17.0%	39.5%	27.7%	15.9%



<県外>

(単位:人)

②県外	n=	①大変魅力がある	②ある程度魅力がある	③あまり魅力がない	④全く魅力がない
I.食品の加工技術など	1219	152	534	321	212
	100.0%	12.5%	43.8%	26.3%	17.4%
II.アパレル・ファッション	1213	296	466	252	199
	100.0%	24.4%	38.4%	20.8%	16.4%
III.浄法寺塗など伝統工芸技術	1213	162	377	410	264
	100.0%	13.4%	31.1%	33.8%	21.8%
IV.WEB・グラフィックデザイン	1219	240	515	273	191
	100.0%	19.7%	42.2%	22.4%	15.7%
V.接客や語学のスキル	1217	231	477	311	198
	100.0%	19.0%	39.2%	25.6%	16.3%



進路先県内外別にみると、「県内」希望者は、「WEB・グラフィックデザイン」が最も高く、次いで「アパレル・ファッション」、「食品の加工技術など」と続く。一方、「県外」希望者は、「アパレル・ファッション」が最も高く、「WEB・グラフィックデザイン」、「接客や語学のスキル」と続く。

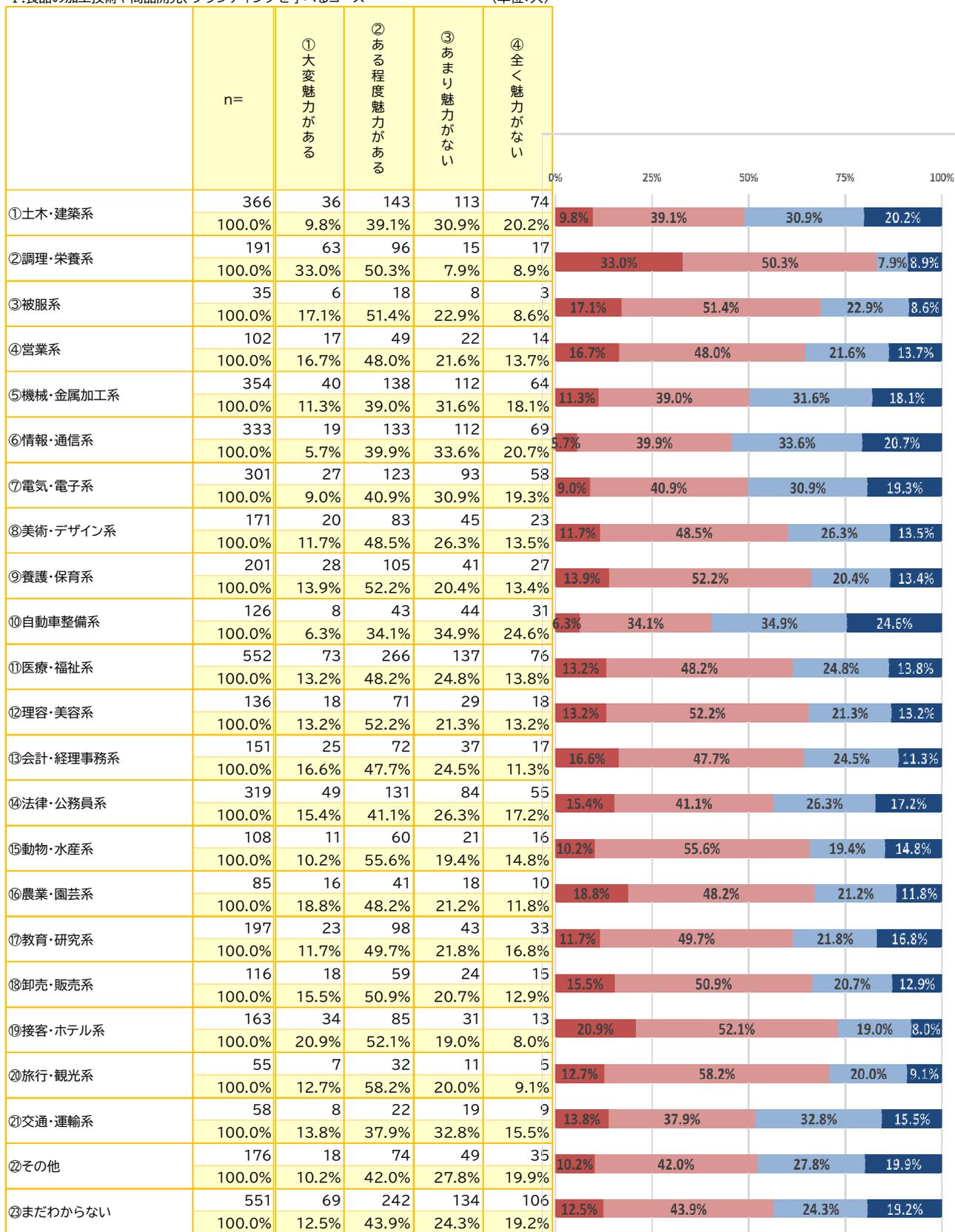
就職先の県内外動向と同様に、「県内」希望者のトップは「WEB・グラフィックデザイン」、「県外」希望者のトップは「アパレル・ファッション」となっている。

また各属性において、「大変興味がある」の割合は「アパレル・ファッション」は高い傾向にある。上位トップ3は「WEB・グラフィックデザイン」、「アパレル・ファッション」、「食品の加工技術など」となり、「県外」希望者は「接客や語学のスキル」がランクインする傾向にある。

【二戸校新設コース×分野別】

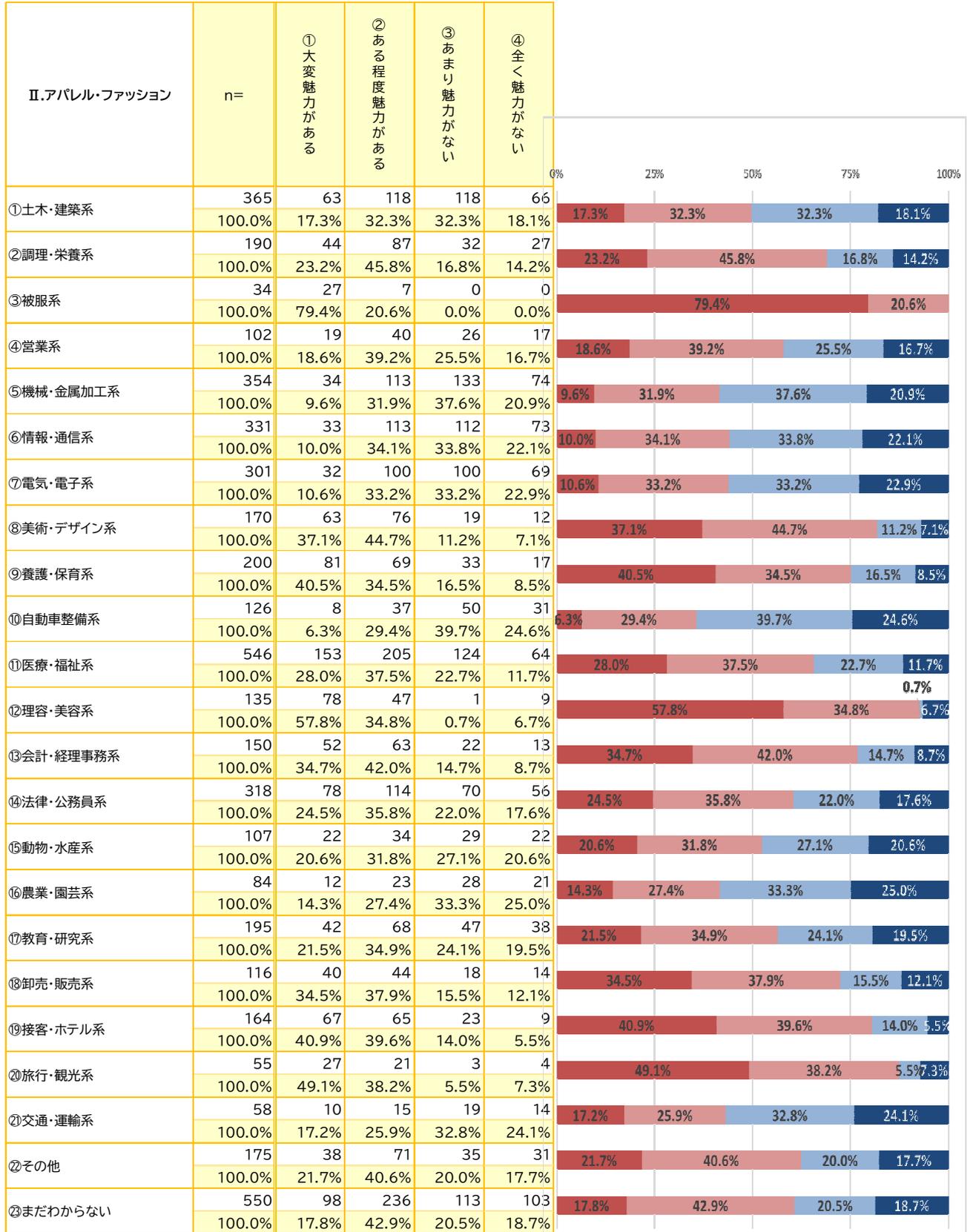
I. 食品の加工技術や商品開発、ブランディングを学べるコース

I. 食品の加工技術や商品開発、ブランディングを学べるコース (単位:人)



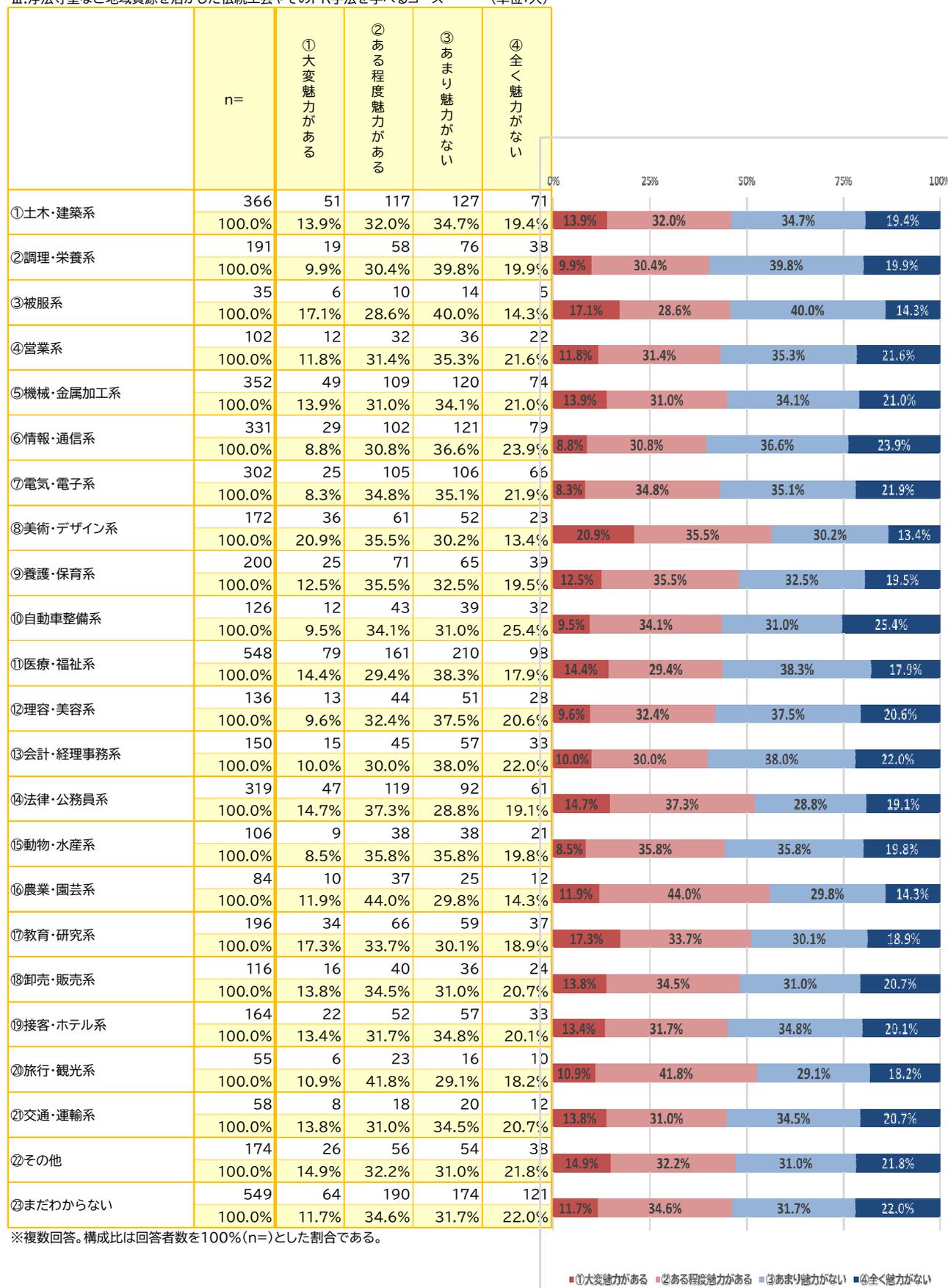
II. アパレルやファッションデザイン、そのブランディングを学べるコース

II.アパレルやファッションデザイン、そのブランディングを学べるコース (単位:人)



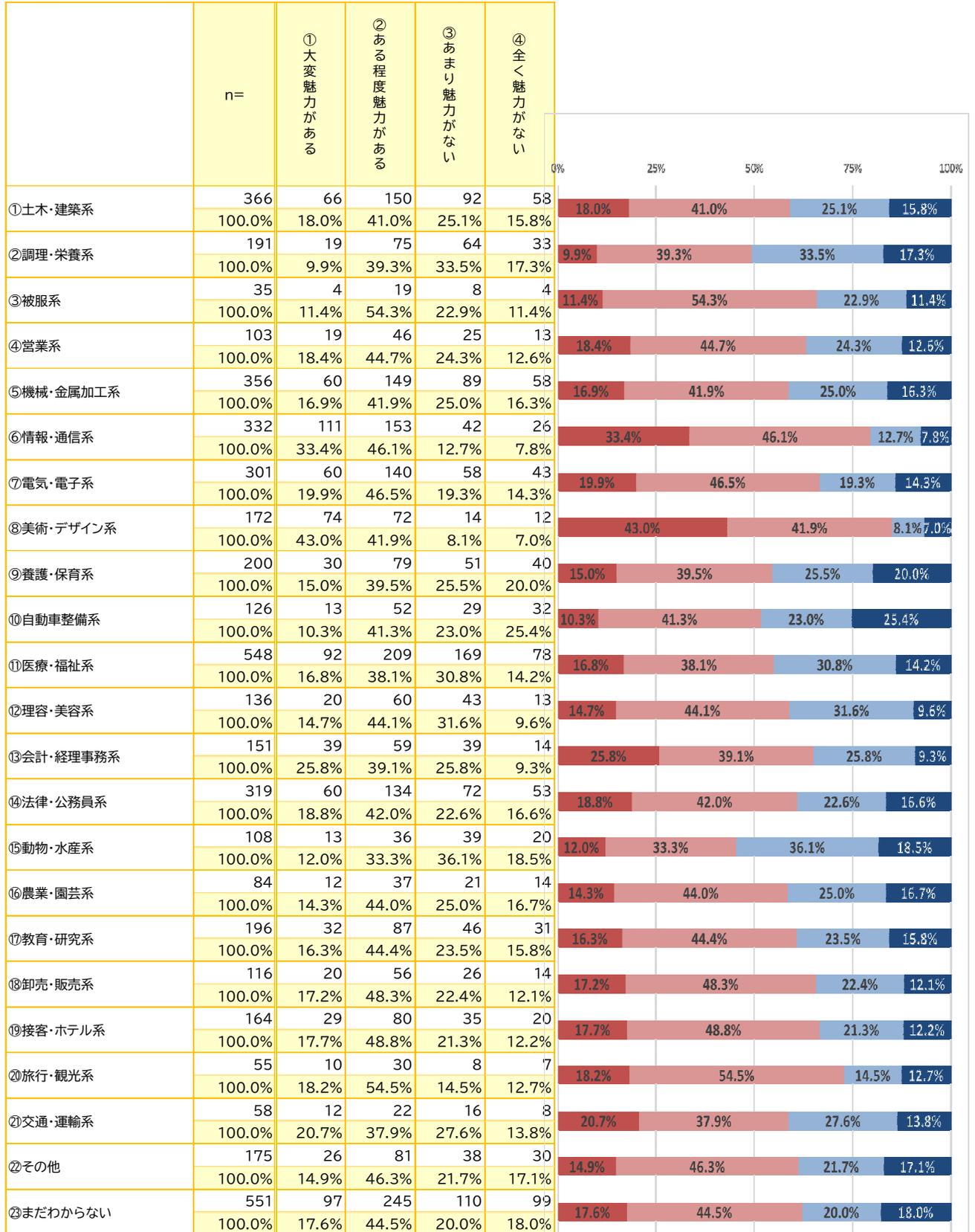
Ⅲ. 浄法寺塗など地域資源を活かした伝統工芸技術やそのPR手法を学べるコース

Ⅲ.浄法寺塗など地域資源を活かした伝統工芸やそのPR手法を学べるコース (単位:人)



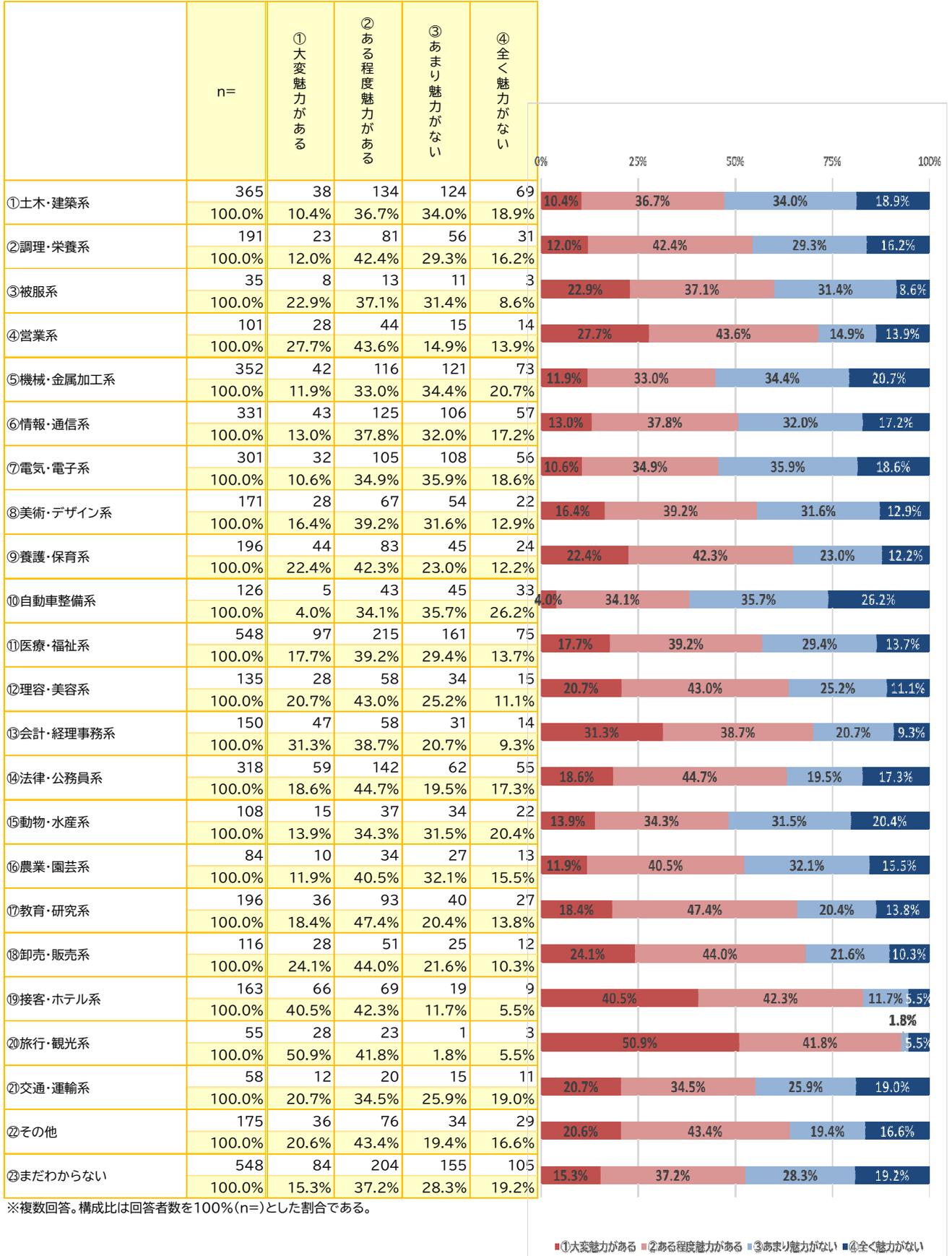
IV. WEB・グラフィックデザインを通じた産業デザインや、商品開発などの手法を学べるコース

IV.WEB・グラフィックデザインを通じた産業デザインや商品開発などの手法を学べ：(単位:人)



V. 接客や語学のスキルを向上させ、地域観光やサービスのPR手法を学べるコース

V.接客や語学のスキルを向上させ、地域観光やサービスのPR手法を学べるコース (単位:人)



進みたい分野別にみると、

I. 食品の加工技術や商品開発、ブランディングを学べるコース

「食品の加工技術や商品開発、ブランディングを学べるコース」は、「調理・栄養系」からの支持が最も高く、次いで「接客・ホテル系」、「旅行・観光系」と続く。

II. アパレルやファッションデザイン、そのブランディングを学べるコース

「アパレルやファッションデザイン、そのブランディングを学べるコース」は、「被服系」からの支持がダントツ高く支持率100%。「理容・美容系」、「旅行・観光系」、「接客・ホテル系」、「美術・デザイン系」からの支持も高い。

III. 浄法寺塗など地域資源を活かした伝統工芸技術やそのPR手法を学べるコース

「浄法寺塗など地域資源を活かした伝統工芸技術やそのPR手法を学べるコース」は、「美術・デザイン系」、「農業・園芸系」、「旅行・観光系」からの支持が高い。他のコースと比べると支持率は低めであるが、保護者からの支持は高い傾向にある。

IV. WEB・グラフィックデザインを通じた産業デザインや、商品開発などの手法を学べるコース

「WEB・グラフィックデザインを通じた産業デザインや、商品開発などの手法を学べるコース」は、「美術・デザイン系」からの支持が最も高く、その他「情報・通信系」や「旅行・観光系」からの支持率も高い。

V. 接客や語学のスキルを向上させ、地域観光やサービスのPR手法を学べるコース

「接客や語学のスキルを向上させ、地域観光やサービスのPR手法を学べるコース」は、「旅行・観光系」からの支持率が最も高く、その他「接客・ホテル系」、「営業系」からの支持率が高い。

VI. その他（自由記載）

その他	
医療品開発などを学べるコース	1
県外、世界への発信を目的とする学科が必要と思う	1
伝統工芸(南部鉄瓶や桐ダンス)を作る技術を教えて欲しい	1
電気を学べるコース	1
和楽器や伝統の舞などを習得しその後、後世に伝える場をもうける。	1
植物について学べるコース	1

I. 食品の加工技術や商品開発、ブランディングを学べるコース

「女性」・「農業に関する学科」に所属する高校生・「調理・栄養系」に進みたい高校生・「県内」就職希望者からの評価が高い

II. アパレルやファッションデザイン、そのブランディングを学べるコース

全体で2番人気。「女性」からの人気が一番高い。「県外」への進路・就職希望者・「総合学科・商業に関する学科」に所属する高校生・「被服系・理容・美容系」に進みたい高校生からの評価が高い

III. 浄法寺塗など地域資源を活かした伝統工芸技術やそのPR手法を学べるコース

「美術・デザイン系」に進みたい高校生からの評価が高い。また保護者からの評価が一番高い

IV. WEB・グラフィックデザインを通じた産業デザインや、商品開発などの手法を学べるコース

全体で1番人気。「男性」・「県内」進路・就職希望者・「美術・デザイン系・情報・通信系」に進みたい高校生からの評価が高い

V. 接客や語学のスキルを向上させ、地域観光やサービスのPR手法を学べるコース

「県北」で第3順位にランクイン。「旅行・観光系」に進みたい高校生からの評価が高い

Q17. その他、意見・要望等（自由記述）

その他、意見・要望等(自由記述)	
AIに負けないような知識を学ぶための科があればいいと思う	1
HPに1日の時間割や流れがあると良いと思った。	1
PR手法を学べる学校を探しても岩手になかったのでぜひ追加して学びたい。	1
アンケートを見るまで知らないことが多かったので告知を広めた方が良いと思います。	1
もっと電気・電子系の学びを深められる学校や学科が欲しい。産技短水沢キャンパスの見学に行った際、魅力を感じなかったため、もっと専門のレベルの高い学習ができる場所が欲しい。	1
ゆとり世代と甘やかされて育った現代人はささいな所で質が落ちていると感じる。	1
駅の近くなどの地元の人以外もかよいやすいような所につくったほうがよいと思う	1
奥州地区に自動車システム科をお願い。	1
岩手の大学についてあまり知らないのもっとPRが必要だと思う	1
岩手県の公立大学・大学校・高等技術専門学校にはあまりにも建築科が少なすぎるうえに定員も少ないと思う。建築に関する教育にあまりやる気を感じられない	1
岩手県は発展が遅れすぎている。	1
岩手県内にあるにも関わらずあまり知られていないので全部の専門学校に共通してPRをもっとしたほうが良い	1
岩大とか県大に比べると産技短ってそんなに良い学校のイメージがない。	1
検定が沢山獲れる様な学科をもっと増やして指導体制を充実して欲しいです	1
今回のアンケートで、こういう学校があることを初めて知った。	1
産業技術短期大学での主にとれる資格を知りたい。	1
私は物を作ったり、デザインするというのを学べることに魅力を感じました。	1
自分の進路先についてさらに知識を深めようと思いました。	1
若い人たちがすぐ岩手を出ていってしまうのは、その人たちに大きな夢や将来の希望を持っている人だと思っています。その人たちが、この夢や希望を岩手で叶えることが出来ないと考え、出ていってしまうと思う。だから烏滸がましいと思うけど、若者のために、学校や企業の発展をしてほしい。	1
初めてきいた所があって、勉強になった。	1
色々な学校と学科について詳しく教えてほしい。	1
進学校にこのアンケートを記入させるのは不適であると考えている。	1
人前にあまり出ず、黙々と仕事ができる場所が入れ位ありか。	1
世の中があっても仕事がほしい	1
全然知らなかったです	1
早く卒業したい。	1
多分、このアンケートを一高で実施しても、興味がない人がほとんどなので、やる意味や知名度アップがのぞめないと考えられます。	1
短期大学を作っても就職支援がないと意味がないと思った	1
知らない、興味ないことをきかれても困ります。	1
地方の産業、特に岩手の伝統産業は誇れるものが多いと感じているから、今必要なのはその価値を認める市場への進出であると思うから、是非この尊い伝統や産業の保護・普及に励んでほしいと思うし、機会があれば自分もその過程に携わりたいと思う。	1
中学3年になってから聞こえてくる学校名等があるため、興味が持つのが遅い。小学生のうちからPRをしていくべき。子供にPRするより保護者を味方にするべき。高学歴より資格等を重視させるべき。	1
特にありません	3
特にありません。	3
特になし	8
二戸高等技術専門校の自動車システム科は高校に入る時に将来の夢的にも興味があって調べたり、入りたいなと思っていました。すごく興味があります。	1
方法を聞くな	1
魅力的なコースがいっぱいあるのにあまり知らなかったのもっとPRしたらいいと思う	1
優秀な人材が集まるとは思えないので、イメージアップや指導方法のアピールが必要だと思う。	1
技術専門学校があるのは良いことだと思います。しかし人が多い内陸の中心部に置いたほうがもっと知名度もあがると思うし人も今以上に増えると思います	1
がんばりたい	1
このようなアンケートは無意味であると思います。以後このようなアンケートはやめていただきたい。	1
どの分野においても言えるが、学科名からどのような資格を取得できるかがわかりにくい。	1
ない	1
ないです。	1
なし	6
なし。	1
まだ知らないことがたくさんあったので、自分からも積極的に調べてみたいと思いました。	1
まったく知らなかったため、知ることができるいいきっかけでした。	1
もっとPRしたほうが良いと思います。	1
もっとPRすればいいと思います	1
もっとPR頑張ってほしい。	1

IV. 調査票

岩手県職業能力開発に関する基礎調査

(高校生用)

この調査は、高校生の皆さんの進路や職業等に関する考え方をおたずねし、岩手県の今後の職業能力開発の取組と県北地域の産業技術人材の育成の方向性の検討に役立てることを目的に実施するものです。

お答えいただいた内容については、調査目的以外に使用することはありませんので、現在のお考えをお答えください。

調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和2年10月

岩手県商工労働観光部定住推進・雇用労働室

【進路・就職についてお伺いします。】

(1) あなたの性別をお答えください。

- ① 男性 ② 女性

(2) あなたが住んでいる地域（岩手県内の方は市町村、岩手県外の方は都道府県）をお答えください。

- (県央) ①盛岡市 ②滝沢市 ③岩手町 ④八幡平市 ⑤葛巻町 ⑥栗石町 ⑦矢巾町 ⑧紫波町
(県北) ⑨二戸市 ⑩一戸町 ⑪九戸村 ⑫久慈市 ⑬軽米町 ⑭洋野町 ⑮野田村 ⑯普代村
(県南) ⑰花巻市 ⑱北上市 ⑲金ケ崎町 ⑳奥州市 ㉑一関市 ㉒遠野市 ㉓西和賀町 ㉔平泉町
(沿岸) ㉕宮古市 ㉖釜石市 ㉗大船渡市 ㉘陸前高田市 ㉙田野畑村 ㉚岩泉町 ㉛山田町
㉜大槌町 ㉝住田町

(岩手県外) (都道府県名:)

(3) あなたの所属している学科をお答えください。

- ①普通科（英語科・理数科含む） ②総合学科（分野:)
③工業に関する学科 ④商業に関する学科 ⑤農業に関する学科
⑥水産業に関する学科 ⑦芸術・スポーツに関する学科 ⑧生活に関する学科
⑨福祉に関する学科 ⑩国際に関する学科 ⑪その他 ()

(4) あなたが希望している進路をお答えください。(複数回答可)

- ①大学 ②短大 ③専門学校（専修学校・各種学校含む） ④産業技術短期大学校* ⑤高等技術専門学校*
⑥就職 ⑦まだ考えていない ⑧その他 ()

* 岩手県が設置している県立職業能力開発施設です。(施設の詳細については、裏面をご確認ください)

(5) あなたが希望している進路先は、県内ですか。県外ですか。

- ①県内 ②県外 ③まだ決まっていない ④特にこだわらない ⑤その他 ()

(6) あなたは、進学や就職にあたって、どのような分野に進みたいと考えていますか。(2つ以内)

- ①土木・建築系 ②調理・栄養系 ③被服系 ④営業系
⑤機械・金属加工系 ⑥情報・通信系 ⑦電気・電子系 ⑧美術・デザイン系
⑨養護・保育系 ⑩自動車整備系 ⑪医療・福祉系 ⑫理容・美容系
⑬会計・経理事務系 ⑭法律・公務員系 ⑮動物・水産系 ⑯農業・園芸系
⑰教育・研究系 ⑱卸売・販売系 ⑲接客・ホテル系 ⑳旅行・観光系
㉑交通・運輸系 ㉒その他 () ㉓まだわからない

(7) 職業や就職先を決める際に、重視する点は何ですか。(2つ以内)

- ①給与・賃金が高いこと ②知名度が高いこと ③将来性や安定性があること ④好きな仕事であること
⑤知識や技術が活かせること ⑥社会貢献ができること ⑦職場の雰囲気が良いこと
⑧自分に適した仕事であること ⑨残業が少ないこと ⑩休暇制度の充実 ⑪子育て支援の充実
⑫資格取得支援の充実 ⑬通勤に便利であること ⑭社員寮等住環境の充実 ⑮家族や先生の勧め
⑯その他 () ⑰わからない

(8) 将来、岩手県内の事業所に就職したいですか。

- ①就職したい ②どちらかという就職したい ③特にこだわらない
④どちらかという就職したくない ⑤就職したくない

(9) (8)で④又は⑤とお答えした方、その理由は何ですか。(2つ以内)

- ①県内には希望する仕事がないから ②県内では最新の技術を身につけられないと思うから
③県内では大きな仕事ができないと思うから ④給料や休暇など、勤務条件が満足できないと思うから
⑤県外で生活したいから ⑥県外企業の方が、安定性や将来性があると思うから
⑦県内企業をよく知らないから ⑧先輩や家族が県外企業への就職を勧めるから
⑨その他 ()

【県立職業能力開発施設についてお伺いします。(※施設の詳細については、裏面をご参考ください。)

(10) 県立産業技術短期大学校や高等技術専門学校について知っていますか。(1つずつ)

- 産業技術短期大学校 : ①学べる分野を知っている ②学校名を知っている ③今回初めて知った
[矢巾キャンパス、水沢キャンパス]
■高等技術専門学校 : ①学べる分野を知っている ②学校名を知っている ③今回初めて知った
[千厩校、宮古校、二戸校]

(11) あなたの進路先として県立職業能力開発施設に興味はありますか。

- 産業技術短期大学校 : ①興味がある ②少し興味がある ③あまり興味はない ④興味はない
■高等技術専門学校 : ①興味がある ②少し興味がある ③あまり興味はない ④興味はない

(12) 産業技術短期大学校や高等技術専門学校に入学するとしたら、どの学科で学びたいですか。(2つ以内)

- 産業技術短期大学校矢巾キャンパス ①メカトロニクス技術科 ②電子技術科 ③建築科
④産業デザイン科 ⑤情報技術科
■産業技術短期大学校水沢キャンパス ⑥生産技術科 ⑦電気技術科 ⑧建築設備科
■千厩高等技術専門学校 ⑨自動車システム科
■宮古高等技術専門学校 ⑩自動車システム科 ⑪金型技術科
■二戸高等技術専門学校 ⑫自動車システム科 ⑬建築科

(13) 県立産業技術短期大学校や高等技術専門学校をより魅力的な施設にするためには、何が必要だと思いますか。

(2つ以内)

- ①より高度な技能・技術の習得 ②施設・設備の充実 ③指導体制の充実 ④魅力ある学科の新設
⑤立地条件 ⑥就職支援 ⑦イメージアップするためのPR ⑧定員の増加
⑨その他 ()

⇒裏面に続きます

【県北地域の産業技術人材の育成についてお伺いします。】

岩手県では、県北地域の産業技術人材の育成を強化するために、「二戸高等技術専門校」の担う役割や在り方について、検討しています。以下のアンケートにつきましてもご協力をお願いします。（※県北地区以外の皆さんもアンケートのご協力をお願いいたします。）

(14) 二戸高等技術専門校についてお伺いします。二戸高等技術専門校では現在「自動車システム科」と「建築科」の2学科を設置していますが、知っていますか。

- ①2学科とも知っていた ②「自動車システム科」のみ知っていた ③「建築科」のみ知っていた
④どちらも知らなかった

(15) 二戸高等技術専門校をより魅力的な施設にするためには、何が必要だと思いますか。（2つ以内）

- ①より高度な技能・技術の習得 ②施設・設備の充実 ③指導体制の充実 ④魅力ある学科の新設
⑤立地条件 ⑥就職支援 ⑦イメージアップするためのPR ⑧定員の増加
⑨高等技術専門校を産業技術短期大学校に変更する
⑩その他（ ）

(16) 二戸高等技術専門校において、県北地域の特色ある産業の技術や知識を習得するために、以下のコースを追加する場合、進路先としての魅力を感じますか。I～V、それぞれにお答えください。

I. 食品の加工技術や商品開発、ブランディングを学べるコース

- ①大変魅力がある ②ある程度魅力がある ③あまり魅力がない ④全く魅力がない

II. アパレルやファッションデザイン、そのブランディングを学べるコース

- ①大変魅力がある ②ある程度魅力がある ③あまり魅力がない ④全く魅力がない

III. 浄法寺塗など地域資源を活かした伝統工芸技術やそのPR手法を学べるコース

- ①大変魅力がある ②ある程度魅力がある ③あまり魅力がない ④全く魅力がない

IV. WEB・グラフィックデザインを通じた産業デザインや、商品開発などの手法を学べるコース

- ①大変魅力がある ②ある程度魅力がある ③あまり魅力がない ④全く魅力がない

V. 接客や語学のスキルを向上させ、地域観光やサービスのPR手法を学べるコース

- ①大変魅力がある ②ある程度魅力がある ③あまり魅力がない ④全く魅力がない

VI. その他（自由記載： ）

(17) その他、意見・要望等（自由記述）

ご協力いただきありがとうございました。

県立職業能力開発施設について

○ **岩手県立産業技術短期大学校**

職業能力開発促進法に基づく職業能力開発短期大学校として岩手県が設置している施設で、矢巾キャンパスと水沢キャンパスがあります。新規高校卒業者を主な対象として、メカトロニクス技術科をはじめ 8 科において、2 年課程の高度職業訓練を実施しています。卒業後は、実践技術者として多くの県内企業に就職しています。

([令和元年度] 就職率99.3% (うち県内就職率 55.1%))

☆ **矢巾キャンパス**

- メカトロニクス技術科(修業年限2年、募集定員20名) 機械設計・加工技術と制御技術・電子回路設計技術を習得
- 電子技術科(修業年限2年、募集定員20名) マイクロ・コンピュータのハード及びソフトの設計・製作技術を習得
- 建築科(修業年限2年、募集定員20名) 木造住宅など建築物の設計・施工技術を習得
- 産業デザイン科(修業年限2年、募集定員20名) プロダクト・グラフィック・ウェブデザインの技術と技能を習得
- 情報技術科(修業年限2年、募集定員20名) システム構築、マルチメディア技術、ネットワーク構築技術を習得

☆ **水沢キャンパス**

- 生産技術科(修業年限2年、募集定員20名) 精密機械部品や金型等の設計・製作の技術を習得
- 電気技術科(修業年限2年、募集定員20名) 電気設備の設計・施工、電気機器のハード及びソフト技術を習得
- 建築設備科(修業年限2年、募集定員20名) 建築給排水設備、空調設備などの建築設備の設計施工技術を習得

[授業料等について]

区分	授業料	入学検定料	入学金	寄宿舎料
矢巾キャンパス	年額	18,000 円	県内の住民 135,400 円	月額
水沢キャンパス	390,000 円		その他の住民 203,000 円	4,300 円



○ **岩手県立高等技術専門学校**

職業能力開発促進法に基づく職業能力開発校として岩手県が設置している施設で、一関市千厩町、宮古市、二戸市の3カ所に設置されています。

新規高校卒業者を主な対象として、自動車システムをはじめ 4 科において、2年課程の普通職業訓練を実施しています。卒業後は、実践技術者として多くの県内企業に就職しています。([令和元年度] 就職率100%(うち県内就職率 68.6%))
また、宮古高等技術専門校の金型技術科において、1年課程の普通職業訓練を実施しています。

☆ **千厩高等技術専門学校**

- 自動車システム科(修業年限2年、募集定員20名)
2 級自動車整備士の資格取得を目標に、自動車整備士に必要な技術、技能を習得



☆ **宮古高等技術専門学校**

- 自動車システム科(修業年限2年、募集定員15名)
2 級自動車整備士の資格取得を目標に、自動車整備士に必要な技術、技能を習得
- 金型技術科(修業年限 1 年、募集定員10名)
金型設計、金型製作を中心に、高精度な機械加工技術を習得



☆ **二戸高等技術専門学校**

- 自動車システム科(修業年限2年、募集定員20名)
2 級自動車整備士の資格取得を目標に、自動車整備士に必要な技術、技能を習得
- 建築科(修業年限2年、募集定員15名)
建築大工の養成を目的とし、木造建築に関する知識と技術・技能を習得



[授業料等について]

区分	授業料	入校検定料	入校料	寄宿舎料	
千厩高等技術専門学校	年額 118,800 円	2,200 円	5,650 円	月額 700 円	
宮古高等 技術専門学校				居室 1 室当たりの定員 が 2 人の場合	月額 700 円
				居室 1 室当たりの定員 が 1 人の場合	月額 1,400 円
二戸高等技術専門学校				月額 1,000 円	